

長野県松本市

HIRATAHONGŌ

平田本郷遺跡IV・V

—緊急発掘調査報告書—



2003.3

松本市教育委員会

長野県松本市

HIRATAHONGŌ

平田本郷遺跡 IV・V

—緊急発掘調査報告書—

2003.3

松本市教育委員会



北側調査区俯瞰 (写真右下が北 下からA区・B区)



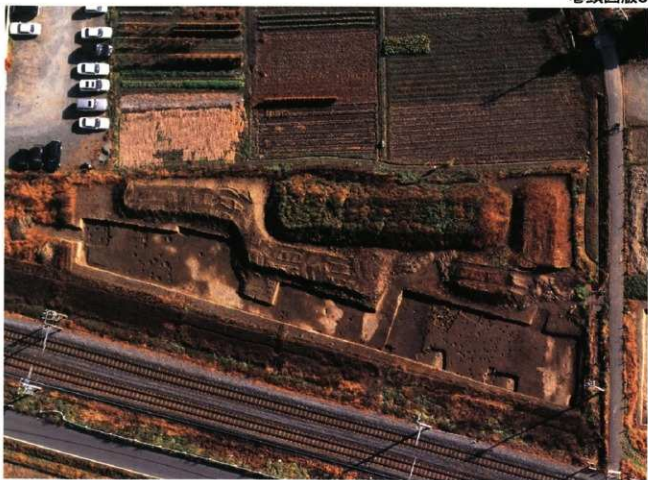
南側調査区俯瞰 (写真左が北 左からC区・D区・E区)



A区全景 (左が北)



B区全景 (左が北)



C区全景 (写真左が北)



D区全景 (左が北)



E区全景（上が北）



第V次調査区域全景（都市計画道路平田野溝線部分） 左が北

序

平田本郷遺跡は松本市の南部に位置し、JR篠ノ井線をはさんで平田東・平田西の一带に広がる遺跡です。本遺跡は過去それぞれの開発に先立って3回の調査が行なわれ、今回で4か所目の調査となります。

このたび当地に土地区画整理事業が計画されたため、松本市が松本市平田土地区画整理組合から委託を受け、埋蔵文化財を記録する目的で緊急発掘調査を実施することとなりました。

発掘調査は平成13年5月から平成14年1月にかけて行なわれました。長期間に渡る調査となりましたが、関係の皆様御尽力により無事終了することができました。発掘調査の結果、古墳時代から中世にかけての、様々な時代の生活跡を発見することができました。これらは今後、地域の歴史を解明するうえで、大変役に立つ資料になることと思われれます。

しかしながら、発掘調査をして記録保存することは、遺跡を破壊しているという側面があることも事実です。開発により私たちの生活が豊かになる一方、それにともない歴史遺産が失われてしまうのは残念なことです。発掘調査により当時の生活が明らかとなり、私たちの郷土松本が歩んできた歴史が一つずつでも解き明かされることは大変貴重なことだと思います。

最後になりましたが、厳しい暑さ寒さのなか発掘調査にご協力をいただいた参加者の皆様、また調査に際して多大な御理解と御協力をいただいた松本市平田土地区画整理組合の皆様、地元関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成15年3月

松本市教育委員会 教育長 竹 淵 公 章

例 言

1 本書は、平成13年5月9日～平成14年1月12日にわたり実施された松本市平田東に所在する平田本郷遺跡の緊急発掘報告書である。

2 本調査は、平田土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査であり、平田土地区画整理組合より松本市に委託を受け、松本市教育委員会が発掘調査を実施し、本書の作成を行なったものである。

3 本書の執筆は、以下のとおりである。

第Ⅰ章：事務局 第Ⅱ章Ⅰ～Ⅲ節・第Ⅲ章：竹内靖長 第Ⅱ章Ⅳ節1：菊池直哉

第Ⅱ章Ⅳ節2：内堀 団 第Ⅱ章Ⅳ節3：太田圭郁

4 本書作成にあたっての作業分担は、以下のとおりである。

遺物洗浄：百瀬二三子 遺物接合・復元：五十嵐周子、洞沢文江

土器陶磁器実測・図版作成：石合英子、久保田瑞恵、高林 詠、竹内直美、竹平悦子、松尾明恵、八坂千佳

金属器整理・実測・トレース：内堀 団、洞沢文江、片山祐介

石器実測・トレース：赤羽裕幸、内堀 団、太田圭郁、河野清司、小山高志、福島 勝、堀 久士、村山牧枝

遺構図整理・トレース：石合英子、久保田瑞恵、太田万喜子、中村慎吾

一覧表作成：石合英子、内堀 団、太田圭郁、菊池直哉、塚原祐一、堀 久士

写真撮影：(現場写真)：菊池直哉、窪田瑞恵、竹内靖長、田多井用章、堀 久士、中村慎吾

(遺物写真)：宮嶋洋一 (航空写真)：(株)みずぬ総合コンサルタント

編 集：竹内靖長

5 本書で使用した遺構の略号は、以下のとおりである。

第○号住居址→○住 第○号掘立柱建物址→○建 第○号上坑→上○ 第○号ピット→P○

6 図中で用いた方位記号は、すべて真北方向を指している。

7 本調査および報告書作成にあたり、以下の方々からご協力・ご教示を得た。記して謝意を表する。

太田守夫、原 明芳、樋口昇一

8 遺構・遺物の記述で用いた古代・中世の時期区分や分類・用語などの多くは下記の文献を参照している。

(財)長野県埋蔵文化財センター 1990 「中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書4ー松本市内1ー総論編」

9 遺構図中の土層名は記号化している。各記号の内容は以下のとおりである。

表記法 土色(混入物・量) 混入物質 a少量 b中量 c多量

土 色

1 褐色 2 暗褐色 3 黒褐色 4 明褐色 5 赤褐色 6 黄褐色 7 茶褐色 8 灰褐色
9 橙褐色 10 灰 色 11 暗灰色 12 黒灰色 13 赤灰色 14 黄灰色 15 青灰色 16 黄 色
17 暗黄褐色 18 暗茶褐色 19 黒 色 20 焼 土 21 砂 22 砂 礫 23 緑灰色 24 暗灰褐色
25 淡灰褐色

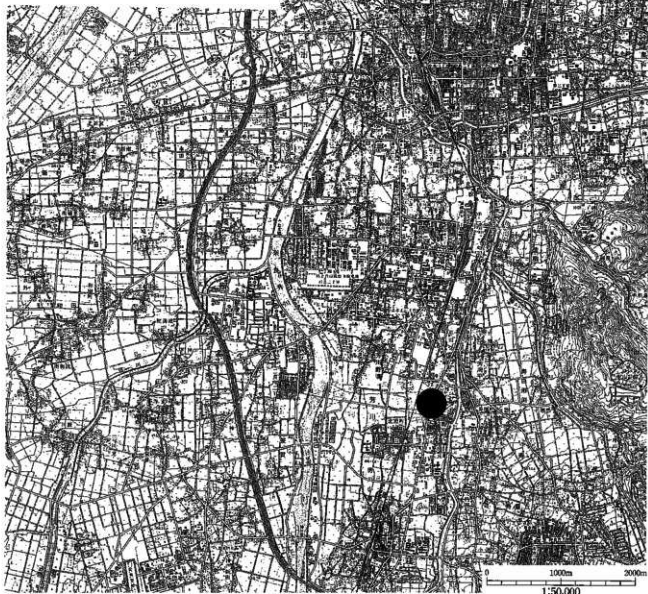
混入物

A 小礫 B 礫 C 焼土粒 D 焼土塊 E 炭化材 F 炭化物塊 G 炭化材 H 黄色土粒 I 黄褐色土粒
J 橙褐色土粒 K 茶褐色土粒 L 黄色土塊 M 黄褐色土塊 N 橙褐色土塊 O 茶褐色土塊 P 砂粒
Q 黒色土粒 R 黒色土塊 S 暗褐色上粒 T 暗褐色土塊 U 灰色土粒 V 灰色土塊 W 赤褐色土塊
X 赤褐色土塊 Y 鉄分

10 本調査で出土した遺物及び調査の記録類は、松本市教育委員会が保管し、松本市立考古博物館(〒390-0823 長野県松本市中山3738-1 TEL 0263-86-4710 FAX 0263-86-9189)に収蔵されている。

目 次

序	
例 言	
目 次	
I 章 調査の経緯	
I 節 調査に至る経緯	1
II 節 調査体制	1
II 章 調査結果	
I 節 調査の概要	2
II 節 調査成果	2
III 節 遺 構	
1 縦穴住居址	9
2 掘立柱建物址	12
3 縦穴状遺構	12
4 土坑・ピット	13
5 溝址・流路	13
IV 節 遺 物	
1 土器・陶磁器・土製品	36
2 金属器	59
3 石器	62
III 章 調査のまとめ	86
写真図版	
報告書抄録	



第1図 遺跡の位置

I 章 調査の経緯

I 節 調査に至る経緯

松本市平田東2丁目一帯に、松本市平田土地区画整理組合によって土地区画整理事業が計画された。この場所には、周知の埋蔵文化財包蔵地である平田本郷遺跡があり、過去3回の発掘調査が行なわれ、多数の遺構遺物が発見されている。そこで、松本市教育委員会では同組合の協力を得て平成12年12月7日から平成13年1月15日にわたって事業地全体の試掘調査を実施した。その結果、平安時代の遺構遺物が確認され、同事業予定地の大部分が平田本郷遺跡の範囲であることが明らかとなった。同組合と市教育委員会で事業予定地内の埋蔵文化財について保護協議した結果、事業に先立って緊急発掘調査を実施し記録保存を図ることとなった。

発掘調査の実施にあたっては、同組合から松本市が委託を受け、松本市教育委員会が発掘調査、整理作業及び調査報告書の刊行等の業務を行なうこととし、平成13年4月23日付で委託契約を締結、5月9日に発掘調査を開始した。本調査は発掘面積が広大である上、遺構密度が高い大集落であったため、長期間の調査となったが、平成14年1月12日をもって現場作業を終了した。なお、事業地内に渋滞対策道路が計画されていたため、今回合わせて調査した。

整理作業及び調査報告書の刊行については、平成14年11月5日付で前年度と同様に委託契約を締結し、平成15年3月20日をもってすべての業務を終了した。

II 節 調査体制

調査団長：竹瀬公章（松本市教育長）

調査担当者：竹内靖長、田多井用章、堀 久士、菊池直哉、中村慎吾、窪田瑞恵

調査員：今村 克、太田守夫、松尾明恵、森 義直

協力者：浅輪敬二、荒井留美子、荒木 稔、飯島由次、五十嵐周子、石合英子、今井太成、白井秀明、内沢紀代子、大月八十喜、上條道代、神田栄次、北野智之、久保田瑞恵、小松正子、下条ちか子、鈴木幸子、鷺見昇司、高橋昭雄、高橋登喜男、高林 詠、竹内直美、竹平悦子、手塚富康、寺島 実、中上昇一、中原あゆみ、中村安雄、中山自子、廣田早和子、布野行雄、布野和嘉夫、布山 洋、洞沢文江、松山あずさ、丸山恵子、道浦久美子、村山牧枝、夔 國成、百瀬二三子、百瀬二三子、百瀬義友、八坂千佳、横山 清、米山禎興

事務局：松本市教育委員会教育部文化課

有賀一誠（課長）、熊谷康治（課長補佐）、松井敬治（課長補佐、～平成14年3月）、田口博敏（課長補佐、平成14年4月～）、直井雅尚（主査）、武井義正（主任）、久保田剛（主任）、渡邊陽子（嘱託）、塚原祐一（嘱託）

II章 調査結果

I節 調査の概要

松本市南部の平田地区に所在する平田本郷遺跡は、奈良井川と田川に挟まれた河岸段丘上に立地する遺跡である。調査地は、遺跡範囲内の東端にあたり、調査前は水田と畑地として利用されていた。今回、松本市平田東1丁目12番地ほかに平田土地区画整理事業および市道造成工事が計画されたため、事業対象用地に試掘調査を実施し、遺構・遺物が発見された箇所を中心に5地区（A～E区）の調査区を設定した。各地区の調査面積は、A区：415m²、B区：621m²、C区：604m²、D区：3,327m²、E区1,407m²で、総計6,374m²である。調査では、A・B区とC・D・E区の2ブロックに分けて共通の3mグリッドで覆い、遺構の測量作業を実施した。調査区の基準国土地座標値は、A・B区の座標原点（NS0，EW0）は、X=21271.599・Y=-47951.758、C・D・E区は、X=21035.000・Y=-48034.000である。現場の測量図は、基準座標を基本に1/20で作成した。

発掘調査は、まず大型建設用機械を使用し、遺構面までの耕作土と基盤土を除去した。次に、人力により遺構の検出作業を実施し、遺構の範囲を特定した。範囲の特定が困難な遺構については、トレンチを設定し土層断面の観察も併用して遺構の検出を行なった。遺構検出作業が終了し、特定できたものから番号を付し、掘り下げを行なった。遺構の覆土の状況、遺物・礫の出土状況、住居址の形態・施設などの記録は、写真と実測図により行なった。最後に、ラジコンヘリコプターとセスナにより航空写真を撮影した後、表土の埋め戻しを行い、調査を終了した。

II節 調査成果

調査期間：平成13年5月9日～平成14年1月12日

調査面積：4次調査（区画整理事業地部分）：5,274m²

5次調査（渋滞対策道路部分）：1,100m²（D地区内）

合計6,374m²

（調査地区別面積：A区415m²・B区621m²・C区604m²・D区3,327m²・E区1,407m²）

検出遺構：竪穴住居址 78軒（古墳時代2軒・平安時代76軒）

竪穴状遺構 25基

掘立柱建物址 3棟

土坑 344基

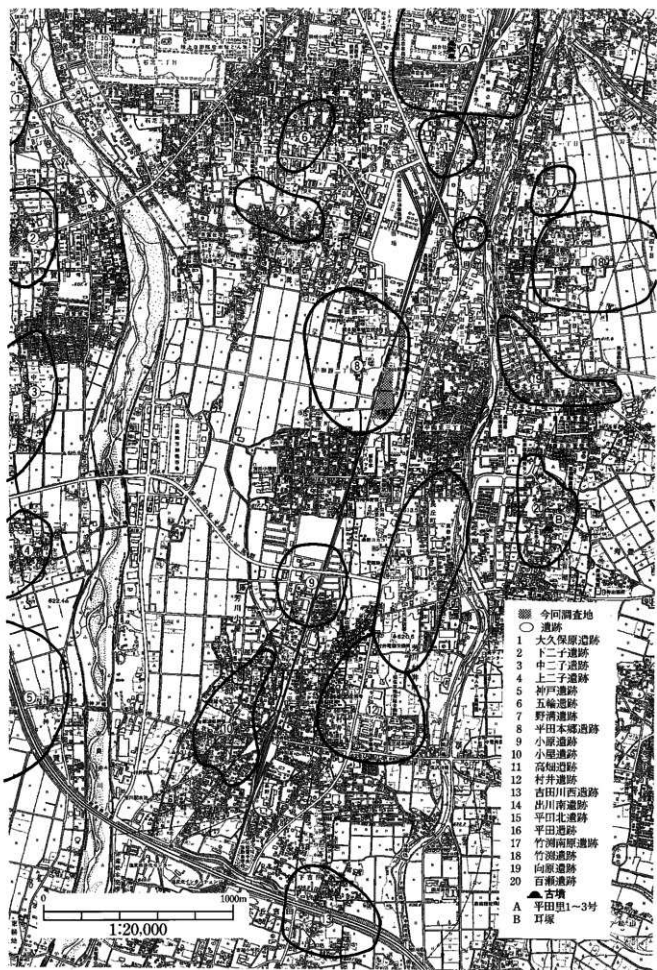
ピット 534基

溝・流路 21条

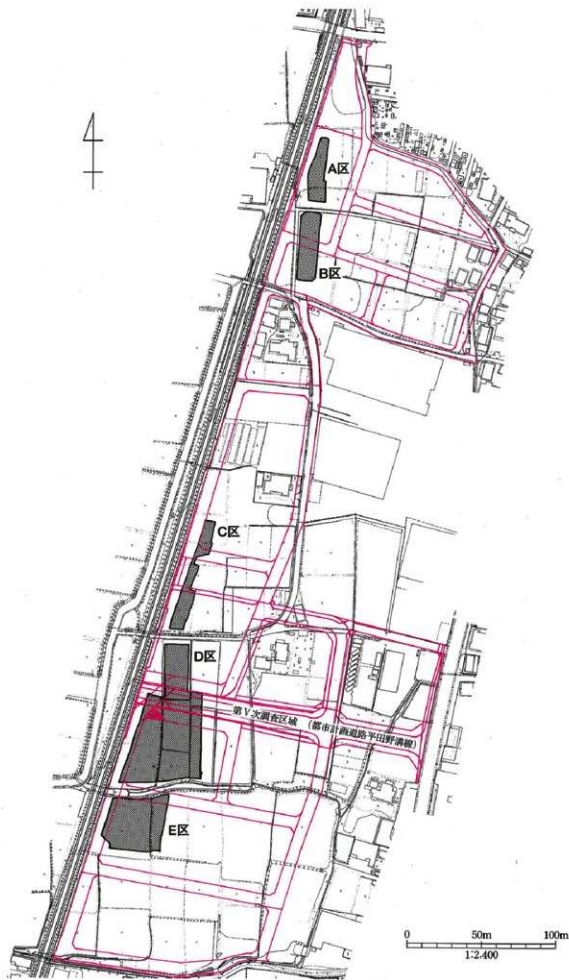
出土遺物：土器・陶磁器：土師器、黒色土器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、白磁、青磁、古瀬戸

鉄器・銅製品：刀子、釘、鉄鏝、紡錘車、鎌、鈴、火打具、滓、鉋

石器・石製品：カマド構築材の礫片、砥石

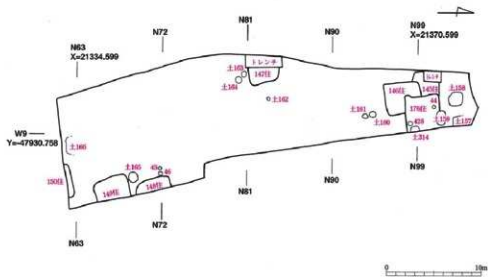


第2図 周辺遺跡

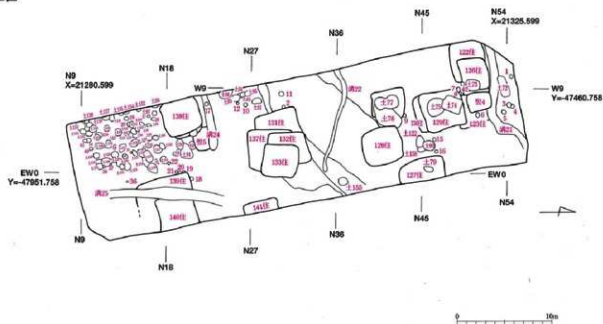


第3図 調査位置図

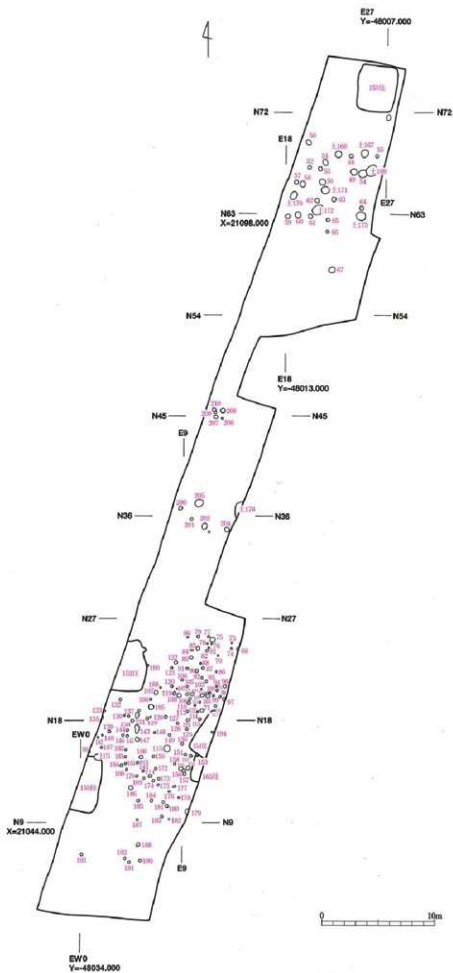
A区



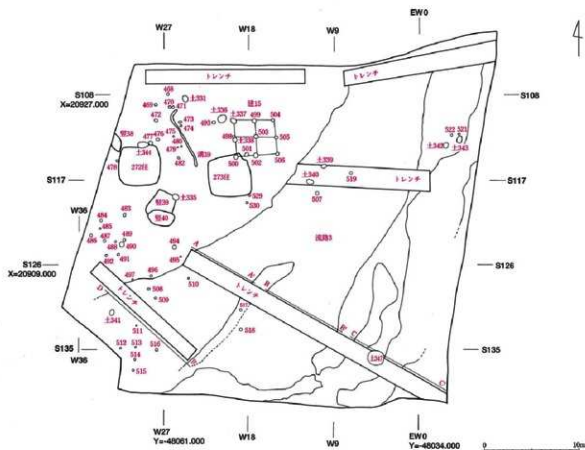
B区



第4図 A区・B区 遺構配置図



第 5 图 C区 遺構配置図



第7図 E区 遺構配置図

Ⅲ節 遺構

1 竪穴住居址

今回の調査では、85軒の竪穴住居址が発見された。住居址番号は、前回の3次調査に引き続き122住から273住までの151軒分の番号を付したが、これらの中で66軒は欠番となったものである。欠番となった住居址番号は、128住・130住・134住・135住・143住・151住・156住・157住・164住・166住・172住・177～182住・186住～188住・190～199住・201住・209住・210住・212住・215住・216住・219住・221住～224住・227～232住・234～235住・237～249住・257～265住・270住である。これらは、遺構覆土が地山と近似しており、検出時には遺構と判断したものの、非常に浅く遺物の出土も見られなかったものである。発見された住居址は、出土遺物と遺構の重複関係から、古墳時代前期のものが3軒（A区147住・149住・150住）で、他がすべて平安時代に帰属するものと考えられる。以下、各調査区のなかで主要な住居址について記述する。

<古墳時代の住居址>（文中の住居址規模は、長軸×短軸×深さで、単位はcm）

第150号住居址（第8図）

地区：A地区南端 重複関係：本址南側の大部分が調査区外に延びる。 平面形：全形が不明であるため、判然としなない。 規模：360×72×16 床面積：(2.0m²) 主軸方向：不明 壁：ほぼ直に立ち上がる。壁残存高は、10～16cmと浅い。 床面：灰色砂質土の地山面で、貼床はみられない。ピット：東半部に2基確認されている。いずれも掘り込みは浅い。 覆土の状況：2層に分けられる。砂質の灰色土で、礫の混入はみられない。 遺物出土状況：出土量は少ないが、古墳時代前期の土器が出土している。

<平安時代の住居址>

第124号住居址（第9図）

地区：B地区北部中央 重複関係：123・136住を切る。土74・75、P7・8に切られる。 平面形：隅丸長方形 規模：448×436×36 床面積：15.2m² 主軸方向：N-80°-E 壁：東・西・北壁は、ほぼ直に立ち上がるが、南壁はなだらかに立ち上がる。壁高は、20～36cmを測る。 床面：堅くしまっている。ピット：中央やや東寄りにP₁・P₂が発見されている。カマド：北東隅に石組みカマド。両側の袖石が残存しており、火床には焼土がみられる。 覆土の状況：覆土は5層みられる。第Ⅱ層では、礫が多量に混入している。第Ⅲ層では、炭化物と焼土が多量に混入している。 遺物出土状況：全体的に出土量は少ない。主としてカマド周辺から土師器杯・甕、灰釉陶器碗が出土している。

第138号住居址（第9図）

地区：B地区南側西端 重複関係：142住・土92を切る。 平面形：隅丸方形 規模：(416)×410×40 床面積：(13.8m²) 主軸方向：N-76°-E 壁：壁高40cmを測り、ほぼ直に立ち上がる。 床面：灰色土の床面で、あまり堅くない。ピット：ピットは検出されなかった。カマド：石組粘土カマド、北東隅。両袖石と天井石が残存している。 覆土の状況：2層みられる。両層とも小礫が混入する暗褐色土で、下層の方が礫が多い。遺物出土状況：北東部のカマド周辺から南西部にかけて遺物が広がる。カマドの北側脇から緑釉碗が出土。北西部覆土より白磁碗片が出土。

第140号住居址（第10図）

地区：B地区南側東端 重複関係：139住を切り、溝25に切られる。住居址東端は、調査区域外に延びる。 平面形：隅丸方形 規模：448×(420)×52 床面積：(15.5m²) 主軸方向：N-16°-W 壁：ほぼ直に立ち上がる。壁残存高は、40～52cmを測る。 床面：全面にわたって堅くしまっている。ピット：発見されていない。カマド：北壁西端に石組みカマドが見られる。袖石の一部が残存してい

る。火床には焼土が顕著にみられる。覆上の状況：カマド部以外の覆土は、大きく3層みられる。下層ほど礫が多量に混入している。また、Ⅱ・Ⅲ層には炭化物が多量に混入している。遺物出土状況：全体的に遺物は多く、実測点数は35点を数える。特殊品としては、灰土陶器の転用硯が4点みられる。このほか、金属製品の釘・刀子・鉄滓なども出土している。

第152号住居址（第11図）

地区：C地区南側西端 重複関係：他遺構との切り合い関係はなし。遺構西半部は、区域外に延びる。平面形：全形は不明 規模：468×(280)×40 床面積：(9.7m²) 主軸方向：N-88°-E 壁：ほぼ直に立ち上がる。壁高は、30-40cmを測る。床面：床面南端と東端以外には、貼床がみられる。ピット：カマド南脇にピット2基あり。カマド：東壁北端に石組カマドあり。両袖石が残存している。左袖の最奥の袖石は抜き取られており、抜き取り痕のピットがみられる。火床部には焼土がみられ、周辺には炭が広がっている。覆土の状況：6層に分けられる。各層には共通して、焼土粒や炭粒が混入している。礫は、ほとんど混入していない。遺物出土状況：主としてカマド周辺から出土。

第155号住居址（第11図）

地区：C地区南側西端 重複関係：土175に切られる。本址西半部は区域外に延びる。平面形：区域外に延びるため、全形は不明。規模：496×(216)×50 床面積：(8.5m²) 主軸方向：N-95°-E 壁：直に立ち上がる。壁残存高は、50-60cmである。床面：中央部から北側には貼床がみられる。南端部は緩やかに立ち上がり、小礫が露出している。ピット：P₁・P₄の2基は、主柱穴と考えられる。カマド南側には、P₂・P₃がある。カマド：東壁北隅に石組カマドがある。袖石は散乱しており、原位置に残る構築材はない。火床部には、焼土が明瞭にみられる。その前面には、炭が広がる。覆上の状況：3層に分かれる。覆土中には、炭化物が混入している。上層には、小礫が混入している。遺物出土状況：遺物は、カマド周辺および中央付近から主として出土した。

第158号住居址（第11図）

地区：D地区北端中央 重複関係：P214に切られる。平面形：隅丸方形 規模：500×500×40 床面積：20.8m² 主軸方向：N-90°-E 壁：東・西壁は、やや斜めに立ち上がる。残存高は、40cmである。床面：貼床はみられない。灰色砂質土の地山面を床面として捉えた。ピット：ピットは発見されなかった。カマド：北東隅に石組カマド。袖石が残存している。覆土の状況：9層に分けられる。覆土中には、礫が多量に混入している。遺物出土状況：全体的に出土量は少ないが、緑釉陶器碗が出土している。

第159号住居址（第12図）

地区：D地区北端東寄り 重複関係：遺構の重複関係はみられない。平面形：隅丸方形 規模：408×388×40 床面積：12m² 主軸方向：N-15°-W 壁：やや斜めに立ち上がる。残存壁高は、30-40cmを測る。床面：灰色土と小礫が露出するやや堅い面である。ピット：ピットは発見されなかった。カマド：北東隅に石組カマドがある。両袖石と天井石が残存している。火床には、焼土がみられる。覆土の状況：12層に分けられる。カマド部分の土層を除くと、主な覆土は5層である。すべての覆土に礫が多量に混入している。遺物出土状況：カマド付近を中心に、土器・陶磁器、金属製品（鎌）が出土している。

第171号住居址（第13図）

地区：D地区中央西端 重複関係：遺構の重複関係は認められないが、本址の西側大部分が区域外にかかる。平面形：全形が判然としないため、不明である。規模：410×(180)×56 床面積：(5.0m²) 主軸方向：不明 壁：直に立ち上がる。壁残存高は、44-56cmを測る。床面：小礫が露出する灰色土で、あまり堅くない。ピット：P₁・P₂の2基みられる。P₁の掘り込み内の覆土中には、

小礫が混入している。カマド：北東隅にわずかな焼上痕が確認できるが、袖石や火床の掘り込みなどはみられない。覆土の状況：3層に分けられる。壁際を除き、多量の礫が混入している。遺物出土状況：北東隅に出土が集中している。東壁際からは、緑釉陶器輪花椀が出土した。

第183号住居址（第14図）

地区：D地区中央 重複関係：185住・豎22・P301・P415を切る。184住・豎14に切られる。平面形：隅丸長方形 規模：780×656×40 床面積：41.5m² 主軸方向：N-90°-E 壁：ほぼ直に立ち上がる。残存高は、34~40cmを測る。床面：小礫が露出する灰色上の床面である。ピット：6基みられる。すべて柱穴と考えられる。カマド：石組カマドが北東隅に位置する。両袖石と天井石が残存している。わずかに火床に焼土がみられる。覆土の状況：6層に分けられる。上層から下層まで礫が多量に混入している。遺物出土状況：カマド周辺および北壁際に遺物が集中する。

第218号住居址（第16・17図）

地区：D地区南西隅 重複関係：233住を切る。豎18・P405・溝28に切られる。平面形：隅丸長方形 規模：632×504×40 床面積：27.6m² 主軸方向：N-90°-E 壁：ほぼ直に立ち上がる。東・南・北壁は30~40cmを測るが、西壁は上部を溝28に切られており、残存高は6~20cmである。床面：灰色土で、非常に堅い。ピット：9基発見されている。P₄・P₉内には、礫が多量に混入している。カマド：北東隅に、石組カマドが検出されている。両袖石と天井石が残存している。底面には焼土が顕著にみられる。覆土の状況：9層確認されている。カマド以外のI~IV層が住居址の基本的な覆土である。I~III層中には、多量の炭粒が混入している。遺物出土状況：北東隅のカマド付近から東壁際、および南壁際に遺物がみられる。カマド周辺には、構築材と考えられる石材が集中してみられる。金属製品は、釘・鉄鏃・鉄滓が出土した。

第236号住居址（第17図）

地区：D地区南西隅 重複関係：南西隅を土283に切られる。平面形：隅丸長方形 規模：412×388×40 床面積：13.3m² 主軸方向：N-88°-W 壁：やや斜めに立ち上がる。残存高は、30~40cmを測る。床面：小礫の露出する灰色土で、やや堅い。ピット：住居中央部に3基確認されている。カマド：北西隅に石組カマドが検出されている。両袖石と、天井石が残存している。石組みされた煙道が、住居外に1m延びている。火床および煙道部分には、あまり焼土がみられない。覆土の状況：9層確認されている。下層には礫が多量に混入している。遺物出土状況：全域に礫が散乱し、南半部の一部に焼土がみられる。

第250号住居址（第18図）

地区：D地区南端東寄り 重複関係：土305、P430・450・451・452・453に切られる。平面形：隅丸長方形 規模：408×400×44 床面積：12.3m² 主軸方向：N-90°-E 壁：やや斜めに立ち上がる。残存高は、30~44cmを測る。床面：壁際以外は貼床がみられ、全面にわたって堅い。ピット：中央やや西寄りに3基みられる。カマド：東壁北寄りに石組カマドがみられる。袖石の一部が残存しているが、カマド周辺には構築材と考えられる石材が散乱している。覆土の状況：3層に分けられる。第II層には、炭が多量に混入していた。遺物出土状況：北半部を中心に、覆土中層から下層にかけて礫・土器類が出土している。西壁際中央部の覆土第II層より、緑釉陶器輪1点が出土した。金属製品は、鎌・刀子が出土した。

第268号住居址（第20図）

地区：D地区南側東寄り 重複関係：269住に切られる。平面形：隅丸長方形 規模：(648)×552×40 床面積：(32.9m²) 主軸方向：N-94°-E 壁：ほぼ直に立ち上がる。西壁は、溝40に上部を切られているため、23cmしか残存していないが、北・南壁は残存高40cmを測る。床面：灰色

の堅い床が確認された。ピット・カマド：発見されなかった。覆土の状況：3層確認できた。炭が多量に混入する。遺物出土状況：出土遺物の中に、黒色土器皿A、穿孔のある土師器杯、緑釉陶器碗などの特殊品がみられる。

第269号住居址（第20図）

地区：D地区南側東寄り 重複関係：268住を切る。平面形：隅丸長方形 規模：(704)×480×44 床面積：29.5m² 主軸方向：N-90°-E 壁：西壁は溝40に切られているため、わずかな壁の立ち上りを確認しただけであるが、東・南・北壁は緩やかに立ち上がり、残存高30~44cmを測る。床面：住居中央部付近を中心に、貼床がみられる。非常に堅緻な床で、淡黄灰色粘土を貼って叩きしめられている。部分的に3面の床を確認しており、各床面に焼土面やピットを確認している。下層の第2・3床面で確認したピットは、人為的に埋められ、その上に床が貼られていた。ピット：第1床面では26基、第2床面では7基、第3床面では5基確認されている。第1床面で発見されたピットのうち、北西部分のピット群には、すべて被熱痕が顕著に見られ、ピット内から鉄滓・鞆羽口・粘土塊が出土した。第2床面のピットは、第1床面をはがして検出できたものである。これらにも、被熱痕が確認され、覆土には焼土・炭が多量に混入していた。第3床面で確認されたピットも、第2床面と同様に、床面をはがして検出されたものである。このうちP4は、掘り込み内に明瞭に被熱痕が確認できた。各ピットの覆土には、第2床面のピットと同様に炭・焼土が多量に混入していた。カマド：東壁やや北寄りに、石組カマドが発見された。両袖石の一部が残存しているものの、天井石等は遺存していない。カマド周辺の覆土中には、カマド構築材と考えられる石材が散乱していた。覆土の状況：13層に分けられる。覆土中には炭が多量に混入しているが、特にIV・V層には多量にみられた。また、中央部を中心に礫が出土している。これらは、人為的に投棄された可能性がある。遺物：実測できた土器は48点ある。今回の調査で検出された遺構の中では、最も多量の遺物が出土した。特殊品として、漆の付着した土師器碗が2点、黒色土器皿A 2点、緑釉陶器皿2点・碗1点、鞆羽口3点などが出土している。金属製品の出土も多く、釘、刀子、鉄鎌、鉄滓などが出土した。備考：出土遺物で鞆羽口、鉄滓などの出土が見られることや、被熱面および被熱したピットが検出されている点から、本址は鍛冶と密接な関連があると考えられる。

2 掘立柱建物址

D区とE区で各1棟ずつ発見された。これらの帰属時期は判然としませんが、柱穴から出土したわずかな出土遺物から、周辺に分布する平安時代後半の住居址群と同時期と考えられる。

第14号掘立柱建物址（第23図）

D地区南側西寄りに位置する。柱穴配列は、3間×2間の総柱建物である。主軸はN-4°-Wを指す。柱間間隔は、桁行が232~276cm、梁間196~256cmと一定しない。柱穴は、すべて平面形が円形で、径32~60cmのものである。柱穴の深さは、10~56cmである。各柱穴の覆土には、小礫が混入している。出土遺物はなかった。

第15号掘立柱建物址（第23図）

E地区北側中央付近に位置する。柱穴配列は、2間×2間の総柱建物である。主軸は、建14と同様にN-4°-Wを指す。柱間間隔は、桁行196~240cm、梁間168~220cmで、均等には並ばない。柱穴規模も小さいものが多く、径28~68cm、深さ6~28cmである。出土遺物は、P499より土師器杯が出土している。

3 竪穴状遺構

今回の調査で竪穴状遺構としたものは、総計25軒を数える。長辺2mを越える上坑については、竪穴状遺構として区別した。平面形は、長方形または方形を基調とするものが9基、円形または楕円形を基調とするもの6基、不明10基である。遺構底面までの深さは概して浅く、30cmにも満たないものが多いが、竪19と竪44は40cm以上の深さが確認される。遺物が出土するものは少ないが、竪14・39・40は多量の礫、

16・19・22・37・44からは土器・陶器がまとめて出土した。以下、主な竪穴状遺構について記述する。

第16号竪穴状遺構（第22図）

D地区南側西端に位置する。本址西側は調査区外へ延びている。平面形は楕円形を呈し、規模は、288cm×(220)cm×17cmを測る。壁は斜めに立ち上がり、貼床などもみられない。遺構底面には、ピットが2基検出されている。出土遺物は、黒色土器A碗、土師器杯、緑軸陶器段皿、鉄滓など出土している。

第22号竪穴状遺構（第22図）

D地区に中央付近に、185住を切り、183住に切られて検出された。壁はほぼ直に立ち上がり、残存高は25～30cmを測る。覆土は3層に分けられ、遺物を多量に含んでいる。底面には、ピットが1基発見された。出土遺物は、灰軸陶器碗、土師器杯・碗・盤がみられる。

第37号竪穴状遺構（第23図）

D地区南東隅に位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は348cm×260cm×12cmを測る。底面までは12cmと浅いが、覆土は2層に分けられ炭が混入する。遺物は、灰軸陶器碗3点、黒色土器A碗1点が出土した。

4 土坑・ピット

今回の調査で発見された土坑およびピットは、総計878基（土坑344、ピット534）を数える。これらは各地区に分散し、調査区全域にわたり広がっている。A区では分布は疎らで、主に住居址付近に土坑11基、ピット4基が検出されている。遺物の出土した土坑・ピットは皆無である。B区では、調査区南西隅にピット・土坑群がみられる。しかし、全体的に遺構の掘り込みが浅く、柱痕が確認できるものもないため、建物址を構成する柱穴となるかは不明である。C区では分布に偏りがみられ、調査区南端部・北端部・中央部に群として捉えられる部分のみがみられる。最も集中している南端部では、掘り込みが深く、柱痕が観察できるものがあることから、建物址の柱穴となる可能性がある。しかし、明確な建物址プランとしては把握できない。D区では、調査区中央東半部と南西部を中心に分布している。このうち、中央部やや東寄りに位置する土226は、壁面および底面が被熱しており、出土遺物が多い。図化できた土器は、土師器杯・碗が8点ある。E区では、流路以外の箇所に散在している。以下、主な土坑について記述する。

第74・75号土坑（第24図）

B区北側中央付近に位置する。この2基は切り合っており、土74が土75を切っている。この2基とも覆土中に小礫が多量に混入する。遺物は、土74より青磁小片が出土したのみである。この2基は、中世に帰属するものと考えられる。

第226号土坑（第24図）

D区中央東寄りに位置する。平面形は、隅丸長方形を呈し、規模は長軸180cm×短軸128cm×深さ20cmを測る。底面は、ほぼ平坦であるが、南端部にはテラス状の段がみられる。北側の底面は、被熱痕がみられ、焼土が確認できる。遺物は、本址北半部に集中し、出土量も多い。

5 溝址・流路（第24・25図）

今回の調査では、溝あるいは流路としたものが21条確認されている。これらのほとんどが自然流路の可能性が高いが、溝27・28・29・30・32は水性の堆積が確認できず、人工的に掘り込まれた可能性もある。これらは、掘り込まれた断面形状がV字形を呈し、ほぼ平行して延びている。各溝からは、土師器・灰軸陶器などの遺物が出土している。特殊品としては、溝29から土鍾が出土した。

第1表 聖穴住居址一覽

No.	区	平面形	規模 (cm)			床面積 (㎡)	主軸方向	カマド形態 種類・位置	時期	備考
			長	短	軸 輪					
		深 さ								
A区										
145	A	方形	<292>	<268>	16	<4.1>	N - 0°	19朝以降	146、147住に切られる。区域外にかかる。	
146	A	長方形	392	322	12	(12.0)	N - 6° - W	13~15朝	145住を切る。176住に切られる。	
147	A	不明	332	<196>	32	<4.9>	N - 10° - W	古墳前期	トレンチに切られる。	
148	A	不明	380	<132>	28	<3.7>	N - 13° - W	8朝以降	区域外にかかる。	
149	A	不明	364	<246>	24	<7.7>	N - 13° - W	古墳前期	区域外にかかる。	
150	A	不明	360	<72>	16	<2.0>	不明	古墳前期	区域外にかかる。	
176	B	方形	(380)	360	20	(13.2)	N - 6° - W	遺物なし	145、146住を切る。土159、P44に切られる。区域外にかかる。	
B区										
122	B	隅丸長方形	(480)	380	26	(14.1)	N - 11° - W	遺物なし	126住に切られる。区域外にかかる。	
123	B	隅丸長方形	(392)	368	26	(11.4)	N - 10° - W	遺物なし	124住、竪4、土74、P6、溝21に切られる。	
124	B	隅丸長方形	448	436	36	(15.2)	N - 80° - E	123・136住を切る。土74・75、P7・8に切られる。	123・136住を切る。土74・75、P7・8に切られる。	
125	B	隅丸長方形	390	(324)	8	(10.0)	N - 5° - W	遺物なし	P9を切る。土77・78に切られる。	
126	B	隅丸長方形	344	300	32	9.5	N - 7° - W	15朝	122住を切る。土73、P42に切られる。	
127	B	不明	504	<246>	22	<10.3>	N - 97° - W	14朝	土79に切られる。区域外にかかる。	
129	B	隅丸方形	432	400	12	14.3	N - 79° - E	10~13朝	124住に切られる。	
131	B	不明	460	<268>	28	<8.5>	N - 14° - W	13朝	流路を切る。132・133・137住に切られる。	
132	B	隅丸長方形	424	348	24	(14.6)	N - 7° - W	13朝	131・137住、溝路2を切る。133住に切られる。	
133	B	隅丸方形	388	368	26	11.7	N - 4° - E	11~14朝	132・137住、溝路2を切る。	
136	B	不明	400	<92>	12	<2.3>	N - 15° - W	13~15朝	124住に切られる。	
137	B	隅丸方形	476	460	32	(19.8)	N - 0°	12~14朝	131住、溝路2を切る。132・133住に切られる。	
138	B	隅丸方形	(416)	410	40	(13.8)	N - 76° - E	11朝	142住、土92を切る。区域外にかかる。	
139	B	隅丸方形	(608)	596	44	(32.0)	N - 16° - W	11~15朝	P19・20・21を切る。140住、溝5に切られる。溝壁不明。	
140	B	隅丸方形	448	(420)	52	(15.5)	N - 16° - W	12~14朝	139住を切る。溝5に切られる。区域外にかかる。	
141	B	不明	460	<132>	24	<3.8>	N - 8° - W	13~15朝	555を切る。138住、土91に切られる。	
142	B	不明	<316>	<36>	40	<1.0>	不明	遺物なし	区域外にかかる。	
144	B	不明	<286>	<132>	10	<3.6>	N - 8° - W	遺物なし	123・126住、竪4、土73に切られる。	
C区										
152	C	不明	468	<280>	40	<9.7>	N - 88° - E	15朝	区域外にかかる。	
153	C	隅丸長方形	430	356	20	13.4	N - 6° - E	遺物なし		
154	C	不明	(456)	<180>	24	<5.5>	N - 27° - E	11朝以降	165住を切る。P118・194に切られる。区域外にかかる。	
155	C	不明	496	<216>	50	<8.5>	N - 95° - E	9~14朝	土175に切られる。区域外にかかる。	
165	C	不明	360	<100>	28	<2.8>	N - 18° - E	遺物なし	154住、P153に切られる。区域外にかかる。	
D区										
158	D	隅丸方形	500	500	40	20.8	N - 90° - E	15朝	P214に切られる。	
159	D	隅丸方形	406	388	40	12.0	N - 15° - W	12朝以降		
160	D	不明	362	<76>	16	<1.8>	不明	遺物なし	区域外にかかる。	
161	D	隅丸長方形	420	<320>	14	<12.1>	N 90° - E	14~15朝	162住を切る。西側プラン不明。	

No.	区	平面形	長	短	深さ	床面積 (㎡)	主軸方向	カマド形態		時期	備考
								種類・位置	種類・位置		
162	D	隅丸方形	460	448	20	16.9	N - 89° - E	東壁北寄り・石組		13 - 15期	161住に切られる。
163	D	不明	<40>	<184>	36	<5.8>	不明				区域外にかかると。
167	D	隅丸方形	420	368	36	12.1	N - 85° - E	北東隅・石組		13 - 14期	区域外にかかると。P 212、216、232に切られる。
168	D	隅丸方形	472	(472)	24	(20.0)	N - 104° - E	南東隅・石組		不明	土220に切られる。区域外にかかると。
170	D	不明	360	<78>	36	<1.8>	不明			13 - 15期	区域外にかかると。
171	D	不明	410	<180>	56	<5.0>	不明			13 - 15期	土193に切られる。
173	D	隅丸方形	500	420	20	18.8	N - 9° - W			9 - 14 - 15期	土234を切る。掘込にあつて。区域外にかかると。
174	D	隅丸方形	560	472	28	(21.7)	N - 106° - E	東壁北隅・石組		15期	遺物なし
175	D	隅丸方形	(480)	452	26	(19.7)	N - 0°			15期	185住、野22、P301・415を切る。184住、壁14に切られる。
184	D	隅丸方形	780	656	40	41.5	N - 90° - E	東壁北隅・石組		15期	183住を切る。
183	D	長方形	472	412	42	17.6	N - 3° - E			14 - 15期	183住、野22、土222に切られる。
185	D	隅丸方形	480	(472)	28	(20.3)	N - 0°			13 - 15期	186・200住を切る。土244、P224・325に切られる。
189	D	隅丸方形	476	404	26	15.8	N - 101° - E	東壁北隅・石組		9期以降	202住を切る。189住、土271、P368に切られる。
200	D	長方形	520	492	16	21.4	N - 2° - E			13 - 15期	203・205住を切る。200住に切られる。区域外にかかると。
202	D	隅丸方形	(468)	444	18	(18.8)	N - 0°			11期以降	202住、土247に切られる。
203	D	隅丸方形	390	348	20	12.8	N - 0° - E	南壁東隅		12期以降	202住に切られる。区域外にかかると。
204	D	隅丸方形	400	320	24	10.6	N - 8° - W			7期以降	207住を切る。土247・248に切られる。
205	D	不明	<212>	<204>	22	<3.6>	不明			11期以降	213住を切る。土267・268、P364に切られる。
206	D	隅丸方形	440	344	16	13.1	N - 0°			11期以降	土248 - 255、P228・364・365・366・367に切られる。
207	D	長方形	(424)	340	22	(22.1)	N - 2° - E			12 - 14期	178住、土206を切る。
208	D	隅丸方形	384	376	58	9.3	N - 6° - W			8期以降	206住、P349に切られる。
211	D	隅丸長方形	534	384	36	17.1	N - 0°			13 - 15期	215住を切る。P440、溝28に切られる。
213	D	隅丸長方形	304	292	28	7.2	N - 0°			13 - 15期	254・255住を切る。溝14、土278 - 279、P367・368・400・401・412・413に切られる。
214	D	隅丸方形	380	342	12	12.0	N - 15° - E			13 - 15期	233住を切る。壁18、P405、溝28に切られる。
217	D	隅丸方形	484	448	18	18.0	N - 5° - E			13 - 15期	226住を切る。
218	D	隅丸方形	632	504	40	27.6	N - 90° - E	東壁北隅・石組		15期	236住を切る。土320を切る。
220	D	隅丸長方形	560	510	52	22.0	N - 6° - E			14 - 15期	遺物なし
225	D	隅丸長方形	420	<216>	40	<7.9>	N - 19° - E			13 - 14期	225住を切る。254住、野19に切られる。
226	D	隅丸長方形	528	492	42	(23.8)	N - 17° - E			13 - 14期	218住、土380、P402・435に切られる。
228	D	不明	368	<124>	40	<3.8>	不明			遺物なし	土283に切られる。
236	D	隅丸長方形	412	368	40	13.3	N - 88° - W	西壁北隅・石組		13 - 14期	土305・P430・450・451・452・453に切られる。
250	D	隅丸方形	408	400	14	12.3	N - 90° - E	東壁北寄り・石組		13 - 15期	土329・330、溝28を切る。
251	D	方形	628	588	16	31.7	N - 0°			11期以降	256・207住を切る。区域外にかかると。
252	D	隅丸方形	(488)	(460)	28	(10.9)	N - 17° - W			13 - 15期	228住に切られる。区域外にかかると。
253	D	不明	<424>	<168>	10	<5.0>	不明			13 - 15期	217・254住、P383に切られる。
254	D	隅丸方形	436	432	42	16.3	N - 8° - E	東壁北隅・石組		13 - 14期	213・252・267住、土320に切られる。北半不明。
255	D	隅丸方形	420	420	44	14.9	N - 80° - E	東壁北隅・石組		13 - 14期	256住を切る。252住、土307・320に切られる。
256	D	不明	416	<286>	12	<3.4>	N - 1° - W			8 - 15期	
267	D	隅丸長方形	(432)	(280)	12	(11.1)	N - 10° - W				

No.	区	平面形	規模 (cm)		床面積 (㎡)	主軸方向	カメラ形態		時期	備考
			長軸	短軸			種類	位置		
268	D	隅丸長方形	(684)	552	40	N - 4° - E			13-14期	269住、土298・313に切られる。
269	D	隅丸長方形	(704)	480	44	N - 90° - E	東壁北寄り・石組		12-15期	251・268・271住を切る。土313・345、P434、溝38に切られる。
271	D	不明	352	<184>	40	不明			12-15期	269住、土298、P462、溝38に切られる。
E区	E	隅丸方形	452	440	18	N - 0°			15期	P477・532を切る。土344、P478に切られる。
273	E	隅丸方形	468	456	24	N - 84° - E	東壁北隅・石組		11-13期or15期	P500に切られる。

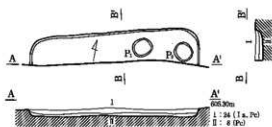
第2表 独立柱建物址一覧

No.	区	平面形		主軸方向	規模 (cm)	柱間寸法 (cm)	柱 穴		柱礎 (cm)	柱頂 (cm)	備考
		柱間	面積 (㎡)				平面形	間隔 (cm)			
14	D	長方形	N - 4° - W	35.5	3間×2間	桁行 232-276 (252)	径 32-60	不明	不明	215・217住、土278・326・327、P317・379・380・388・389・391・441・446、溝28・30・31を切る。	
15	E	総柱式	N - 4° - W	15.9	740×473	梁間 196-256 (241)	径 10-56				
		他柱式	N - 4° - W	15.9	2間×2間	桁行 196-240 (218)	径 28-68	不明			
					456×384	梁間 168-220 (184)	深 6-28				

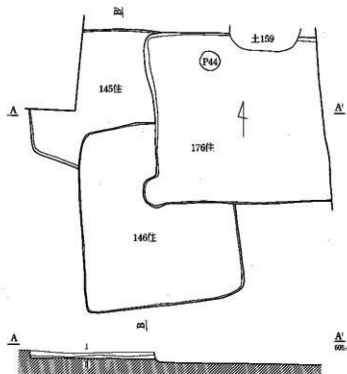
第3表 堅穴遺構一覽

No.	区	平面形	規模 (cm)			原面積 (㎡)	主軸方向	時期	備 考
			長	幅	深さ				
4	B	隅丸長方形	252	228	28	4.6	N - 4° - W	不明	溝21を切る。
5	B	不明	256	<168>	10	<3.2>	N - 10° - W	遺物なし	142住、土92、溝24に切られる。
6	B	長方形	296	160	16	3.1	N - 8° - W	遺物なし	
10	D	隅丸長方形	264	168	10	3.4	N - 8° - E	遺物なし	P260を切る。
11	D	不明	<156>	124	10	<1.3>	N - 0°	遺物なし	
12	D	楕円形	424	162	16	(4.9)	N - 10° - W	遺物なし	192住、堅13・15を切る。
13	D	不明	<220>	<148>	16	<2.8>	不明	遺物なし	192住、堅12に切られる。
14	D	隅丸長方形	392	240	12	7.2	N - 5° - E	遺物なし	183・184住を切る。
15	D	長方形	384	300	32	(10.0)	N - 0°	遺物なし	192住を切る。堅12に切られる。
16	D	楕円形	288	(220)	17	(4.4)	N - 24° - E	9割以上	215住を切る。土285・286、P410に切られる。区域外にかかると。
17	D	不明	280	<172>	16	<4.3>	N - 2° - E	遺物なし	区域外にかかると。
18	D	隅丸長方形	324	168	12	4.1	N - 25° - E	遺物なし	
19	D	長方形	360	292	44	6.7	N - 7° - E	11割以降	
21	D	隅丸長方形	346	252	32	7.4	N - 6° - E	遺物なし	226・254住を切る。
22	D	不明	326	<140>	30	<3.2>	N - 10° - E	遺物なし	
23	D	不明	204	<84>	10	<1.3>	不明	遺物なし	185住を切る。183住に切られる。
31	D	不明	292	<196>	8	<3.0>	N - 13° - W	遺物なし	218住を切る。
32	D	不明	<184>	<52>	4	<0.7>	不明	遺物なし	堅32、溝39を切る。区域外にかかると。
35	D	楕円形	364	300	18	(7.3)	N - 35° - E	遺物なし	堅31、溝38に切られる。区域外にかかると。
36	D	不明	<308>	<68>	30	<1.0>	不明	遺物なし	土321に切られる。
37	D	楕円形	348	260	12	(7.3)	N - 0°	13~15割	土321に切られる。
38	E	楕円形	204	112	12	(1.4)	N - 1° - W	遺物なし	区域外にかかると。
39	E	隅丸長方形	306	300	16	(6.4)	N - 27° - E	14~15割	堅40、土335に切られる。
40	E	楕円形	288	176	24	3.6	N - 74° - W	13~14割	堅39を切る。
44	D	不明	220	<120>	42	<2.0>	N - 9° - W	13~14割	区域外にかかると。

第150号住居址

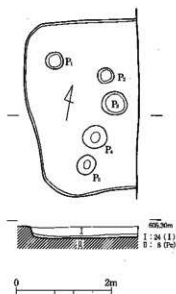


第145・146・176号住居址

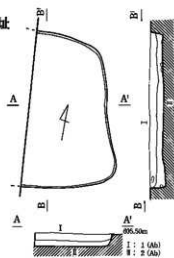


1: 2 (Ab)
2: 2 (Ab)
3: 2 (V)
4: 2 (Ab, Mb)

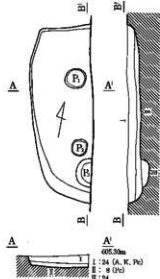
第149号住居址



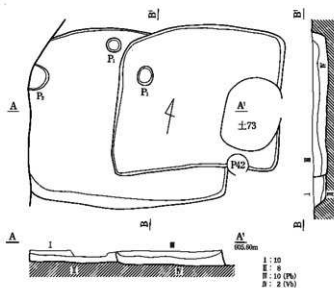
第147号住居址



第148号住居址

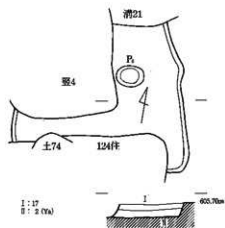


第122・126号住居址

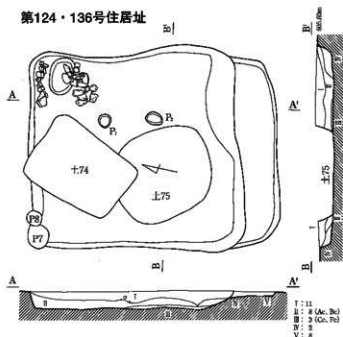


第8図 住居址(1)

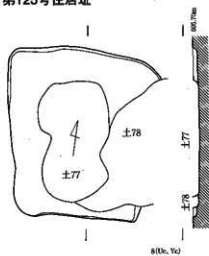
第123号住居址



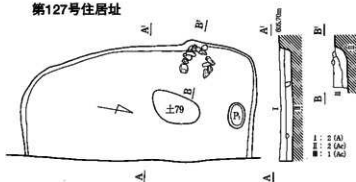
第124・136号住居址



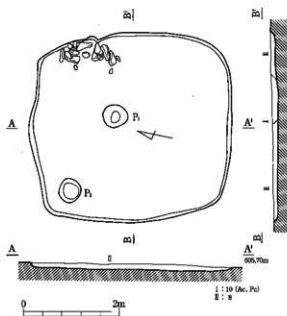
第125号住居址



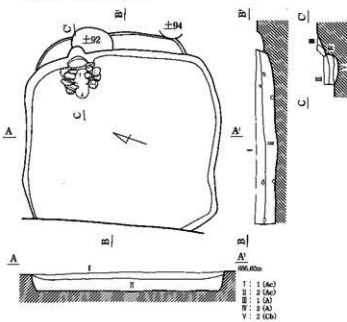
第127号住居址



第129号住居址

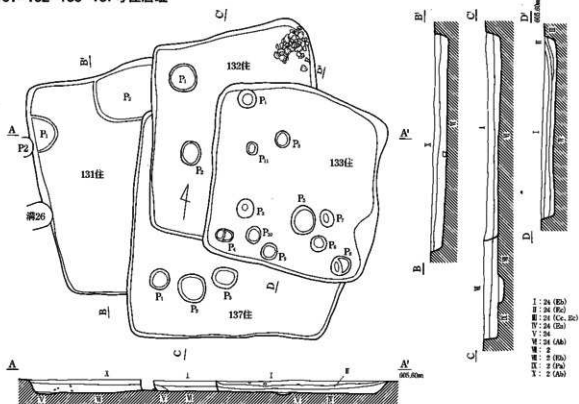


第138・142号住居址

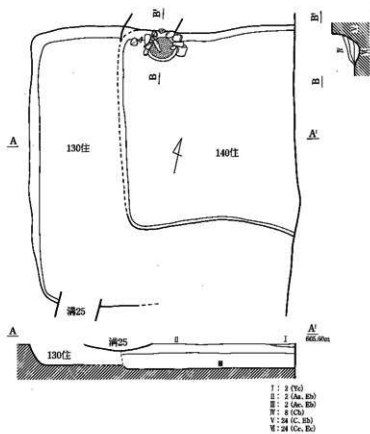


第9図 住居址(2)

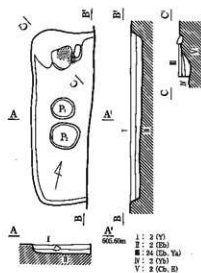
第131・132・133・137号住居址



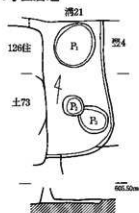
第139・140号住居址



第141号住居址

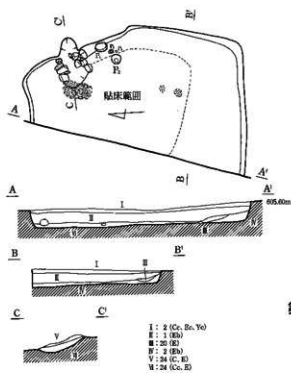


第144号住居址

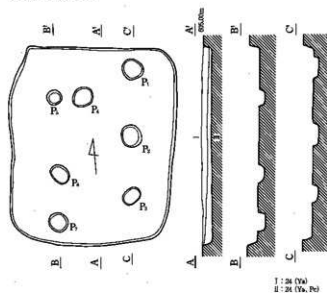


第10図 住居址(3)

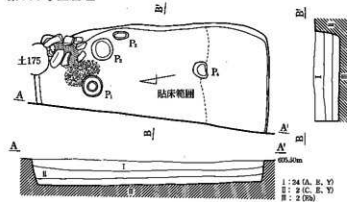
第152号住居址



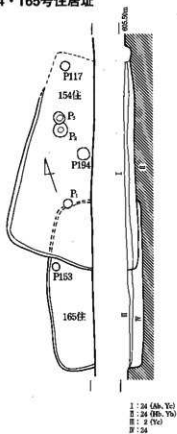
第153号住居址



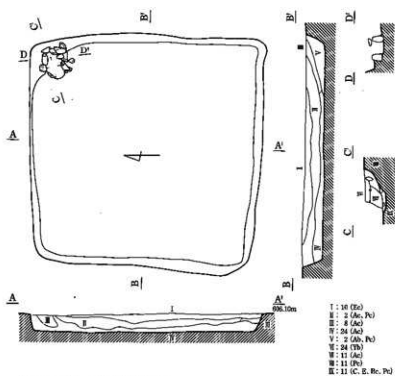
第155号住居址



第154・165号住居址

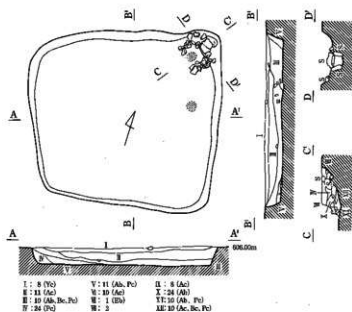


第158号住居址

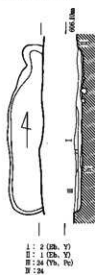


第11图 住居址(4)

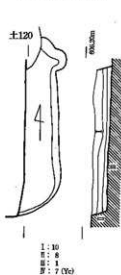
第159号住居址



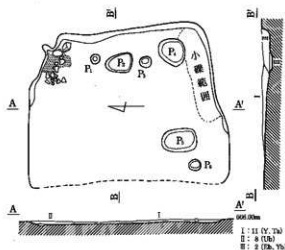
第160号住居址



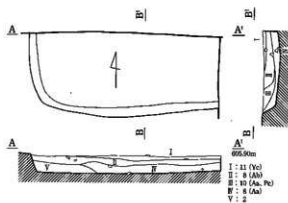
第170号住居址



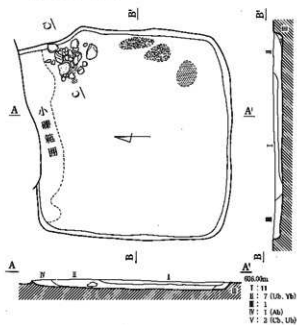
第161号住居址



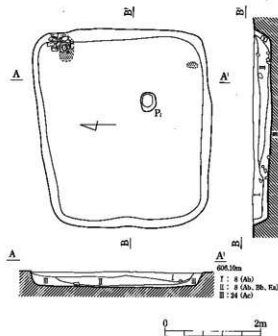
第163号住居址



第162号住居址

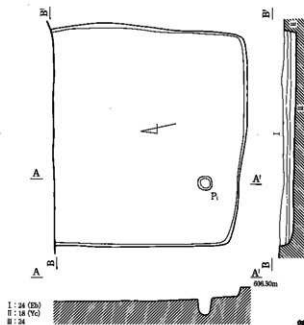


第167号住居址

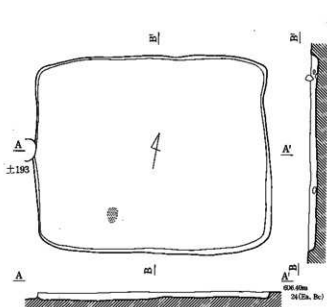


第12图 住居址(5)

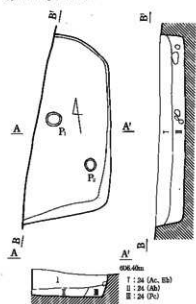
第168号住居址



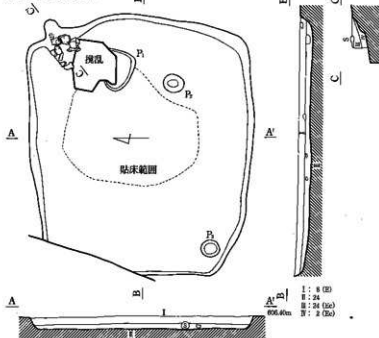
第173号住居址



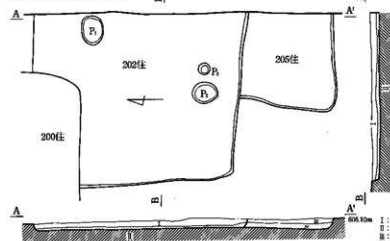
第171号住居址



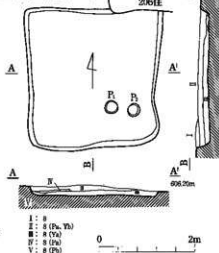
第174号住居址



第202・205号住居址

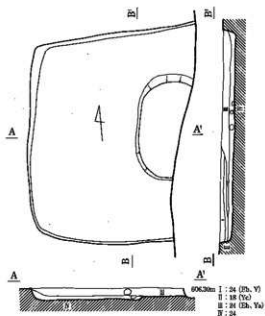


第213号住居址

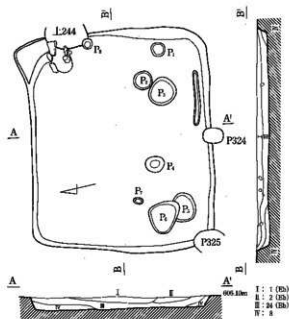


第13图 住居址 (6)

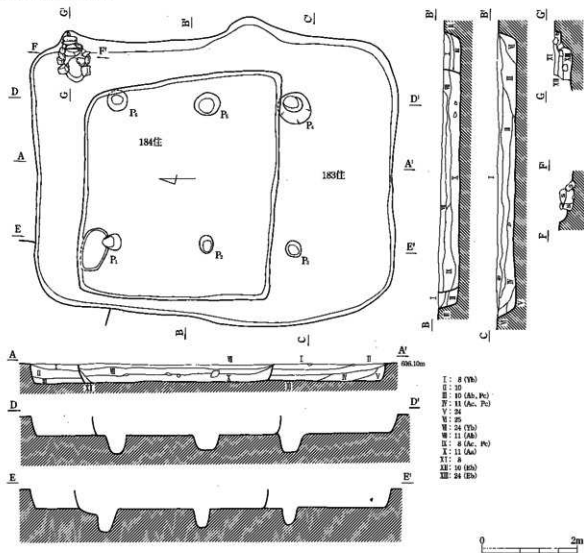
第175号住居址



第189号住居址

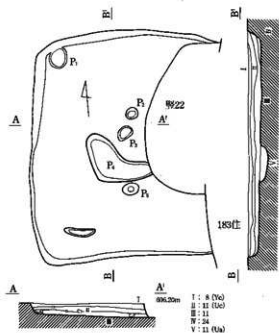


第183・184号住居址

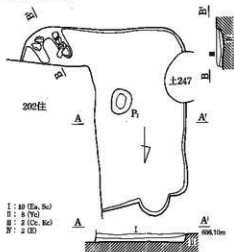


第14图 住居址(7)

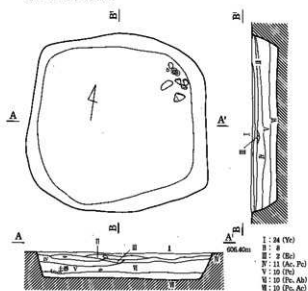
第185号住居址



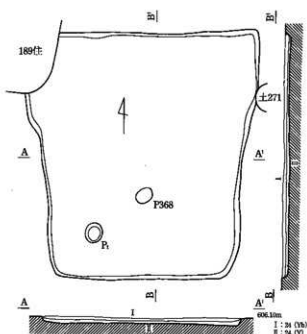
第203号住居址



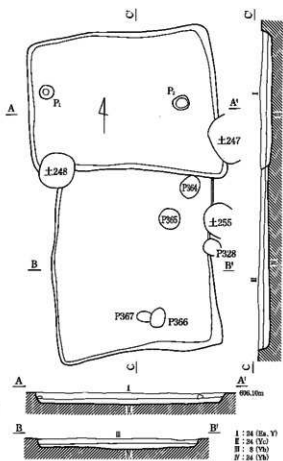
第208号住居址



第200号住居址

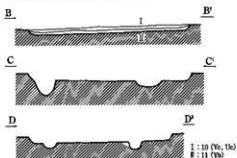
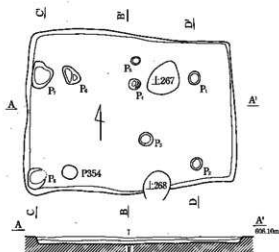


第204・207号住居址

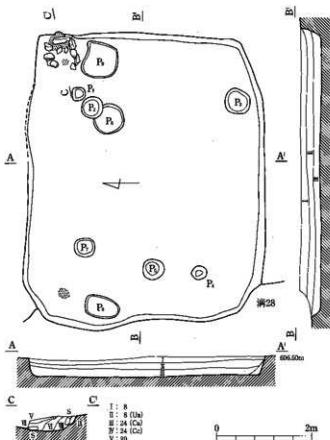


第15图 住居址 (8)

第206号住居址



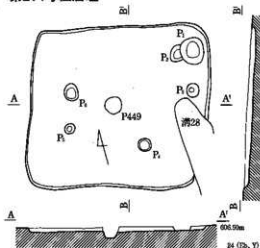
第218号住居址



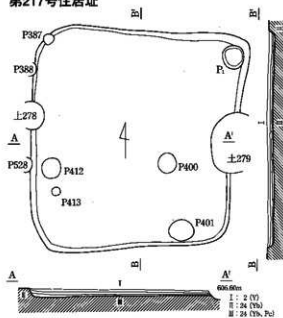
1: 8
 II: 8 (No.)
 III: 24 (Ca)
 IV: 24 (Ca)
 V: 20



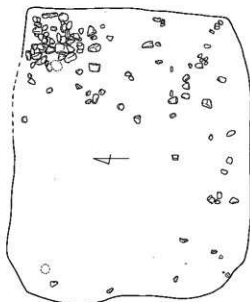
第214号住居址



第217号住居址

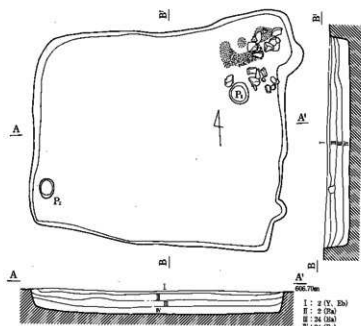


218住遺物出土状況

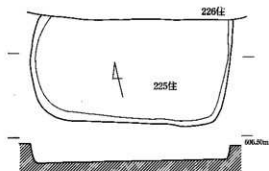


第16图 住居址(9)

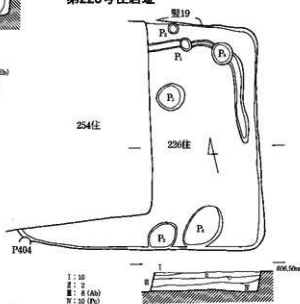
第220号住居址



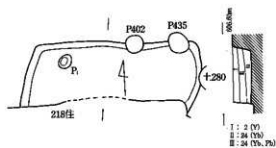
第225号住居址



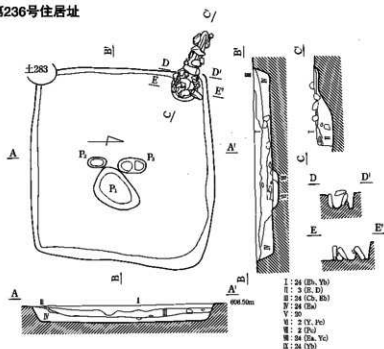
第226号住居址



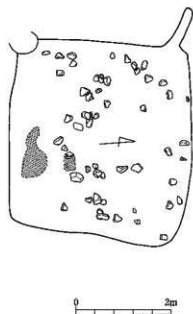
第233号住居址



第236号住居址

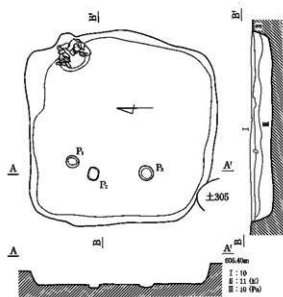


236住遺物出土状況

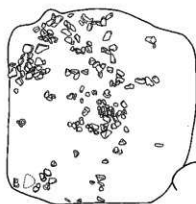


第17図 住居址 (10)

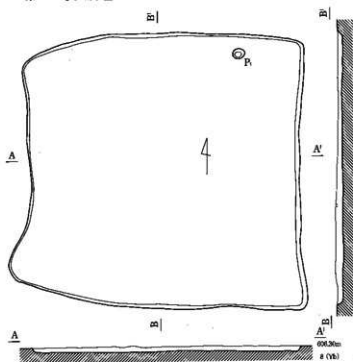
第250号住居址



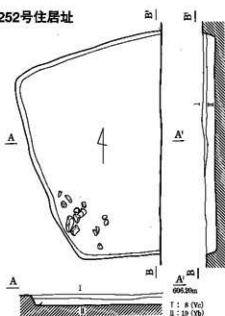
250住遺物出土状況



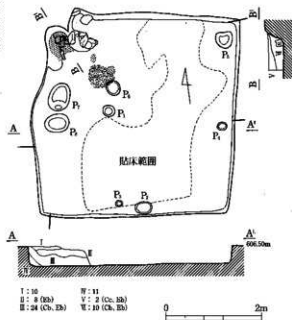
第251号住居址



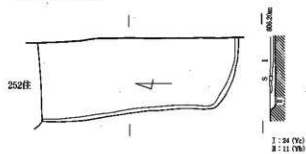
第252号住居址



第254号住居址

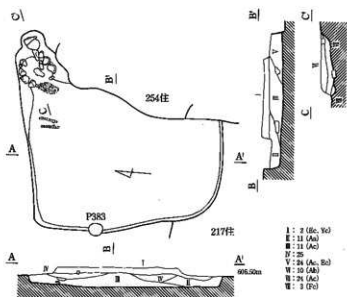


第253号住居址

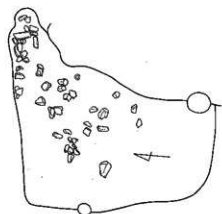


第18図 住居址 (11)

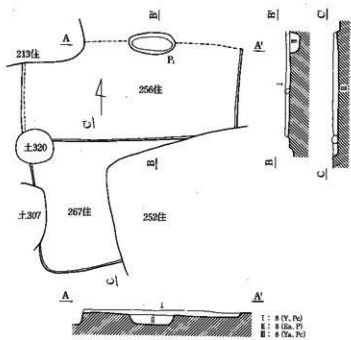
第255号住居址



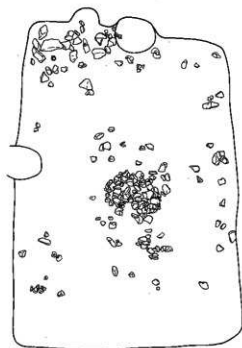
255住遺物出土状況



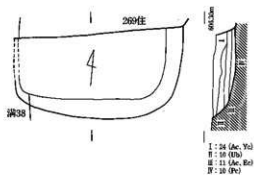
第256・257号住居址



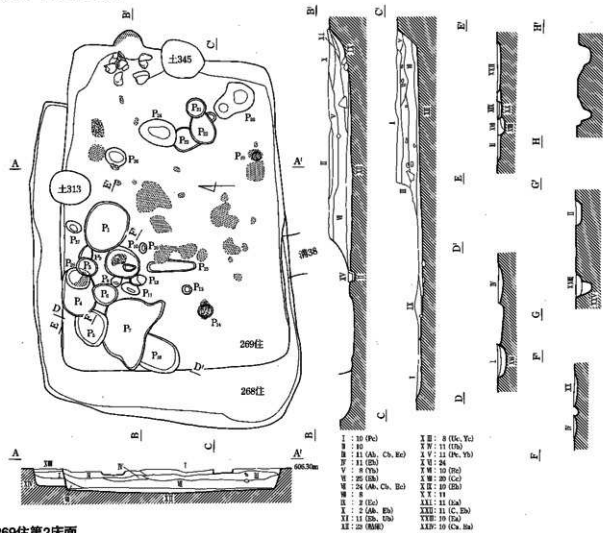
269住遺物出土状況



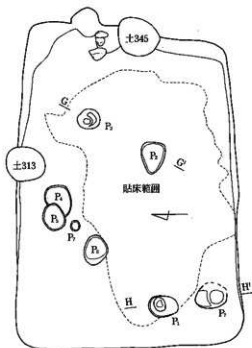
第271号住居址



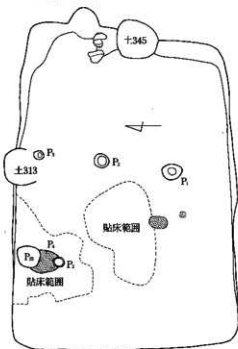
第19図 住居址 (12)



269住第2床面

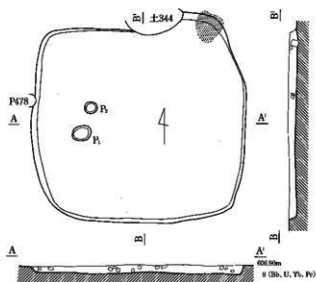


269住第3床面

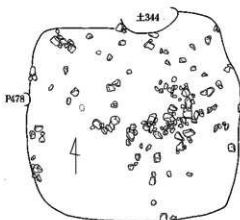


第20圖 住居址(13)

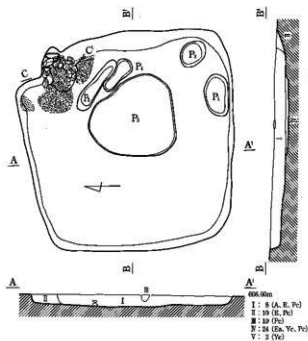
第272号住居址



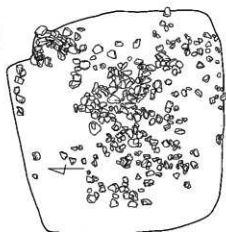
272住遺物出土状況



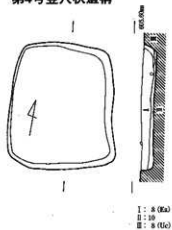
第273号住居址



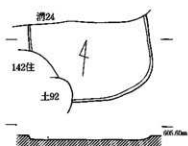
273住遺物出土状況



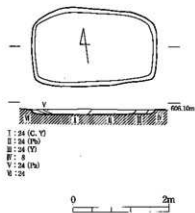
第4号竪穴状遺構



第5号竪穴状遺構

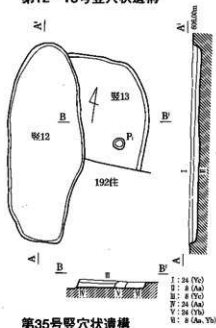


第10号竪穴状遺構

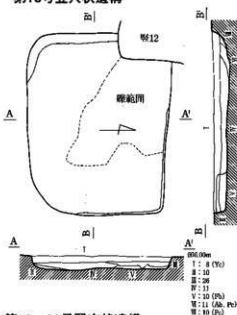


第21図 住居址(14)・竪穴状遺構(1)

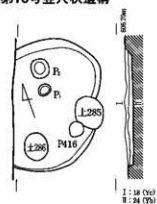
第12・13号竖穴状遺構



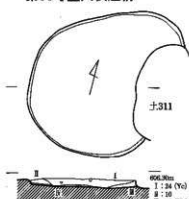
第15号竖穴状遺構



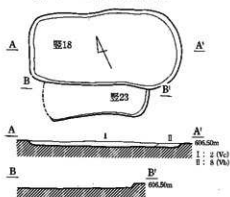
第16号竖穴状遺構



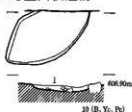
第35号竖穴状遺構



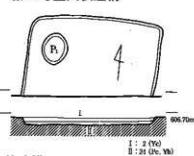
第18・23号竖穴状遺構



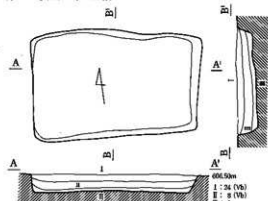
第36号竖穴状遺構



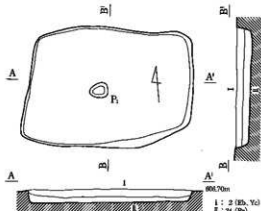
第17号竖穴状遺構



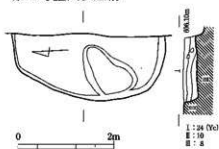
第19号竖穴状遺構



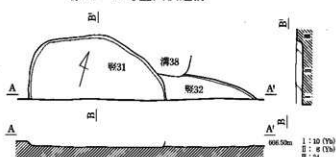
第21号竖穴状遺構



第22号竖穴状遺構

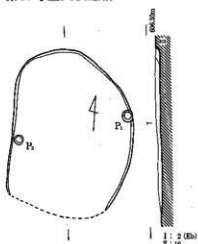


第31・32号竖穴状遺構



第22図 竖穴状遺構 (2)

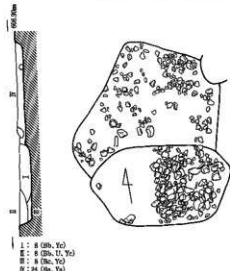
第37号竖穴状遺構



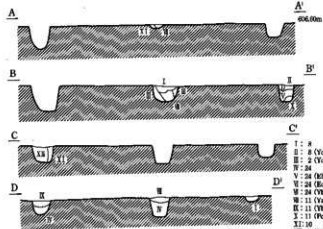
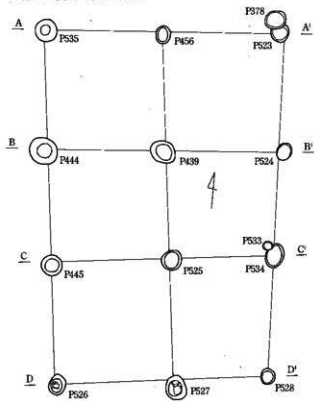
第39・40号竖穴状遺構



竖39・40遺物出土状況



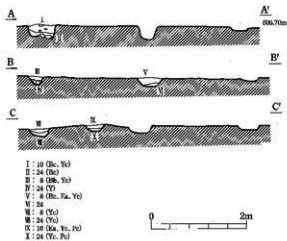
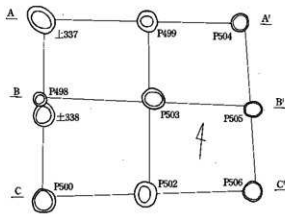
第14号掘立柱遺物址



第44号竖穴状遺構

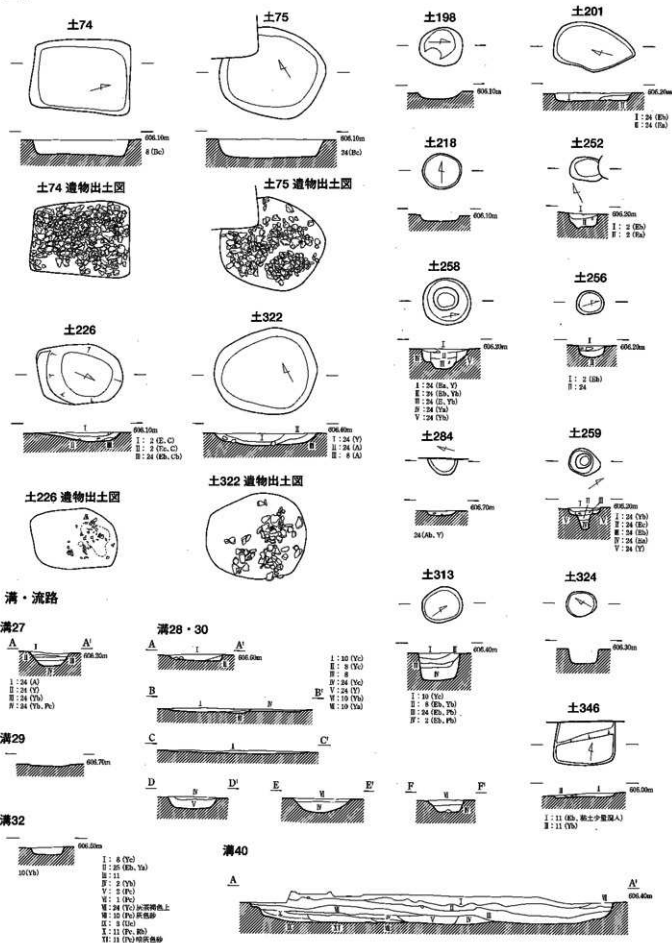


第15号掘立柱遺物址



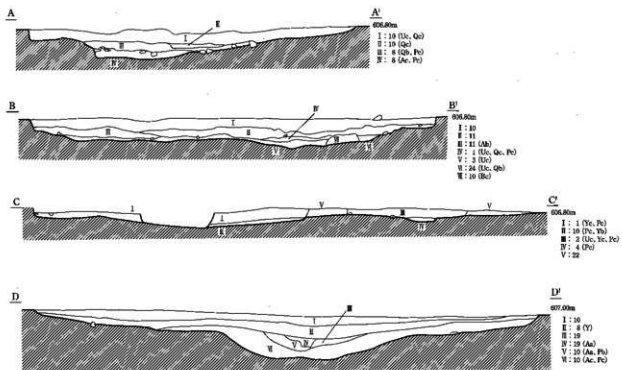
第 23 图 竖穴状遺構 (3) ・掘立柱遺物址

土坑



第 24 図 土坑、溝・流路 (1)

流路3



第25図 溝・流路(2)

Ⅲ節 遺物

1 土器・陶磁器・土製品（第4表、図版26～35、写真図版13～18）

① 概要

今回出土した土器・陶磁器・土製品の総重量は、約142kgである。大半が竪穴住居址を中心とした遺構内から出土した。

種別は、土師器、須恵器、黒色土器A、黒色土器B、灰釉陶器、緑釉陶器、白磁、古瀬戸、土製品に分類した。

時期は複数の時期から構成される。A区の147住と150住と検出面からは、古墳時代前期の土器が出土した。B区とD区の遺構内からは平安時代前期の土器が少量出土した。B区の検出面からは、少数の中世の陶器が出土した。上記以外のものは、平安時代後期の土器・陶磁器・土製品と見られる。

図化提示は残存状態の良いものを中心に重量で約60kg、個体数で567点を行った。種別の内訳は、土師器325点、黒色土器A・B47点、須恵器6点、灰釉陶器167点、緑釉陶器9点、白磁6点、古瀬戸2点、土製品5点である。

② 器種・器形

帰属する時期によって、器種・器形の分類が大きく異なるので以下では時期ごとに述べる。古代（7C後葉～12C前葉）の土器・陶磁器の器種・器形の分類は、基本的に文献1に依拠する。

A 古墳時代の土器

土師器の甕、台付甕、壺とみられる個体が認められた。いずれも古墳時代の前期に属するとみられるが、甕B(第26図3)は文献1の1～2期古墳時代の末(7C末)に属するとみられる。

B 平安時代前期の土器・陶器

文献1で古代の5期～9期の土器を平安時代前期（8C末～10C前葉）とした。

土師器の杯C、黒色土器Aの杯A・鉢A、須恵器の杯A・甕A・鉢もしくは短頸壺が認められた。いずれも遺構外か遺構内で、他時期の土器群とともに数点ずつ出土しており、一括資料として精緻な時期を判別できる例はない。ほかに、個体数の少なさなどから精緻に時期を判別できず、8期～9期に属する可能性を残す土器群があるが、いずれも積極的に前期に分類する根拠に乏しく後期の項目で述べた。

C 平安時代後期の土器・陶磁器・土製品

文献1で古代の10期～15期の土器・陶磁器・土製品を平安時代後期（10C中葉～12C前葉）とした。

土師器の器種には、杯・皿・碗・盤・鉢・甕・瓶・羽釜がみられる。黒色土器Aには碗が、黒色土器Bには碗・皿・盤がみられる。須恵器には甕がみられる。灰釉陶器には碗・皿・瓶類がみられる。緑釉陶器には碗・皿がみられる。白磁には碗・皿がみられる。このうち主な器種・器形は以下で述べるとおりである。

土師器杯 182点を図化した。すべて高台を持たない杯Aであり、小形の杯AⅡと、中形の杯AⅢの2法量がみられる。口径は杯AⅡが約8～12cm、杯AⅢが15cm以上を測る。内外面にロクロナデの痕跡を明瞭に残し、底面が確認できたものは全て回転系切り痕が残る。

土師器皿 29点を図化した。すべて高台を持たない皿Aである。小形の皿AⅡと、中形の皿AⅠの2法量がみられる。口径は皿AⅡが10cm前後、皿AⅠは図化した3点中2点が15cm前後、1点がやや大きく19.0cmであった。内外面にロクロナデの痕跡を明瞭に残し、底面が確認できたものは全て回転系切り痕が残る。口縁部内側にわずかな「面」を有し、沈線が施される。

土師器椀 51点を図化した。大形の椀と小形の小椀の2法量が存在する。椀の寸法は口径約14～17cm、底径が5～7cmの範囲であり、小椀は口径が約9～12cm、底径が約3～4cmである。内外面にロクロナデの痕跡を明瞭に残し、底面が確認できたものは全て回転糸切り痕が残り、高台は全て貼り付けである。

土師器盤 40点を図化した。口径が20cmを越す大形の盤Aは確認されず、口径15cm前後の盤BⅠと口径9～11cmの盤BⅡの2法量がみられた。内外面にロクロナデの痕跡を明瞭に残し、底面には回転糸切り痕が残り、高台は貼り付けである。

土師器鉢 2点を図化した。第28図155は文献2に指摘された杯Aに相似て大形の個体であり、第27図99は「洗面器形」の個体である。第28図155は内外面ロクロナデの後に外面の一部にヘラ削りが施されている。第27図99は工具ナデと指おさえによる器面調整が行われており、形態・法量は1次調査で出土した鉄製の鉢(文献3：第82図89)に似る。

土師器甕 6点を図化した。いずれも小型甕Dとみられる。

土師器甔 2点を図化した。1点は全形を復元できた甔Dであり、もう一点は下端のみで器形にも疑問はあるが調整は工具ナデと手持ちヘラ削りであり甔Dの特徴を示している。

土師器羽釜 8点を図化した。わずかに胴張りの深鉢に鈎が付される形態を呈する。器面調整にはハケメやナデが用いられている。

黒色土器A椀 31点を図化した。成形・調整・形態の特徴は土師器椀に準じ、内面にミガキと黒色処理が施される。

黒色土器B椀 9点を図化した。成形・調整・形態の特徴は土師器椀に準じ、内外面にミガキと黒色処理が施される。

黒色土器B皿 3点を図化した。成形・調整・形態の特徴は土師器の皿Aに準じる。内面のみにミガキが施され、内外面に黒色処理が施される。文献には記載がない器種であり、本遺跡のⅠ～Ⅲ次調査および同時期の周辺遺跡の調査でも類例が見られず留意が必要であろう。

灰軸陶器椀 124点を図化した。法量は口径で9～18cmと幅があり、およそ11cm未満と13cm以上の2法量に分化するとみられるが、中間的なものもみられ、差異は不明瞭であった。内外面にロクロナデを施し、一部のものは腰部から底部に回転ヘラ削りを施し、施軸が確認できたものはすべて漬け掛け施軸であった。大部分は虎渓山1号窯式もしくは丸石2号窯式の形態的な特徴を示しているが、第29図180・181・182・183は大原2号窯式に属するとみられる。内面見込みと高台に墨痕や朱墨痕の残る個体がしばしばみられる。

灰軸陶器皿類 34点を図化した。内外にロクロナデ、一部のものは外面に回転ヘラ削りを施し、施軸を確認できたものは全て漬け掛けであり、虎渓山1号窯式か丸石2号窯式の特徴を示している。段皿が最も多く28点であり、皿が4点、輪花皿と輪花段皿が各1点である。椀同様に墨痕がみられる。

灰軸陶器瓶類 9点を図化した。全形を復元できたものはないが、7点が広口瓶であるとみられ、小瓶と手付瓶とみられる個体が1点ずつあった。

緑釉陶器 9点を図化した。内訳は椀が5点、輪花椀が1点、皿が2点、段皿が1点である。素地は概ね黄灰色か灰白色に類する色調で軟質である。釉は暗緑色系統であり、濃緑色の粒斑(いわゆるゴマ)がみられる個体が多い。また概して表面の摩滅が著しい。

白磁 6点を図化した。内訳は碗が5点、段皿が1点である。全形を復元できた個体はなく、いずれも小片である。碗で口縁を確認できた4点は玉縁か端反りのいずれかであった。

土製品 5点を図化した。内訳は4点が鞆の羽口であり、1点が土錘である。鞆の羽口は溶滓が付着する。

D 中世の陶磁器

古瀬戸系の灰釉平碗と小形瓶子を各1点ずつ図化した。いずれもB区で遺構外から出土した。2点とも15C前半のものとして推定される。

③ 土器群

図化した土器・陶磁器群の中では土師器の杯および灰釉陶器の碗が5割以上を占め、これは遺構ごとの一括資料として論じた場合にも同様といえる。一方で出土量の少ない器種では図化できず点数として計上されない例が少なくなく、多くの土器群では一括資料と捉えても器種構成の全様を示すのが困難である。

最も図化点数の多い269号住居址出土土器群では、土師器で杯・碗、盤B、黒色土器で碗・皿、須恵器で甕、灰釉陶器で碗・皿・小瓶、緑釉陶器で碗・皿と比較的多様な器種を確認できたが、未図化資料を含め煮炊具は確認できなかった。器種の構成と個体ごとの整形・調整・形態の特徴は概ね平安時代後期の特徴を示しているものの、文献1での連続する複数の時期から構成されており、また遺構も複数の床面が確認されている。

④ 編年的な位置

以上の土器・陶磁器・土製品で平安時代後期に分類した土器(陶磁器)群は概ね文献2の「平田本郷Ⅲ出土土器第3群前半・後半」(11C後半～12C)に相同するとみられる。古墳時代の土器群は同1群とは合致せず、平安時代前半の土器は土器群として扱うことができなかった。これらの編年的な相違は地理的な差異に関係するとみられ本遺跡調査の今後の課題といえる。

参考文献

文献1：長野県教育委員会1990『中央自動車道長野緑地文化財発掘調査報告書4—松本市内その1—総論編』

文献2：松本市教育委員会1999『長野県松本市平田本郷Ⅲ緊急発掘調査報告書』

文献3：松本市教育委員会1994『平田本郷遺跡緊急発掘調査報告書』

第4表 土器・陶磁器・土製品観察表

No.	区	出土地点	発掘番号	種別	器種	残存度		法量 (cm)			整形・調整・形態の特徴等	
						口縁	底部	口徑	口径	器高		
1	A	147住	147住-01	土	白付甕		一部残			(9.0)		内外ハケメ
2	A	150住	150住-01	土	甕or杯		完					内面ミガキ、外面ミガキ・下縁ケズリ、底面ナデか
3	A	150住	150住-02	土	甕or壺		完			6.4		内外工具ナデ、底面ナデか
4	A	150住	150住-03	土	壺	3/4			10.5			内外ミガキ後塗塗り
5	A	検出面	A検-02	土	甕		1/2			(6.0)		内面ハケメ、外面ハケメ後工具ナデ、底面本葉狂痕
6	A	145住	145住-01	土	杯A		1/2			(4.6)		ロクロナデ、回転糸切り
7	A	145住	145住-02	白	碗か							内面ロクロナデ、削り出し高台
8	A	146住	146住-01	灰	碗		1/4			(6.9)		ロクロナデ、回転糸切り、付高台、底面ヘラ記号か
9	A	148住	148住-01	土	杯A	1/8	完	14.2	6.2	4.0		ロクロナデ、回転糸切り
10	A	検出面	A検-01	灰	碗	1/6				(12.9)		ロクロナデ
11	B	124住	124住-02	土	杯A		完			6.8		ロクロナデ、回転糸切り
12	B	124住	124住-01	灰	碗	5/8	5/8	15.8	7.0	5.3		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
13	B	126住	126住-03	土	碗	1/8	3/4	9.0	5.1	3.3		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
14	B	126住	126住-02	土	碗	1/4	一部欠	9.3	4.8	2.9		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
15	B	126住	126住-04	土	杯A	1/4	一部欠	(9.8)	5.6	1.4		ロクロナデ、回転糸切り
16	B	126住	126住-01	土	羽釜	1/5				(25.2)		内外ナデ、鋸部力付後ナデ
17	B	127住	127住-04	土	皿A	1/2	完	9.8	5.0	1.6		ロクロナデ、回転糸切り、内面スス付着
18	B	127住	127住-05	土	杯A	完	完	10.0	4.4	1.9		ロクロナデ、回転糸切り
19	B	127住	127住-06	土	杯A	完	完	9.5	4.6	2.0		ロクロナデ、回転糸切り
20	B	127住	127住-07	土	碗Bか	1/8				(18.7)		ロクロナデ

No.	区	出土地点	実測番号	種別	器種	残存度	法量 (cm)			造形・調整・形造の特徴等	
							口縁	底面	口径		底径
21	B	127住	127住-02	黒A	碗	1/5		(17.2)		ロクロナデ、内面ミガキ後黒色処理(黒ヌケ)	
22	B	127住	127住-08	土	杯A	1/5	1/3	(11.9)	(5.0)	2.3	ロクロナデ、回転糸切り
23	B	127住	127住-03	土	碗	1/4	1/2	(17.6)	(7.4)	6.4	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
24	B	127住	127住-01	上	小型碗D	1/8	1/3	13.0	8.6	12.0	内面工具ナデ、外面ナデ、下掘工具ナデ、回転糸切り
25	B	129住	129住-02	黒A	碗						ロクロナデ、内面ミガキ後黒色処理、回転糸切り、付高台
26	B	129住	129住-01	灰	碗						ロクロナデ、底面回転ヘラケズリ、付高台、内面使用痕あり
27	B	132住	132住-02	黒B	碗						ロクロナデ、内外ミガキ後黒色処理、底面回転ヘラケズリ、付高台
28	B	132住	132住-01	土	楕B						内面ロクロナデ、付高台、内外スス付着
29	B	132住	132住-03	黒A	碗						ロクロナデ、内面ミガキ後黒色処理(黒ヌケ)、回転糸切り、付高台
30	B	132住	132住-04	灰	碗						ロクロナデ、外面磨部一底面回転ヘラケズリ、付高台
31	B	131住	131住-02	黒A	碗						内面ロクロナデ、内外ミガキ後黒色処理、底面回転ヘラケズリ、付高台
32	B	131住	131住-06	灰	段皿	完	光	11.5	5.6	2.2	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み重ね焼き痕
33	B	131住	131住-05	灰	皿	1/3	完	(12.6)	7.4	2.0	ロクロナデ、底面回転ヘラケズリ、付高台、内面見込み重ね焼き痕
34	B	131住	131住-04	灰	皿	1/2	完	10.8	5.9	2.3	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み重ね焼き痕
35	B	131住	131住-03	灰	碗	7/8	完	14.2	7.6	5.7	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み重ね焼き痕
36	B	131住	131住-01	土	碗A	一部残		(22.0)			内面ハケメ後一番工具ナデ、外面工具ナデ
37	B	133住	133住-02	土	杯A	1/6		(10.4)			ロクロナデ
38	B	133住	133住-01	土	杯A	1/2	完	(9.8)	3.8	3.5	ロクロナデ、回転糸切り
39	B	133住	133住-03	灰	段皿	1/12		(12.6)			ロクロナデ
40	B	抜出番	B抜-06	須	杯A	一部残		(12.8)	(5.8)	3.8	ロクロナデ、回転糸切り
41	B	136住	136住-01	上	皿A	1/12		(14.0)			ロクロナデ
42	B	137住	137住-01	上	杯A	1/6	1/6	(10.8)	(6.4)	3.0	ロクロナデ、回転糸切り
43	B	138住	138住-01	土	杯A	1/3	完	(13.5)	50	3.7	ロクロナデ、底部回転糸切り
44	B	138住	138住-02	土	杯A	5/8	完	14.8	5.5	4.1	ロクロナデ、底部回転糸切り
45	B	138住	138住-05	土	碗	1/16	3/4	(15.4)	7.4	4.9	ロクロナデ、底部回転糸切り、付高台
46	B	138住	138住-04	土	碗		完		5.8		ロクロナデ、底部回転糸切り、付高台
47	B	138住	138住-03	土	杯C	部残	1/6	(11.3)	(7.0)	(4.3)	内面ロクロナデ後ミガキ(暗文)、外面ロクロナデ後下半ヘラ削り、底部回転糸切り後一部削り、内面見込み部暗文、甲斐型杯
48	B	138住	138住-06	灰	碗		3/8	7.4			内面ロクロナデ、底部回転ヘラ削り、付高台、内面見込み使用痕
49	B	138住	138住-07	灰	碗	部残	3/4	(15.7)	7.6	6.4	ロクロナデ、回転糸切り後ナデ、付高台、内面見込み使用痕
50	B	138住	138住-08	灰	碗	1/4	1/4	(16.5)	(7.2)	5.8	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み使用痕、内面スス付着
51	B	138住	138住-09	緑	碗	7/16		16.8			ロクロナデ、底部ヘラ削り、回転糸切り、無黒、書地：淡黄白色
52	B	138住	138住-10	白	碗	1/12		(15.0)			ロクロナデ
53	B	139住	139住-04	黒B	碗	2/3	ほぼ完	9.7	5.2	4.0	ロクロナデ、付高台、内外ミガキ(内面暗文)後黒色処理、底面ヘラ記号
54	B	139住	139住-02	黒A	碗		1/4	(6.2)			ロクロナデ、内面ミガキ後ナデ、回転糸切り、付高台
55	B	139住	139住-03	黒A	碗						ロクロナデ、回転糸切り
56	B	139住	139住-01	土	杯A	1/8		(14.8)			ロクロナデ
57	B	139住	139住-09	灰	段皿	1/4	1/4	(12.1)	(6.3)	2.6	ロクロナデ、回転糸切り
58	B	139住	139住-07	灰	段皿	1/6	2/3	(12.1)	(6.9)	2.4	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込みスス付着
59	B	139住	139住-08	灰	段皿	完	ほぼ完	10.8	5.4	2.2	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
60	B	139住	139住-10	灰	碗		1/2	(8.0)			ロクロナデ、底面回転ヘラケズリ、付高台、内面見込み重ね焼き痕
61	B	139住	139住-05	灰	碗	1/8		(15.2)			ロクロナデ、磨部より下半回転ヘラケズリ
62	B	139住	139住-06	灰	碗	1/8		(14.6)			ロクロナデ、付高台
63	B	140住	140住-15	黒A	碗		1/2	(5.4)			ロクロナデ、内面ロクロナデ後磨部(暗文)後黒色処理、回転糸切り、付高台
64	B	140住	140住-08	黒A	碗	2/3	ほぼ完	9.7	5.1	3.4	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面ミガキ後黒色処理
65	B	140住	140住-09	黒A	碗	1/3	3/4	(10.9)	5.9	5.5	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面ミガキ後黒色処理、口縁ターレット付着
66	B	140住	140住-12	黒A	碗	1/4	ほぼ完	(13.1)	6.3	5.1	ロクロナデ、回転糸切り後ナデ、付高台、内面ミガキ後黒色処理(黒ヌケ)
67	B	140住	140住-33	上	杯A	一部残	完	(9.0)	3.9	3.2	ロクロナデ、回転糸切り
68	B	140住	140住-02	上	杯A	2/3	1/4	9.9	3.6	2.5	ロクロナデ、回転糸切り、口縁スス付着
69	B	140住	140住-01	上	杯A	1/3	完	(10.4)	4.1	2.4	ロクロナデ、回転糸切り
70	B	140住	140住-03	土	杯A	1/2	完	(10.7)	4.4	2.2	ロクロナデ、回転糸切り
71	B	140住	140住-04	土	杯A	7/8	5/6	10.8	4.7	2.4	ロクロナデ、回転糸切り、外面スス付着
72	B	140住	140住-10	黒B	碗		2/3		5.1		ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内外ミガキ後黒色処理、底面ヘラ記号
73	B	140住	140住-11	黒B	碗	1/2	ほぼ完	9.5	5.2	3.7	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内外ミガキ後黒色処理、口縁・内面見込みターレット付着
74	B	140住	140住-14	黒A	碗	1/2	2/3	15.3	7.1	6.3	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面ミガキ(暗文)後黒色処理
75	B	140住	140住-13	黒A	碗	2/3	3/4	15.5	6.3	5.9	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面ミガキ後黒色処理(一部黒ヌケ)
76	B	140住	140住-05	土	杯A	1/2	完	10.9	4.7	2.4	ロクロナデ、回転糸切り
77	B	140住	140住-06	上	杯A	1/12	ほぼ完	(12.1)	(4.8)	4.0	ロクロナデ、回転糸切り
78	B	140住	140住-07	上	碗	1/2	2/3	(12.1)	5.2	3.3	ロクロナデ、回転糸切り
79	B	140住	140住-35	土	杯A	1/6		(13.1)			ロクロナデ

No.	区	出土地点	実測番号	種類	香種	残存度		法量 (cm)			整形・調整・形態の特徴等
						口縁	底部	口径	底径	器高	
80	B	140住	140住-25	灰	段皿	ほぼ完	完	11.3	6.5	2.3	ロクロナデ、四転糸切り、付高台、内面見込み重ね焼き痕・使用痕・磨痕、底面黒染痕
81	B	140住	140住-29	灰	碗		1/3			(9.3)	ロクロナデ、底面静止糸切り、付高台、内面見込み使用痕
82	B	140住	140住-30	灰	碗		3/4			(9.3)	ロクロナデ、腰部～底面回転ヘラズリ付高台、内面見込み重ね焼き痕、使用痕
83	B	140住	140住-26	灰	碗	3/4	完	15.4	7.9	6.8	ロクロナデ、外面腹部～下部、回転糸切り、付高台、内面見込み重ね焼き痕
84	B	140住	140住-28	灰	碗	1/4	完	(15.5)	7.2	7.2	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
85	B	140住	140住-21	灰	段皿	ほぼ完	完	11.3	6.8	2.3	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み使用痕、底面黒染、その上に朱塗痕
86	B	140住	140住-18	灰	段皿	ほぼ完	ほぼ完	11.2	6.0	2.5	ロクロナデ、四転糸切り、付高台、底面黒染
87	B	140住	140住-31	灰	碗		3/5			(7.2)	ロクロナデ、底面回転ヘラズリ、付高台、内面見込み使用痕・磨付着
88	B	140住	140住-23	灰	段皿	1/5	完	(10.8)	5.7	2.1	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み重ね焼き痕
89	B	140住	140住-20	灰	段皿	1/4	1/3	(10.8)	(6.0)	1.9	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
90	B	140住	140住-17	灰	段皿	ほぼ完	完	10.7	5.6	2.0	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、口縁スス付着、内面見込み重ね焼き痕
91	B	140住	140住-16	灰	輪花鏡	3/4	完	10.9	6.2	2.0	ロクロナデ、底面回転ヘラズリ、付高台、輪花4単位内面見込み重ね焼き痕
92	B	140住	140住-19	灰	段皿	3/8	3/8	(12.2)	(6.9)	2.7	ロクロナデ、底面に回転糸切り、付高台
93	B	140住	140住-22	灰	段皿	1/2	3/5	(12.3)	(6.3)	2.7	ロクロナデ、四転糸切り、付高台
94	B	140住	140住-24	灰	碗	1/4	ほぼ完	(15.7)	7.4	6.3	ロクロナデ、底面静止糸切り、付高台、内面見込み重ね焼き痕・使用痕
95	B	140住	140住-27	灰	碗	2/3	ほぼ完	(15.3)	7.8	6.3	ロクロナデ、腰部回転ヘラズリ、回転糸切り、付高台、内面見込み重ね焼き痕
96	B	140住	140住-32	須	黒色磁器		5/6			8.7	ロクロナデ、底面静止糸切り
97	B	140住	140住-34	土	羽釜	3/8		(18.0)			内面ハケ状工具ナデ、外面手持ちヘラズリ、磨部貼り付け後ナデ
98	B	141住	141住-01	灰	碗	1/2	完	14.6	6.2	6.2	ロクロナデ、底面回転糸切り、付高台
99	B	141住	141住-03	上	鉢か	1/2	1/4	20.0	(18.4)	(9.1)	ロクロナデの工具ナデ、内面一番指痕圧、口縁に注口
100	B	141住	141住-02	土	小笠型D	1/8		(19.2)			内面ロクロナデ後縁ミガキ、外面ロクロナデ後ヘラ削り
101	B	141住	141住-04	土	碗		1/4			5.8	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
102	B	141住	141住-01	白	碗		1/10			(14.0)	ロクロナデ
103	B	土74	土74-01	土	杯A	3/8	完	9.7	5.2	2.7	ロクロナデ、回転糸切り、内面スス付着
104	B	土73	土73-01	灰	碗		1/2			(5.8)	ロクロナデ、底面回転ヘラ削り、付高台、内面見込み使用痕
105	B	土157	土157-01	灰	碗		一部残			(7.2)	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み重ね焼き痕
106	B	溝21	溝21-01	灰	段皿		1/10			10.6	ロクロナデ
107	B	溝21	溝21-02	灰	碗		1/4			6.0	ロクロナデ、外面回転ヘラ削り、付高台
108	B	溝25	溝25-01	黒A	碗		7/8			6.4	ロクロナデ、内面ミガキ後黒色焼埋(黒ヌケ)、回転糸切り後ナデ、付高台
109	B	横出面	B横-04	土	杯A	1/6	1/6	(9.2)	(5.2)	1.6	ロクロナデ、四転糸切り、内外スス付着
110	B	横出面	B横-03	土	杯A	1/8	1/4	(10.4)	(4.6)	2.5	ロクロナデ、回転糸切り
111	C	152住	152住-10	土	杯A	5/6	11/12	(9.3)	(5.2)	1.8	ロクロナデ、回転糸切り
112	C	152住	152住-12	土	杯A	3/8	1/3	(5.2)	(5.0)	2.0	ロクロナデ、回転糸切り
113	C	152住	152住-07	土	杯A	1/3	1/3	(9.8)	(5.1)	1.8	ロクロナデ、回転糸切り
114	C	152住	152住-14	土	碗	ほぼ完	5/6	10.5	6.1	3.2	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
115	C	152住	152住-06	土	杯A	1/3	1/3	(9.3)	(5.1)	1.5	ロクロナデ、回転糸切り
116	C	152住	152住-11	土	杯A	5/6	11/12	10.2	5.6	1.9	ロクロナデ、回転糸切り
117	C	152住	152住-19	土	杯か		完			6.2	ロクロナデ、四転糸切り、内面タール付着
118	C	152住	152住-13	土	盤B	1/3	ほぼ完	(10.6)	(6.0)	3.2	ロクロナデ、四転糸切り、付高台
119	C	152住	152住-09	土	杯A	1/8	ほぼ完	(9.8)	(5.2)	1.6	ロクロナデ、回転糸切り
120	C	152住	152住-08	土	杯A	7/16	1/4	(8.8)	(5.4)	1.6	ロクロナデ、回転糸切り
121	C	152住	152住-18	土	碗		2/3			(6.7)	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
122	C	152住	152住-17	土	碗	1/2	ほぼ完	9.8	6.6	3.1	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
123	C	152住	152住-15	土	碗	1/3	5/6	(14.7)	7.6	5.7	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み・底面スス付着
124	C	152住	152住-16	土	碗か		1/6			(9.8)	ロクロナデ、付高台
125	C	152住	152住-20	黒A	碗		1/3			(7.9)	ロクロナデ、内面ミガキ後黒色焼埋、回転糸切り、付高台、内面タール付着
126	C	152住	152住-01	灰	段皿		1/6			(12.1)	ロクロナデ
127	C	152住	152住-05	灰	碗		ほぼ完			7.5	ロクロナデ、四転糸切り後ナデ、付高台、内面見込み重ね焼き痕・使用痕
128	C	152住	152住-02	灰	碗		1/8			(16.0)	ロクロナデ
129	C	152住	152住-03	灰	手付瓶か		一部残			(14.0)	ロクロナデ、外面ヘラズリ
130	C	152住	152住-04	灰	碗	1/16	ほぼ完	(15.4)	6.8	4.9	ロクロナデ、回転糸切り後ナデ、付高台、内面見込み重ね焼き痕・薄く黒染、底面黒染
131	C	152住	152住-21	土	鉢か		3/4			15.1	内面ナデ、外面板状工具ナデ、底面に木炭痕、古墳時代
132	C	152住	152住-22	土	羽釜		1/4			(27.3)	内外ナデ、外面腹部工具ナデ、腰部より下半ヘラズリ、磨部貼り付け後ナデ
133	C	152住	152住-23	土	羽釜		3/4			(28.6)	内外土具ナデ、腰部より下半ヘラズリ、磨部貼り付け後ナデ
134	C	154住	154住-01	上	盤Bか		1/12			(6.1)	ロクロナデ、回転糸切り、付高台

No.	区	出七地点	実測番号	種別	器種	残存度		法量 (cm)			整形・調整・形態の特徴等
						口縁	底唇	口径	底径	器高	
135	C	155住	155住-10	上	甌Bか	1/8		(9.8)			ロクロナデ
136	C	155住	155住-09	上	杯A	1/8		(9.6)			ロクロナデ
137	C	155住	155住-11	上	甌B	1/8		(9.6)			ロクロナデ
138	C	155住	155住-07	上	甌		完		6.4		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
139	C	155住	155住-08	上	甌B	1/3	1/16	10.6	(8.2)	3.9	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
140	C	155住	155住-12	黒B	甌	1/8	完	(10.0)	5.1	3.4	ロクロナデ後ミガキ後黒色処理、回転糸切り、付高台、内外タール付着
141	C	155住	155住-05	灰	段皿	1/3		(11.1)			ロクロナデ
142	C	155住	155住-04	灰	段皿	3/8	3/8	(12.6)	(7.0)	2.2	ロクロナデ、底面回転ヘラケズリ、付高台、内面見込み重ね置き
143	C	155住	155住-02	灰	甌		2/3		7.0		ロクロナデ、腰部から底面回転ヘラケズリ、付高台、内面見込み使用痕
144	C	155住	155住-03	灰	甌		1/3		(7.3)		ロクロナデ、底面回転ヘラケズリ、付高台
145	C	155住	155住-06	灰	甌	薄底	3/8	(15.1)	(7.2)	6.3	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み使用痕
146	C	155住	155住-01	灰	甌	3/4	完	14.6	7.2	6.3	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
147	C	検出面	C検-01	土	杯A	一部欠	完	9.1	5.5	1.7	ロクロナデ、回転糸切り
148	C	151住	151住-01	土	小型甌D		1/3		(7.4)		ロクロナデ、外周工具ナデ
149	D	158住	158住-04	緑	甌						内外ミガキ、単位不明、素地：暗褐色
150	D	158住	158住-03	土	甌A	1/8		(9.6)			ロクロナデ
151	D	158住	158住-02	上	甌		完		5.6		ロクロナデ、回転糸切り後ナデ、付高台
152	D	158住	158住-01	土	甌	1/12	薄欠	(14.0)	7.4	(5.1)	ロクロナデ、回転糸切り後ナデ、付高台
153	D	161住	161住-02	土	杯A	1/4	1/6	(8.1)	(5.0)	1.8	ロクロナデ、回転糸切り
154	D	161住	161住-03	土	杯A	5/16	1/6	(8.7)	(4.8)	1.7	ロクロナデ、回転糸切り
155	D	161住	161住-01	土	鉢か	9/16	1/4	27.1	16.3	5.7	内面ロクロナデ、外面上平ロクロナデ、下平へう割り、底面ナデ
156	D	162住	162住-01	土	杯A	1/8	1/10	(8.5)	(5.2)	2.0	ロクロナデ、底面厚底により不明
157	D	162住	162住-02	土	杯A	2/5	ほぼ完	(9.1)	5.4	2.4	ロクロナデ、回転糸切り
158	D	162住	162住-03	土	甌D	1/4	1/4	(51.9)	(22.4)	23.9	内外工具ナデ、一部へう割り、鋳部貼り付け後ナデ
159	D	159住	159住-05	上	杯A		3/4		5.0		ロクロナデ、回転糸切り
160	D	159住	159住-03	灰	甌		完		8.4		内面ロクロナデ、外面ロクロナデ、腰部から底面回転ヘラ割り、付高台、底面にヘラ記号
161	D	159住	159住-01	灰	甌	2/5	1/2	(14.2)	(7.4)	5.0	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、外周口縁部スス付着
162	D	159住	159住-02	灰	甌	1/3	完	(14.7)	7.2	5.7	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
163	D	159住	159住-04	灰	甌	2/5	3/4	(16.1)	(8.0)	6.8	内面ロクロナデ、外面ロクロナデ、腰部から底面回転ヘラ割り、付高台
164	D	159住	159住-07	土	羽釜	7/12		18.6			内面工具ナデ、薄指張仕様、外周ハケメ、内外一部スス付着
165	D	159住	159住-06	上	羽釜	1/2		24.3			内面工具ナデ、上半部に指張仕様あり、外面ロクロナデ後ハケメ、下端に割り、鋳部貼り付け後ハケメ、貼り付け部に工具ナデ痕
166	D	167住	167住-02	上	甌A	ほぼ完	完	10.2	4.5	1.5	ロクロナデ、回転糸切り
167	D	167住	167住-01	土	甌A	3/4	完	9.9	4.2	1.8	ロクロナデ、回転糸切り
168	D	167住	167住-03	土	甌A	完	完	10.3	4.0	1.8	ロクロナデ、回転糸切り
169	D	167住	167住-05	黒B	甌	2/3	ほぼ完	10.4	5.5	3.9	ロクロナデ、内外ミガキ後黒色処理、回転糸切りか、付高台
170	D	167住	167住-04	灰	甌		2/5		(5.4)		内面ロクロナデ、底面回転ヘラ割り、付高台
171	D	168住	168住-01	土	甌	1/8		(20.0)			内面ナデ、外面ハケメ、外面下層タタキ、在り地ではないか
172	D	検出面	D検-11	土	杯A	1/8	1/8	(14.4)	(7.9)	3.9	ロクロナデ
173	D	173住	173住-02	土	杯A	1/4	3/5	(8.5)	(4.1)	2.1	ロクロナデ、回転糸切り
174	D	173住	173住-01	土	杯A	1/2	2/3	10.0	5.4	2.0	ロクロナデ、回転糸切り
175	D	173住	173住-03	土	甌B		1/2		(5.4)		ロクロナデ、底面付高台により不明、付高台
176	D	173住	173住-05	灰	甌		1/6		(7.0)		ロクロナデ、底面回転ヘラ割り、付高台、内面見込みに使用痕
177	D	173住	173住-04	灰	甌		1/8		(6.9)		ロクロナデ、回転糸切りか、付高台
178	D	171住	171住-05	土	杯A	1/5		(10.0)			ロクロナデ
179	D	171住	171住-06	土	甌	1/6		(11.8)			ロクロナデ
180	D	171住	171住-01	灰	段皿	1/3	1/4	(12.9)	(6.5)	2.4	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込みに重ね置き、器面にスス付着
181	D	171住	171住-02	灰	段皿	ほぼ完	完	13.6	7.5	2.8	ロクロナデ、回転糸切り後 薄指張へう割り、付高台、内面見込みに重ね置き、器面にスス付着
182	D	171住	171住-03	灰	甌	1/6	3/4	(14.8)	7.6	6.1	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込みに重ね置き、使用痕あり
183	D	171住	171住-04	緑	輪花甌	1/6	7/8	(10.4)	5.4	(3.6)	ロクロナデ、回転糸切り後ナデ、付高台、内面見込みに三叉トラン痕あり、素地：灰白色
184	D	171住	171住-07	上	小型甌D	1/6	7/8	(13.7)	9.4	15.4	内外工具ナデ、口縁部おさえ、底面ナデ
185	D	174住	174住-07	土	杯A	3/4	完	9.6	4.0	2.0	ロクロナデ、回転糸切り
186	D	174住	174住-16	土	杯A	2/5	完	(14.4)	(5.6)	3.4	ロクロナデ、回転糸切り
187	D	174住	174住-08	土	杯Aか	一部残	完	(15.6)	(7.0)	4.5	ロクロナデ、底面回転糸切り
188	D	174住	174住-12	土	甌B	1/3		12.2			ロクロナデ、底面回転糸切り後ナデ
189	D	174住	174住-15	土	甌B	一部残	2/3	(12.2)	(6.6)	3.8	ロクロナデ、底面回転糸切り、付高台
190	D	174住	174住-11	土	甌A	1/10		(19.0)			ロクロナデ

No.	区	出土地点	実測番号	種別	器種	残存度		法量 (cm)				整形・調整・形態の特徴等
						口縁	底部	口徑	口径	口径	口径	
191	D	174住	174住-14	土	小蓋罐D	1/4	1/3	(11.4)	(5.4)	(11.0)		内面ロクロナデ、外面ロクロナデ後中位から下半の一部にミガキ、下端板状工具による手持ちケズリ、回転糸切り
192	D	174住	174住-10	黒B	碗	1/3		(9.8)				ロクロナデ、内面ミガキ後黒色処理、外面ミガキ後黒色処理
193	D	174住	174住-09	黒A	碗	3/4	完	10.0	5.2	3.6		ロクロナデ、内面ミガキ後黒色処理、付高台、底部回転糸切り
194	D	174住	174住-13	黒A	碗		2/3			(7.0)		ロクロナデ、内面ミガキ後黒色処理、底部回転糸切り、付高台
195	D	174住	174住-05	灰	碗	1/4	1/3	(15.5)	(6.4)	5.5		ロクロナデ、付高台、底部回転ヘラケズリ、高台一部に塗付着
196	D	174住	174住-03	灰	碗	1/4		(15.2)				ロクロナデ
197	D	174住	174住-06	灰	碗	1/4		(17.2)				ロクロナデ
198	D	174住	174住-04	灰	碗	1/2	1/2	(16.6)	(5.6)	5.1		ロクロナデ、付高台、底部回転ヘラケズリ
199	D	174住	174住-02	灰	碗	1/4	1/3	(15.2)	(7.2)	5.8		ロクロナデ、付高台、底部一般部回転ヘラケズリ、見込み使用痕
200	D	174住	174住-01	灰	碗	1/3	2/3	(16.8)	(7.0)	6.1		ロクロナデ、付高台、底部回転ヘラケズリ、内面見込み使用痕、薄い磨跡か内面板状工具ナデ、和組匠痕、輪擦痕、外面板状工具ナデ、磨跡取り付け
201	D	174住	174住-17	土	羽釜	1/6		(25.1)				
202	D	183住	183住-04	土	杯A	3/4	完	(8.9)	5.8	2.1		ロクロナデ、回転糸切り
203	D	183住	183住-05	土	杯A	1/4	完	(9.6)	5.4	2.0		ロクロナデ、底部回転糸切り
204	D	183住	183住-03	土	碗	5/6		8.8				ロクロナデ、底部回転糸切り、付高台
205	D	183住	183住-01	土	碗	3/4	完	10.4	5.5	3.6		ロクロナデ、底部回転糸切り、付高台、口縁部内外面にケール付着
206	D	183住	183住-02	土	碗	1/4	5/6	(10.0)	6.0	3.4		ロクロナデ、底部回転糸切り、付高台、柄を耳皿風に整形か
207	D	183住	183住-06	灰	段皿	1/6	1/4	(12.8)	(7.0)	2.3		ロクロナデ、底部回転糸切り後ナデ、付高台
208	D	183住	183住-09	灰	碗	1/10		(12.8)				ロクロナデ
209	D	183住	183住-07	灰	碗		7/8			(7.2)		ロクロナデ、底面回転糸きり、付高台、内面使用痕
210	D	183住	183住-08	灰	広口瓶	1/5		(16.2)				ロクロナデ
211	D	184住	184住-03	土	杯A	1/7	1/6	(8.0)	(4.8)	1.4		ロクロナデ、底面ロクロナデ
212	D	184住	184住-04	土	碗	1/12		(10.0)				ロクロナデ、付高台
213	D	184住	184住-05	土	碗		3/4			6.3		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
214	D	184住	184住-06	黒A	碗		2/3			6.7		ロクロナデ、内面ミガキ後黒色処理、回転糸切り、付高台
215	D	184住	184住-01	灰	段皿	1/6		(10.2)				ロクロナデ
216	D	184住	184住-02	灰	輪花碗	1/12		(17.6)				ロクロナデ、輪花単位不明
217	D	189住	189住-02	土	杯A	完	完	9.2	5.2	1.8		ロクロナデ、回転糸切り
218	D	189住	189住-03	土	杯A	1/5	完	(8.8)	4.8	2.1		ロクロナデ、回転糸切り
219	D	189住	189住-01	灰	輪花碗	1/7		(12.6)				ロクロナデ、輪花単位不明
220	D	200住	200住-02	土	杯A		完			6.2		ロクロナデ、回転糸切り
221	D	200住	200住-01	灰	広口瓶	一部残		(13.4)				ロクロナデ
222	D	203住	203住-01	灰	碗	1/8		(12.2)				ロクロナデ
223	D	204住	204住-01	土	杯or碗	1/8		(12.8)				ロクロナデ
224	D	204住	204住-02	土	碗		一部残			(7.6)		ロクロナデ、回転糸切り
225	D	204住	204住-03	土	杯A		完			4.0		ロクロナデ、回転糸切り
226	D	206住	206住-01	黒A	碗	1/16		(13.6)				ロクロナデ、内面ミガキ後黒色処理
227	D	207住	207住-01	灰	皿	1/4		(11.2)				ロクロナデ
228	D	213住	213住-01	土	杯A		ほぼ完			6.7		ロクロナデ、底部回転糸切り
229	D	185住	185住-02	土	杯A	3/4	完	9.0	4.6	1.7		ロクロナデ、回転糸切り、外面口縁付近に一部ス付着
230	D	185住	185住-03	土	杯A	1/2	完	8.8	4.4	2.4		ロクロナデ、回転糸切り
231	D	185住	185住-04	土	杯A	1/6	1/2	(9.8)	4.6	1.5		ロクロナデ、回転糸切り
232	D	185住	185住-01	土	杯A	1/4	完	(9.5)	5.0	2.2		ロクロナデ、回転糸切り
233	D	185住	185住-07	土	盤B	1/6		(15.0)				ロクロナデ、外面ス付着
234	D	185住	185住-05	土	杯A	3/8	3/8	(13.0)	(6.0)	4.4		ロクロナデ、回転糸切り
235	D	185住	185住-06	土	杯A	1/4	1/2	(14.0)	(6.4)	3.8		ロクロナデ、回転糸切り
236	D	185住	185住-09	灰	輪花碗	1/6		(13.8)				ロクロナデ、輪花単位不明、内外口縁付近ス付着
237	D	185住	185住-08	灰	碗	一部残	1/4	(15.6)	(7.0)	(5.5)		ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み使用痕、重ね焼き痕
238	D	214住	214住-01	土	碗	1/8	3/4	(14.4)	7.4	6.2		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
239	D	214住	214住-04	灰	碗	1/6		(14.0)				ロクロナデ
240	D	214住	214住-06	灰	輪花碗	1/8		(10.6)				ロクロナデ、輪花単位不明
241	D	214住	214住-02	灰	段皿	1/10	3/4	(10.5)	6.1	2.2		ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み使用痕あり
242	D	214住	214住-03	灰	碗	完		7.0				ロクロナデ、回転糸切り、付高台
243	D	214住	214住-05	灰	碗	完		7.6				ロクロナデ、回転糸切り、付高台
244	D	208住	208住-02	土	杯A	完	完	11.0	4.9	2.3		ロクロナデ、回転糸切り
245	D	208住	208住-03	土	杯A	3/4	完	14.2	6.0	4.5		ロクロナデ、回転糸切り
246	D	208住	208住-04	土	杯A	1/6	完	(14.6)	6.6	4.6		ロクロナデ、回転糸切り
247	D	208住	208住-06	黒A	碗	1/2		7.4				ロクロナデ、内面ミガキ後黒色処理、回転糸切り、付高台
248	D	208住	208住-08	土	盤B	1/6		(10.1)				ロクロナデ、回転糸切り
249	D	208住	208住-01	土	盤B	一部欠	5/6	12.7	7.0	3.6		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
250	D	208住	208住-05	土	碗	1/2		14.6				ロクロナデ、回転糸切り、付高台

No.	区	出上地点	実測番号	種別	器種	残存度		法量 (cm)			整形・調整・形態の特長等
						口縁	底部	口径	底径	器高	
251	D	208住	208住-07	灰	椀	3/4	完	14.6	6.9	5.9	ロクロナデ、回転糸切り、付高内
252	D	218住	218住-01	土	杯A	完	完	8.3	4.6	1.7	ロクロナデ、回転糸切り
253	D	218住	218住-03	土	杯A	1/2	完	8.9	5.0	1.7	ロクロナデ、回転糸切り
254	D	218住	218住-04	土	杯A	1/3	1/2	(8.6)	(5.0)	1.8	ロクロナデ、回転糸切り
255	D	218住	218住-10	土	杯A	1/8	1/3	(8.4)	(4.8)	1.7	ロクロナデ、回転糸切り
256	D	218住	218住-02	上	杯A	1/2	3/4	(9.1)	5.3	1.5	ロクロナデ、回転糸切り
257	D	218住	218住-07	上	杯A	2/3	1/2	9.1	4.9	2.1	ロクロナデ、回転糸切り
258	D	218住	218住-18	土	杯A	1/8		(7.8)			ロクロナデ
259	D	218住	218住-19	土	杯A		1/2		(3.6)		ロクロナデ、回転糸切り
260	D	218住	218住-09	土	杯A		完		5.2		ロクロナデ、回転糸切り
261	D	218住	218住-08	土	椀		1/3		5.2		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
262	D	218住	218住-05	土	杯A	1/4	6/7	(14.0)	6.8	3.7	ロクロナデ、回転糸切り
263	D	218住	218住-06	土	杯A	1/8	1/3	(15.8)	(7.6)	3.7	ロクロナデ、回転糸切り
264	D	218住	218住-13	土	杯A		一部残		(8.2)		ロクロナデ、回転糸切り
265	D	218住	218住-15	灰	輪花鉢						ロクロナデ
266	D	218住	218住-17	灰	段皿	1/8		(10.8)			ロクロナデ
267	D	218住	218住-12	灰	椀		1/4		7.4		ロクロナデ、外面腰部回転へラ削り、回転糸切り、付高台、内面見込み重ね焼き痕・使用痕
268	D	218住	218住-14	灰	椀		1/3		7.0		ロクロナデ、回転糸切り、付高台、重ね焼き痕、内面見込み部使用痕
269	D	218住	218住-11	灰	輪花椀	一部残	完	(15.0)	7.1	5.7	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み使用痕
270	D	218住	218住-16	灰	輪花椀						ロクロナデ
271	D	226住	226住-10	土	シチヤリ鉢		完		3.2		内外子づくね整形後ナデ
272	D	226住	226住-04	上	杯A	1/12	1/4	(10.0)	(4.4)	2.1	ロクロナデ、回転糸切り
273	D	226住	226住-05	上	皿A	1/2	完	(10.1)	5.4	1.6	ロクロナデ、回転糸切り
274	D	226住	226住-06	土	皿A	一部欠	完	10.0	5.0	1.7	ロクロナデ、回転糸切り
275	D	226住	226住-03	土	杯A	1/12	一部欠	(16.6)	(6.6)	3.4	ロクロナデ、回転糸切り
276	D	226住	226住-09	土	皿A	1/8		(2.8)			ロクロナデ、外道ス付着
277	D	226住	226住-07	土	盤B	1/3	完	(9.8)	5.8	3.0	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
278	D	226住	226住-08	土	盤B	1/2	1/4	(9.5)	5.2	3.4	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
279	D	226住	226住-02	灰	椀		1/4		6.9		ロクロナデ、底面回転へラ削り、付高台、内面見込み重ね焼き痕
280	D	226住	226住-01	灰	椀		1/4		6.9		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
281	D	220住	220住-07	土	杯A	7/8	完	9.9	4.0	2.0	ロクロナデ、回転糸切り
282	D	220住	220住-06	上	皿A	1/6		(9.8)			ロクロナデ、回転糸切り
283	D	220住	220住-09	土	杯A	1/6	1/6	(10.0)	(8.2)	1.8	ロクロナデ、回転糸切り、内外タール付着
284	D	220住	220住-08	土	杯A	1/4	完	9.0	4.6	1.9	ロクロナデ、回転糸切り、内面ス付着
285	D	220住	220住-05	土	皿A	1/8		(9.4)			ロクロナデ
286	D	220住	220住-11	土	シチヤリ鉢		完		(3.7)		ロクロナデ、回転糸切り
287	D	220住	220住-01	灰	広口瓶		1/8	(13.0)			内面ロクロナデ、外面回転へラ削り、底面回転へラ削り、付高内
288	D	220住	220住-04	黒B	黒or盤B	1/6		(10.0)			ロクロナデ、内外ミガキ後黒色処理
289	D	220住	220住-10	黒A	椀	1/8		(15.4)			ロクロナデ、内面ミガキ後黒色処理
290	D	220住	220住-03	灰	段皿	1/3	完	(11.8)	6.5	2.4	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み使用痕・重ね焼き痕あり
291	D	220住	220住-02	灰	椀	1/4	完	(14.0)	7.0	5.8	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
292	D	236住	236住-02	土	盤B	1/6		(9.6)			ロクロナデ、回転糸切り、付高台
293	D	236住	236住-01	土	小椀	1/6	1/3	(9.4)	(4.7)		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
294	D	236住	236住-03	黒A	杯A	1/3	一部欠	9.8	5.0	2.7	ロクロナデ、内面ミガキ後黒色処理、回転糸切り、口縁付近タール付着
295	D	236住	236住-04	灰	椀		1/2		6.6		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
296	D	251住	251住-03	灰	椀		1/5	(7.0)			ロクロナデ、回転糸切り後ナデ、付高台
297	D	251住	251住-01	灰	椀		1/3	(6.9)			ロクロナデ、回転糸切り、付高台
298	D	251住	251住-02	灰	広口瓶	1/16		(8.2)			ロクロナデ
299	D	250住	250住-18	土	皿A	3/8	1/3	(10.2)	(4.4)	1.4	ロクロナデ、回転糸切り
300	D	250住	250住-17	上	杯A	1/12	1/4	(8.6)	(4.8)	2.0	ロクロナデ、回転糸切り
301	D	250住	250住-16	上	杯A	1/4	1/2	(8.5)	(3.8)	2.1	ロクロナデ、回転糸切り
302	D	250住	250住-08	土	杯A	完	完	9.6	4.6	2.3	ロクロナデ、回転糸切り
303	D	250住	250住-07	土	杯A	完	完	9.6	4.6	2.5	ロクロナデ、回転糸切り
304	D	250住	250住-06	土	椀	1/3	一部欠	(10.4)	5.4	4.0	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
305	D	250住	250住-14	土	杯A	1/4	一部残	(4.0)	(6.0)	3.8	ロクロナデ、回転糸切り
306	D	250住	250住-15	土	杯A	3/8	1/4	(10.4)	(5.2)	(1.5)	ロクロナデ、回転糸切り
307	D	250住	250住-10	土	杯A	7/8	完	9.4	3.8	2.1	ロクロナデ、回転糸切り
308	D	250住	250住-12	土	杯A	1/2	完	9.8	4.6	2.3	ロクロナデ、回転糸切り
309	D	250住	250住-11	土	杯A	3/4	完	9.8	4.0	2.4	ロクロナデ、回転糸切り
310	D	250住	250住-09	上	杯A	1/2	完	11.1	5.5	2.8	ロクロナデ、回転糸切り

No.	区	出土地点	実測番号	種別	器種	残存度		法量 (cm)			整形・調整・形態の特徴等
						口縁	底部	口径	底径	器高	
311	D	250住	250住-13	土	杯A	完	完	5.0			ロクロナデ、回転糸切り
312	D	250住	250住-04	黒A	椀	一部欠	部欠	10.0	5.1	3.9	ロクロナデ、内面ミガキ後黒色処理(一部黒スケ)、回転糸切り、付高台
313	D	250住	250住-05	黒A	椀		1/2		7.1		ロクロナデ、内面ミガキ(暗文)後黒色処理、回転糸切り、付高台
314	D	250住	250住-03	上	杯A	3/4	完	(16.0)	5.6	3.9	ロクロナデ、回転糸切り
315	D	250住	250住-19	緑	椀		1/8		(6.2)		内面ロクロナデ後ミガキ、底面回転へつ割後ミガキ、付高台、釉の剥離著しい、素地：黄灰色
316	D	250住	250住-26	灰	椀		1/7	(14.0)			ロクロナデ
317	D	250住	250住-23	灰	椀		1/8	(6.8)			ロクロナデ、底面回転へつ割り、付高台
318	D	250住	250住-20	灰	椀	1/4	1/2	(14.6)	(7.0)	6.3	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み重ね焼き痕・使用痕あり、内外面スス付着
319	D	250住	250住-21	灰	椀	1/12	1/3	(15.4)	(7.0)	6.0	ロクロナデ、底面回転へつ割り、付高台、内面見込み使用痕
320	D	250住	250住-28	灰	椀		1/3		(7.4)		ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み重ね焼き痕・使用痕あり、内外スス付着
321	D	250住	250住-24	灰	輪花皿	完	完	11.1	6.2	2.5	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み重ね焼き痕、輪花3単位(間隔不均等)、底面高台より内側糸付着
322	D	250住	250住-25	灰	輪花段皿	1/4	1/3	(11.4)	(6.2)	2.7	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、輪花単位不明
323	D	250住	250住-22	灰	椀	1/4	部欠	(10.4)	5.6	3.9	ロクロナデ、回転糸切りナデ、付高台
324	D	250住	250住-27	灰	椀	1/12		(12.4)			内面ロクロナデ、外面ロクロナデ、胴部より下半回転へつ割り
325	D	250住	250住-29	灰	椀		1/8	(6.8)			ロクロナデ、底面へつ割り、付高台
326	D	250住	250住-02	土	瓶D		1/8	(21.0)			内面工具ナデ、外面調整工具ナデ、下端手持ちへつ割り
327	D	250住	250住-01	上	羽釜	7/8		26.0			内面ハケメ、外面ハケメ後ナデ、胴部貼り付け後ナデ、内外面スス付着
328	D	250住	250住-01	灰	椀		1/8	(14.0)			ロクロナデ
329	D	253住	253住-01	灰	椀		1/4	(6.9)			ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み使用痕あり
330	D	254住	254住-01	土	皿A	2/3	完	9.4	2.5	1.7	ロクロナデ、回転糸切り
331	D	254住	254住-02	土	杯A	一部欠	完	10.1	5.1	2.4	ロクロナデ、回転糸切り
332	D	254住	254住-03	土	杯A	1/5	1/3	(10.3)	5.0	1.8	ロクロナデ、回転糸切り
333	D	254住	254住-04	土	杯A	3/8		(10.8)			ロクロナデ
334	D	254住	254住-05	上	椀	7/16	完	(14.5)	5.4	(4.8)	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
335	D	254住	254住-08	灰	椀	1/6	1/3	(14.7)	(6.8)	5.3	ロクロナデ、底面回転へつ割り、付高台、内面見込み使用痕
336	D	254住	254住-07	黒A	椀						ロクロナデ、内面放射状ミガキ後黒色処理、回転糸切り、付高台
337	D	254住	254住-06	黒A	椀		完	(6.9)			ロクロナデ、内面放射状ミガキ後黒色処理、回転糸切り、付高台
338	D	254住	254住-09	灰	椀		1/3	(6.6)			ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込みに重ね焼き痕・使用痕
339	D	254住	254住-10	灰	広口瓶		3/4	(11.7)			内面ロクロナデ、外面ロクロナデ後へつ割り、底面回転へつ割り、付高台
340	D	254住	254住-11	須	壺A		1/4	14.7			ロクロナデ、内面工具ナデ、外面タタキメ、下腹一底面手持ちへつ割り
341	D	255住	255住-01	土	皿か	完	完	9.1	3.4	2.5	ロクロナデ、回転糸切り
342	D	255住	255住-02	土	杯A	一部残	完	10.2	6.2	2.5	ロクロナデ、回転糸切り
343	D	255住	255住-03	上	杯A	5/12		(11.6)			ロクロナデ
344	D	255住	255住-04	灰	椀		1/2	(7.1)			ロクロナデ、底面回転へつ割り、付高台
345	D	255住	255住-05	灰	広口瓶	1/8		(17.6)			ロクロナデ
346	D	256住	256住-01	土	杯A		完		5.0		ロクロナデ、回転糸切り
347	D	256住	256住-02	灰	段皿		1/3	(12.4)	6.4	2.7	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
348	D	268住	268住-18	黒B	皿A		7/8		4.3		ロクロナデ、内外ミガキ後黒色処理、ミガキ不明瞭、回転糸切り
349	D	268住	268住-10	土	皿A	完	完	9.0	3.8	1.9	ロクロナデ、回転糸切り
350	D	268住	268住-04	土	杯A	完	完	8.6	4.3	1.8	ロクロナデ、回転糸切り
351	D	268住	268住-09	土	皿A	1/8	完	(9.8)	4.5	(1.7)	ロクロナデ、回転糸切り
352	D	268住	268住-06	土	杯A	1/8	完	(9.0)	5.0	(2.1)	ロクロナデ、回転糸切り
353	D	268住	268住-02	土	杯A		1/2	(9.6)	(5.6)	(2.1)	ロクロナデ、回転糸切り
354	D	268住	268住-01	土	杯A	5/8	完	10	5.1	2.1	ロクロナデ、回転糸切り
355	D	268住	268住-17	土	杯A	1/6	完	(9.1)	4.1	2.4	ロクロナデ、回転糸切り
356	D	268住	268住-03	土	杯A	1/4	完	9.2	3.8	2.3	ロクロナデ、回転糸切り
357	D	268住	268住-08	土	杯A	1/12	完	(9.5)	3.9	2.3	ロクロナデ、回転糸切り、底部に斜めに鎌倉穿孔あり
358	D	268住	268住-07	土	杯A	1/2	3/4	(10.4)	5.2	2.5	ロクロナデ、口縁付着タール付着
359	D	268住	268住-11	土	椀	7/8	完	10.0	4.8	3.3	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
360	D	268住	268住-05	土	杯A		完		6.0		ロクロナデ、回転糸切り
361	D	268住	268住-12	土	器B	1/8		(15.0)			ロクロナデ
362	D	268住	268住-13	土	杯A	5/16	一部欠	(16.7)	6.5	(4.2)	ロクロナデ、回転糸切り
363	D	268住	268住-14	灰	椀	3/8		(10.4)			ロクロナデ
364	D	268住	268住-15	灰	輪花椀	1/6	完	(14.2)	6.6	(5.0)	ロクロナデ、底面回転へつ割り、付高台、内面見込み重ね焼き痕、輪花単位不明
365	D	268住	268住-16	緑	皿か	一部残					内外ミガキ、素地：淡黄褐色
366	D	269住	269住-16	土	器B	1/6		(10.2)			ロクロナデ、付高台
367	D	269住	269住-11	土	杯A	1/2	完	(10.0)	4.5	1.4	ロクロナデ、回転糸切り

No.	川	出上地点	採掘番号	標高	器種	残存度		流量 (cm)			整形・調整・形態の特徴等
						口径	底径	口径	底径	器高	
368	D	269住	269住-06	上	杯A	2/3	完	10.5	6.0	1.6	ロクロナデ、回転糸切り
369	D	269住	269住-07	上	杯A	1/2	完	9.5	5.4	1.7	ロクロナデ、回転糸切り
370	D	269住	269住-02	土	杯A	一部欠	完	9.3	5.0	1.9	ロクロナデ、回転糸切り
371	D	269住	269住-03	土	杯A	一部欠	完	9.1	4.4	1.8	ロクロナデ、回転糸切り
372	D	269住	269住-09	土	杯A	1/3	完	(9.2)	5.0	1.9	ロクロナデ、回転糸切り
373	D	269住	269住-20	土	柄	1/6	完	(9.8)	5.6	2.9	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
374	D	269住	269住-24	土	柄		3/4		4.6		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
375	D	269住	269住-25	土	柄	1/8		(8.8)			ロクロナデ、内面に漆付着
376	D	269住	269住-26	土	柄or杯	一部欠		(9.4)			ロクロナデ、内面に漆付着
377	D	269住	269住-12	上	杯A	3/8	完	(8.1)	4.6	1.8	ロクロナデ、回転糸切り
378	D	269住	269住-13	上	杯A	1/6	完	(8.2)	4.4	1.9	ロクロナデ、回転糸切り
379	D	269住	269住-14	土	杯A	1/4	1/2	(8.6)	4.4	2.0	ロクロナデ、回転糸切り
380	D	269住	269住-15	土	杯A	1/3	1/3	(8.0)	(3.8)	2.4	ロクロナデ、回転糸切り
381	D	269住	269住-18	土	柄	一部欠		7.4			ロクロナデ、回転糸切り、付高台
382	D	269住	269住-17	土	盤B			4.6			ロクロナデ、回転糸切り、付高台
383	D	269住	269住-30	黒B	皿A	2/3	完	9.4	4.4	1.1	ロクロナデ、内外ミガキ後黒色処理、回転糸切り
384	D	269住	269住-31	黒B	皿A	1/10	完	(9.4)	4.0	1.2	ロクロナデ、内外ミガキ後黒色処理、回転糸切り
385	D	269住	269住-04	土	杯A	3/4	2/3	9.6	5.0	2.0	ロクロナデ、回転糸切り
386	D	269住	269住-01	上	杯A	完	完	10.1	5.8	1.9	ロクロナデ、回転糸切り
387	D	269住	269住-10	上	杯A	1/3	完	(10.2)	5.0	2.2	ロクロナデ、回転糸切り
388	D	269住	269住-08	土	杯A	1/3	完	(9.6)	4.1	3.0	ロクロナデ、回転糸切り
389	D	269住	269住-23	土	柄		完	5.0			ロクロナデ、回転糸切り、付高台
390	D	269住	269住-21	土	柄		完	5.4			ロクロナデ、回転糸切り、付高台
391	D	269住	269住-05	土	杯A	一部欠	完	9.5	4.6	2.3	ロクロナデ、回転糸切り、内面に漆付着
392	D	269住	269住-19	土	柄						ロクロナデ、回転糸切り、付高台
393	D	269住	269住-22	土	柄	1/4		(14.0)			ロクロナデ、内面にタール様の付着物
394	D	269住	269住-27	土	杯A	一部欠	5/8	(17.2)	(8.4)	4.4	ロクロナデ、回転糸切り
395	D	269住	269住-28	上	杯A	1/10		(17.2)			ロクロナデ、内面に漆にスス付着
396	D	269住	269住-29	黒A	柄	1/4	完	(14.6)	7.4	5.1	ロクロナデ、内面ミガキ(見込みを除く)後黒色処理、静止糸切りか、付高台
397	D	269住	269住-42	灰	柄	1/2		(10.0)			ロクロナデ
398	D	269住	269住-40	灰	柄	1/2	完	10.3	5.2	3.2	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
399	D	269住	269住-38	灰	柄	2/5	1/2	(15.4)	(7.0)	5.5	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、見込み部使用痕・歪ね焼き痕
400	D	269住	269住-37	灰	柄	1/5	1/3	(14.8)	(6.8)	(6.5)	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
401	D	269住	269住-41	灰	柄		完		7.1		ロクロナデ、底面へう削り、付高台
402	D	269住	269住-44	灰	小瓶		1/4	(8.6)			ロクロナデ、外面へう削り、回転糸切り
403	D	269住	269住-43	灰	皿	1/8		(13.0)			ロクロナデ
404	D	269住	269住-39	灰	輪花柄	2/5		(15.6)			ロクロナデ、回転糸切り
405	D	269住	269住-36	灰	輪花柄	1/2	1/2	(15.8)	(7.6)	5.0	ロクロナデ、膝部から底面回転へう削り、付高台、内面見込み部使用痕・歪ね焼き痕、底面に付着物
406	D	269住	269住-35	灰	輪花柄	3/8	一部欠	(16.6)	6.9	5.8	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、口縁付近タール付着、輪花B単位、内面見込み使用痕
407	D	269住	269住-34	緑	柄	一部欠		(12.0)			ロクロナデ、ミガキ不明、素地：淡灰色
408	D	269住	269住-33	緑	皿	一部欠		(14.0)			ロクロナデ、ミガキ不明、素地：淡灰色
409	D	269住	269住-32	緑	皿	一部欠		(14.0)			ロクロナデ、ミガキ不明、素地：淡灰色
410	D	269住	269住-45	頭	盤B		1/4	(14.4)			内面工具ナデ、外面タタキテ・下端タタキ後ケズリ、底面ナデ
411	D	269住	269住-47	土製	輪の口						滑澤付着
412	D	269住	269住-46	土製	輪の口						滑澤付着
413	D	269住	269住-48	土製	輪の口						外面土鼻ナデ、一部に指痕
414	D	271住	271住-03	土	杯A	1/8	1/4	(8.6)	(4.0)	1.7	ロクロナデ、回転糸切り
415	D	271住	271住-04	土	皿A	5/8	2/3	9.1	4.4	1.8	ロクロナデ、回転糸切り
416	D	271住	271住-01	土	杯A	3/4	完	9.8	4.8	2.3	ロクロナデ、回転糸切り
417	D	271住	271住-05	土	小型盤D	一部欠			6.7		ロクロナデ、回転糸切り
418	D	271住	271住-02	土	柄						ロクロナデ、回転糸切り、付高台か
419	D	271住	271住-06	土	柄	1/6	一部欠	(10.6)	5.4	2.9	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
420	D	271住	271住-07	土	盤or小瓶	一部欠		10.2			ロクロナデ、回転糸切り、外面磨痕
421	D	271住	271住-08	灰	柄		一部欠	8.0			ロクロナデ、底面回転へう削り、付高台、内面見込み使用痕、内外面磨痕
422	D	整16	整16-03	黒A	柄						ロクロナデ、回転糸切り、付高台
423	D	整16	整16-02	上	杯A		完	5.6			ロクロナデ、回転糸切り
424	D	整16	整16-01	緑	段皿	1/12	一部欠	(10.0)	(5.0)	2.3	ロクロナデ後ミガキ、回転糸切りか、素地：淡灰色
425	D	整19	整19-05	土	杯A		完	4.8			ロクロナデ、回転糸切り
426	D	整19	整19-07	土	杯A		完	4.2			ロクロナデ、回転糸切り

No.	区	出土地点	実測番号	種別	器種	残存度		法量 (cm)				整形・調整・形態の特徴等
						口縁	底部	口径	底径	器高		
427	D	惣19	惣19-06	土	杯A				4.8			ロクロナデ、回転糸切り
428	D	惣19	惣19-08	土	杯B	1/3	完	(6.8)	4.4	4.0		内外ナデ
429	D	惣19	惣19-03	土	盤B	2/3			6.0			内面ロクロナデ、回転糸切り、付高台
430	D	惣19	惣19-04	土	碗				(6.8)			ロクロナデ、回転糸切り、付高台
431	D	惣19	惣19-01	灰	碗	1/2			(7.4)			ロクロナデ、回転糸切り、付高台
432	D	惣19	惣19-02	灰	碗	1/4			(7.6)			ロクロナデ、外面ヘウ彫り、付高台、内面見込み重ね焼き痕
433	D	惣22	惣22-09	土	杯A	1/5	1/8	(8.4)	(4.4)	(1.4)		ロクロナデ、回転糸切り
434	D	惣22	惣22-10	土	杯A	1/3			(9.4)			ロクロナデ
435	D	惣22	惣22-07	土	杯A	1/2	完	9.1	5.0	2.2		ロクロナデ、回転糸切り
436	D	惣22	惣22-08	土	杯A		1/3		(5.6)			ロクロナデ、回転糸切り
437	D	惣22	惣22-06	土	杯A		完		5.8			ロクロナデ、回転糸切り
438	D	惣22	惣22-02	灰	碗		一部残	1/4	(9.0)	(4.8)	2.2	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み重ね焼き痕
439	D	惣22	惣22-04	土	盤B	1/8			(15.4)			ロクロナデ
440	D	惣22	惣22-05	土	盤B		一部残		(15.6)			ロクロナデ
441	D	惣22	惣22-03	土	碗	1/8			(17.0)			ロクロナデ
442	D	惣22	惣22-01	灰	碗	1/6			(14.0)			ロクロナデ、輪花平位不明
443	D	惣37	惣37-04	土	杯A	1/4				(5.6)		ロクロナデ、回転糸切り
444	D	惣37	惣37-05	黒A	碗		1/2			(7.0)		ロクロナデ、内面ミガキ(碑文)後黒色処理、回転糸切り、付高台、底面スス付着
445	D	惣37	惣37-03	灰	碗		1/5		(6.6)			ロクロナデ、付高台、内面見込み重ね焼き痕
446	D	惣37	惣37-02	灰	碗		1/2		(7.6)			ロクロナデ、回転糸切り、付高台
447	D	惣37	惣37-01	灰	碗		3/4		7.8			ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面使用痕
448	D	惣44	惣44-02	土	杯A	1/2	完	(8.9)	5.4	1.9		ロクロナデ、回転糸切り
449	D	惣44	惣44-03	土	碗							ロクロナデ、回転糸切り
450	D	惣44	惣44-01	土	杯A	3/4	完	14.8	7.0	4.3		ロクロナデ、回転糸切り
451	D	惣44	惣44-05	灰	碗	1/8	1/5	(10.0)	(5.4)	2.1		ロクロナデ、底面回転ヘウ彫り、付高台
452	D	惣44	惣44-04	黒A	鉢A		一部残		(13.4)			内面ミガキ後黒色処理、外面一部ミガキナデか、下縁ヘウ彫り、底面ナデか
453	D	土坑197	土197-01	黒A	碗	1/6			(14.2)			ロクロナデ、内面ミガキ後黒色処理、回転糸切り、付高台
454	D	土坑198	土198-01	土	杯A	1/2	1/2	(9.2)	(4.3)	2.0		ロクロナデ、回転糸切り、内面スス付着
455	D	土坑252	土252-01	土	皿A	3/8	完	(10.1)	3.7	1.9		ロクロナデ、回転糸切り
456	D	土坑256	土256-01	土	盤B		一部残		(9.9)			ロクロナデ、回転糸切り
457	D	土坑258	土258-01	土	杯A	1/6	一部残	(9.4)	(4.6)	1.7		ロクロナデ、回転糸切り
458	D	土坑258	土258-02	土	杯A	1/4	1/4	(9.3)	(5.3)	2.1		ロクロナデ、回転糸切り
459	D	土坑258	土258-03	土	皿A	3/4	完	9.7	4.8	1.7		ロクロナデ、回転糸切り
460	D	土坑259	土259-01	土	杯A	3/8	ほぼ完	(10.1)	4.4	(2.2)		ロクロナデ、回転糸切り
461	D	土坑259	土259-02	土	杯A	1/12	3/4	(15.1)	7.4	4.1		ロクロナデ、回転糸切り
462	D	土坑313	土313-03	土	杯A	2/3	2/3	9.2	5.4	1.5		ロクロナデ、回転糸切り
463	D	土坑313	土313-02	土	杯A	1/6	完	8.7	5.0	1.9		ロクロナデ、回転糸切り
464	D	土坑313	土313-01	土	杯A		一部残	ほぼ完	(9.1)	4.3	2.0	ロクロナデ、回転糸切り
465	D	土坑322	土322-01	土	杯A	3/8	1/2	(10.3)	(4.4)	2.5		ロクロナデ、回転糸切り
466	D	土坑324	土324-01	土	杯A	1/4	1/3	(9.4)	(5.4)	1.3		ロクロナデ、回転糸切り
467	D	土坑226	土226-03	土	杯A	1/4			(10.0)			ロクロナデ、口縁付足スス付着
468	D	土坑226	土226-04	土	杯A	1/4			(10.0)			ロクロナデ、内面わずかにスス付着
469	D	土坑226	土226-01	土	杯A	15/16	完	9.5	5.4	2.0		ロクロナデ、回転糸切り
470	D	土坑226	土226-02	土	杯A	5/6	完	10.2	5.4	2.3		ロクロナデ、回転糸切り
471	D	土坑226	土226-06	土	碗		1/2		6.0			ロクロナデ、回転糸切り、付高台
472	D	土坑226	土226-07	土	碗か	1/6			(13.9)			ロクロナデ
473	D	土坑226	土226-06	土	杯B	1/4			(13.4)			ロクロナデ
474	D	土坑226	土226-05	土	碗	1/4	4/5	(14.5)	5.5	5.2		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
475	D	土坑346	土346-01	土	盤B							内面ロクロナデ、回転糸切り、付高台
476	D	土坑346	土346-02	土	盤B							ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面タール付着
477	D	土坑201	土201-01	灰	碗		2/5		(7.7)			ロクロナデ、回転糸切り後ナデ、付高台
478	D	土坑218	土218-01	灰	碗		1/3		(7.2)			ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み重ね焼き痕・使用痕、底面に鉄分付着
479	D	土坑284	土284-01	灰	碗		完		7.0			ロクロナデ、底面静止糸切り、付高台、内面使用痕あり
480	D	P440	P440-02	土	杯A	1/6	2/5	(8.2)	(4.8)	1.2		ロクロナデ、回転糸切り
481	D	P440	P440-01	土	皿A	1/6			(6.9)			ロクロナデ
482	D	P440	P440-03	土	杯A	1/3	完	10.4	4.9	2.3		ロクロナデ、口縁部に注口あり
483	D	P369	P369-01	黒A	杯か		1/3		(7.1)			ロクロナデ、内面ミガキ後黒色処理(黒ぬけ)、回転糸切り
484	D	P461	P461-01	土	杯A	1/8	完	(12.1)	5.9	3.7		ロクロナデ、回転糸切り
485	D	P525	P525-01	須	甕A	1/8			(42.3)			ロクロナデ、外面自然輪付着

No.	区	出土地点	実測番号	種別	器種	残存度		法量 (cm)			整形・調整・形類の特徴等
						口縁	底部	口徑	底径	器高	
486	D	P376	P376-01	灰	碗			3/8		(7.6)	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み使用痕
487	D	P416	P416-01	灰	広口瓶			1/4		(12.7)	ロクロナデ、外面回転糸切り、底面回転へう割り、付高台
488	D	溝27	溝27-01	土	皿A	1/10	一部欠	(9.8)	(5.8)	1.7	ロクロナデ、回転糸切り
489	D	溝27	溝27-02	土	上			3/4			ロクロナデ、回転糸切り
490	D	溝27	溝27-03	土	杯A			1/3		(5.8)	ロクロナデ、回転糸切り
491	D	溝27	溝27-04	灰	段皿	1/8	1/3	(12.0)	(6.9)	2.4	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込みおよび内外面口縁付近タール付着
492	D	溝28	溝28-04	土	皿A	1/8			(9.6)		ロクロナデ
493	D	溝28	溝28-03	土	杯A	1/9	1/6	(9.9)	(5.5)	1.8	ロクロナデ、回転糸切り
494	D	溝28	溝28-02	土	盤B	1/16			(14.4)		ロクロナデ
495	D	溝28	溝28-01	土	杯A			完	(4.4)		ロクロナデ、底面回転糸入り
496	D	溝28	溝28-05	土	碗			完	5.7		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
497	D	溝28	溝28-07	灰	碗	1/8			(18.4)		ロクロナデ
498	D	溝28	溝28-06	灰	碗			7/8		4.8	ロクロナデ、回転糸切り、付高台
499	D	溝29	溝29-01	上製	土罐	ほぼ完		1.5(編)	1.4(厚)	2.8(高)	ナデ成形、穿孔(上孔0.4下孔0.3)
500	D	溝30	溝30-01	土	杯A	1/4	1/3	(6.1)	(5.0)	2.2	ロクロナデ、底面糸切り
501	D	溝30	溝30-02	土	杯A	1/2	完	9.6	5.0	2.2	ロクロナデ、回転糸切り
502	D	溝30	溝30-03	土	杯A	3/4	3/4	8.9	4.5	1.4	ロクロナデ、回転糸切り
503	D	溝30	溝30-04	灰	碗			3/8		(5.0)	内面ロクロナデ、回転糸切り、付高台
504	D	溝31	溝31-01	土	杯A	1/4	7/8	(9.2)	(4.7)	1.7	ロクロナデ、回転糸切り、内外口縁付近ス付着
505	D	検出面	D検-04	土	皿A	1/4	完	(9.4)	(4.6)	1.8	ロクロナデ、回転糸切り
506	D	検出面	D検-03	土	皿A	ほぼ完	1/2	(8.5)	(4.7)	1.7	ロクロナデ、回転糸切り
507	D	検出面	D検-02	土	杯A	1/8	1/4	(9.4)	(4.0)	1.7	ロクロナデ、回転糸切り
508	D	検出面	D検-01	土	杯A	3/8	1/3	(9.5)	(5.2)	1.9	ロクロナデ、回転糸切り
509	D	検出面	D検-24	土	杯A	1/4			(10.7)		ロクロナデ
510	D	検出面	D検-05	土	盤B	1/4			(11.6)		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
511	D	検出面	D検-15	土	杯A		1/3		(16.0)		ロクロナデ、回転糸切り
512	D	検出面	D検-22	土	杯A		1/4		(6.6)		ロクロナデ、回転糸切り
513	D	検出面	D検-12	土	杯A		5/8		(5.6)		ロクロナデ、回転糸切り
514	D	検出面	D検-23	土	杯A		完		3.4		ロクロナデ、回転糸切り
515	D	検出面	D検-17	皿A	碗		1/4		(5.2)		ロクロナデ、内面ミガキ後黒色処理、回転糸切り、付高台
516	D	検出面	D検-20	皿B	碗						ロクロナデ、内外ミガキ後黒色処理
517	D	検出面	D検-25	皿B	碗		一部欠		4.7		ロクロナデ、内外ミガキ後黒色処理、付高台後ミガキ後黒色処理
518	D	検出面	D検-08	灰	碗		2/3		(6.7)		ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み部に使用痕・重焼痕あり、内面に朱書
519	D	検出面	D検-14	灰	碗	1/10			(15.3)		ロクロナデ
520	D	検出面	D検-13	灰	碗	1/12			(17.1)		ロクロナデ
521	D	検出面	D検-28	灰	碗		1/6		(7.3)		ロクロナデ、回転糸切りか、付高台、内面見込みに使用痕・黒垢、底面黒痕
522	D	検出面	D検-07	灰	碗	1/4	1/4	(13.8)	(7.0)	5.3	ロクロナデ、外面観察→底面へう割り後ナデ、付高台、施釉不明
523	D	検出面	D検-29	灰	碗		1/4		(6.6)		ロクロナデ、外面観察→底面回転へう割り、付高台、内面見込み重ね焼き痕
524	D	検出面	D検-18	灰	碗	1/4			(13.2)		ロクロナデ
525	D	検出面	D検-06	灰	段皿	1/6			(11.0)		ロクロナデ、回転糸切り、内面見込みに使用痕
526	D	検出面	D検-26	灰	碗		1/6		(6.8)		ロクロナデ、回転糸切り後ナデか、付高台
527	D	検出面	D検-37	灰	碗		1/4		(5.5)		内面ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み使用痕
528	D	検出面	D検-21	灰	段皿		完		6.7		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
529	D	検出面	D検-19	灰	碗		1/4		(7.8)		ロクロナデ、底面回転へう割り、付高台、内面見込み使用痕
530	D	検出面	D検-16	灰	輪花碗						ロクロナデ、輪花単位不明 施釉剥離か
531	D	検出面	D検-10	須	転印彫か						内面当て具後後工具ナデ、外面タタキ、裏の体部
532	D	検出面	D検-09	土製	轆の頸口						外面工具ナデ、滑洋付着
533	D	排土	D排土-01	灰	碗		3/4		(6.7)		ロクロナデ、底面回転へう割り、付高台
534	E	272住	272住-02	上	碗		1/4		6.6		ロクロナデ、回転糸切り、付高台
535	E	272住	272住-04	上	杯A		1/8		(6.4)		ロクロナデ、回転糸切り
536	E	272住	272住-01	皿A	碗	1/8			(16.5)		ロクロナデ
537	E	272住	272住-05	灰	碗		1/4		(7.5)		ロクロナデ、回転糸切り、付高台、内面見込み使用痕
538	E	272住	272住-03	白	一部残						ロクロナデ、外面回転ヘラケズリ
539	E	273住	273住-01	土	杯A	ほぼ完	完	9.0	4.8	1.9	ロクロナデ、回転糸切り
540	E	273住	273住-04	土	皿A	7/8	一部欠	9.2	4.7	1.9	ロクロナデ、回転糸切り
541	E	273住	273住-03	土	皿A	3/4	完	9.8	4.6	1.8	ロクロナデ、回転糸切り
542	E	273住	273住-02	土	杯A	ほぼ完	完	10.0	5.1	2.1	ロクロナデ、回転糸切り
543	E	273住	273住-05	土	杯A	2/3	完	9.8	5.1	2.2	ロクロナデ、回転糸切り
544	E	273住	273住-06	土	杯A	3/4	完	9.7	4.8	3.3	ロクロナデ、回転糸切り

No.	区	出土地点	実測番号	類別	器種	残存度		法量 (cm)			整形・調整・形態の特徴等	
						口縁	底部	口径	底径	器高		
545	E	273住	273住-07	土	碗	1/3	1/4	(10.4)	(4.7)	3.7	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、口縁部付近タール付着	
546	E	273住	273住-09	土	碗					6.6	ロクロナデ、回転糸切り、付高台	
547	E	273住	273住-10	土	杯A	1/6		ほぼ完	(14.1)	6.5	41	ロクロナデ、回転糸切り、内面にスス付着
548	E	273住	273住-12	土	碗	1/4	1/2	(16.2)	3.9	5.7	ロクロナデ、回転糸切り、付高台、底面へラ記号	
549	E	273住	273住-15	灰	碗	1/3		ほぼ完	14.4	7.7	6.0	ロクロナデ、底面回転へラ削り、付高台、内面見込み部に重ね焼き痕、使用痕
550	E	273住	273住-13	黒A	碗			一部欠		6.8		ロクロナデ、内面ミガキ・暗文のち黒色処理、回転糸切り、付高台
551	E	273住	273住-08	土	碗			2/5	(4.2)			内面ロクロナデ、付高台
552	R	273住	273住-11	土	盥B			1/2		10.1		内面ロクロナデ、回転糸切りか、付高台、内面見込み部に被熱、スス付着
553	E	273住	273住-14	灰	碗	1/10	3/4	(14.6)	(6.9)	5.2	ロクロナデ、底面回転へラ削り、付高台、内面見込み部に重ね焼き痕、使用痕	
554	E	壱39	壱39-01	土	皿A	1/6	完	15.4	6.2	2.5	ロクロナデ、回転糸切り	
555	E	壱39	壱39-04	土	碗	1/6		(14.0)				ロクロナデ、回転糸切り、口縁タール付着
556	E	壱39	壱39-02	土	盥B	1/2		11.7				ロクロナデ、回転糸切り、内面見込みスス付着
557	E	壱39	壱39-03	土	盥B			1/2	(5.8)			ロクロナデ、回転糸切り、付高台
558	E	壱39	壱39-05	白	蓋	1/12		(15.2)				ロクロナデ
559	E	壱40	壱40-01	土	杯A	1/6	1/3	(9.2)	(4.4)	1.7	ロクロナデ、回転糸切り	
560	E	壱40	壱40-03	土	皿A	3/4	1/4	(10.8)	(4.8)	3.6	ロクロナデ、回転糸切り	
561	E	壱40	壱40-02	土	杯A	1/4	1/3	(15.3)	(4.7)	3.2	ロクロナデ、回転糸切り、内面スス付着	
562	E	F499	F499-01	土	杯A	1/3	完	(14.4)	(6.2)	(3.8)	ロクロナデ、回転糸切り	
563	E	流路	流路-01	白	段皿							ロクロナデ
564	E	検出面	E検-01	灰	碗	1/16	1/3	(14.6)	(7.2)	5.9	ロクロナデ、付高台、内面見込み使用痕	
565	E	排土	E排土-01	灰	碗		完			6.7		内面見込み部使用痕あり
566	B	検出面	B検-01	古瀬	平碗		1/3		(5.4)			ロクロナデ、回転糸切り、削り出し器台
567	B	検出面	B検-02	古瀬	小型瓦子							ロクロナデ、外面一部キメ

土：土器類 須：須虫器 黒A：黒色土器A 黒B：黒色土器B 灰：灰輪陶器 緑：緑輪陶器 白：白磁 古瀬：古瀬戸 土：土製品

古墳時代

第147号住居址(1)



第150号住居址(2~4)



検出面(5)



平安時代

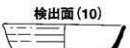
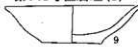
A区 第145号住居址(6·7)



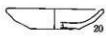
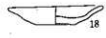
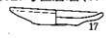
第146号住居址(8)



第148号住居址(9)

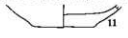


第127号住居址(17~24)

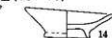


B区

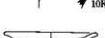
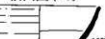
第124号住居址(11·12)



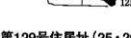
第126号住居址(13~16)



検出面(10)



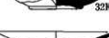
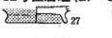
第129号住居址(25·26)



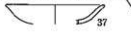
第131号住居址(31~36)



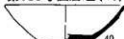
第132号住居址(27~30)



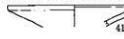
第133号住居址(37~39)



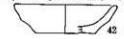
第135号住居址(40)



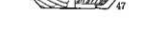
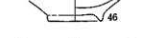
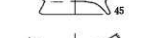
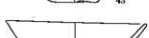
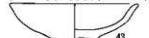
第136号住居址(41)



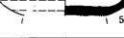
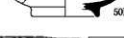
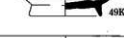
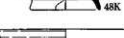
第137号住居址(42)



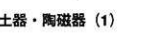
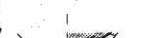
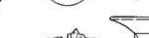
第138号住居址(43~52)



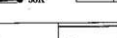
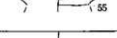
第139号住居址(53~62)



第139号住居址(53~62)



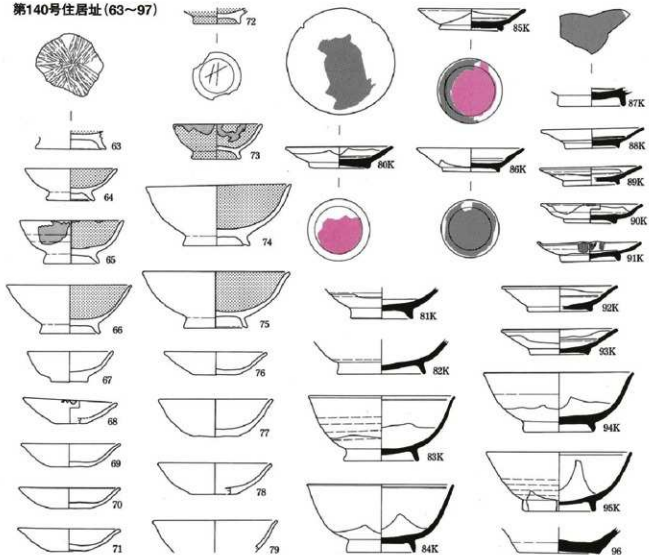
第139号住居址(53~62)



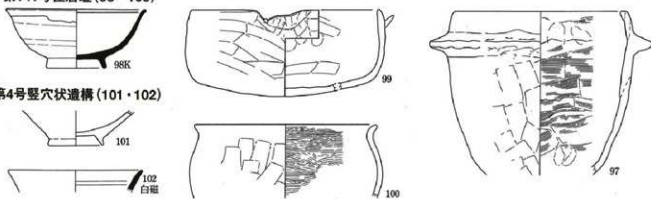
0 10cm

第26図 土器・陶磁器(1)

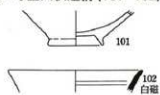
第140号住居址 (63~97)



第141号住居址 (98~100)



第4号竖穴状遺構 (101・102)



土坑 (103~105)



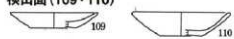
溝21 (106・107)



溝25 (108)



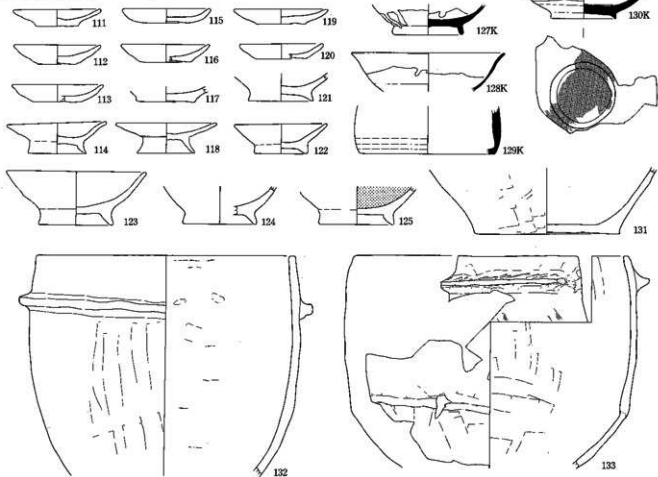
検出面 (109・110)



第27図 土器・陶磁器 (2)

C区

第152号住居址 (111~133)



第154号住居址 (134)

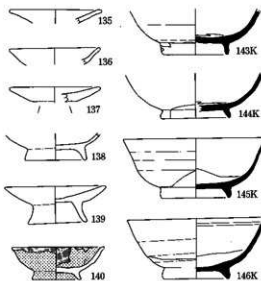


D区

第158号住居址 (149~152)



第155号住居址 (135~146)



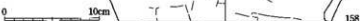
第161号住居址 (153~155)



第162号住居址 (156~158)

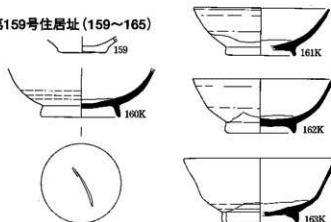


検出面 (147・148)

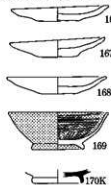


第28图 土器・陶磁器 (3)

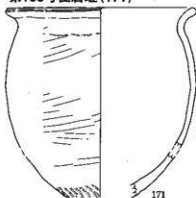
第159号住居址 (159~165)



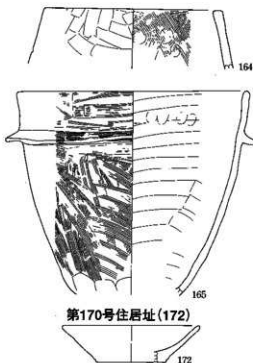
第167号住居址 (166~170)



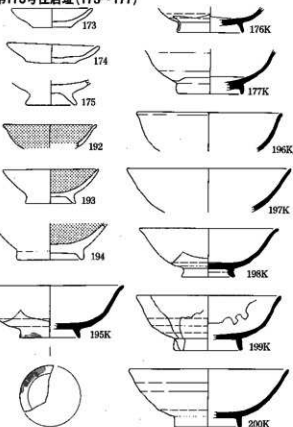
第168号住居址 (171)



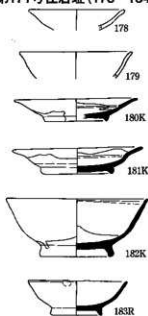
第170号住居址 (172)



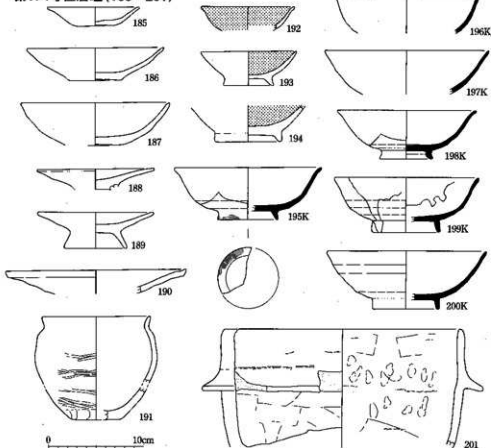
第173号住居址 (173~177)



第171号住居址 (178~184)

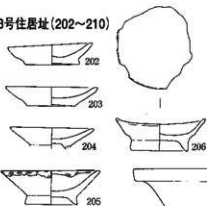


第174号住居址 (185~201)



第29图 土器・陶磁器 (4)

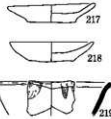
第183号住居址(202~210)



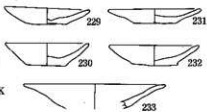
第184号住居址(211~216)



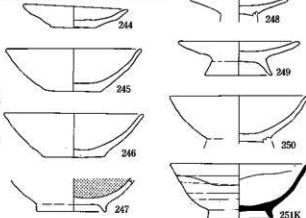
第189号住居址(217~219)



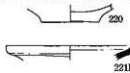
第185号住居址(229~237)



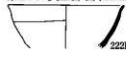
第208号住居址(244~251)



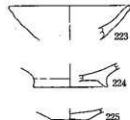
第200号住居址(220·221)



第203号住居址(222)



第204号住居址(223~225)



第214号住居址(238~243)



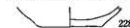
第206号住居址(226)



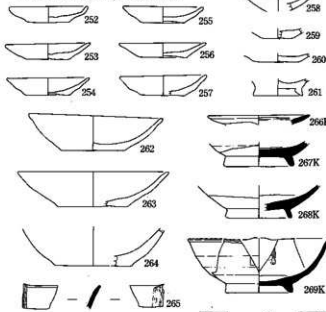
第207号住居址(227)



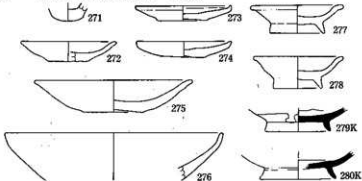
第213号住居址(228)



第218号住居址(252~270)



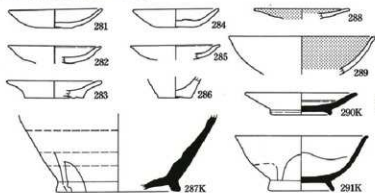
第226号住居址(271~280)



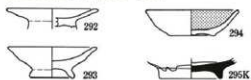
0 10cm

第30图 土器・陶磁器(5)

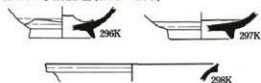
第220号住居址 (281~291)



第236号住居址 (292~295)



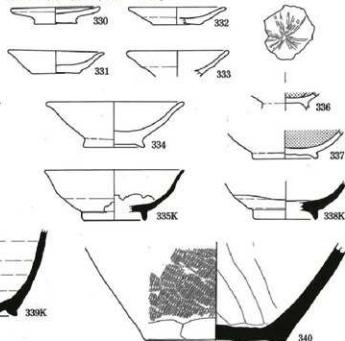
第251号住居址 (296~298)



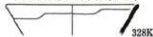
第250号住居址 (299~327)



第254号住居址 (330~340)



第252号住居址 (328)



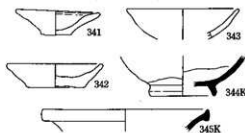
第253号住居址 (329)



0 10cm

第 31 图 土器・陶磁器 (6)

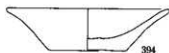
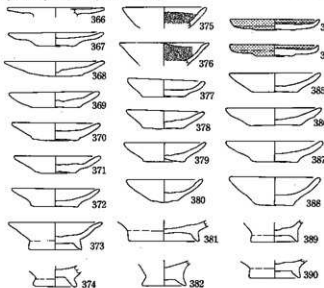
第255号住居址 (341~345)



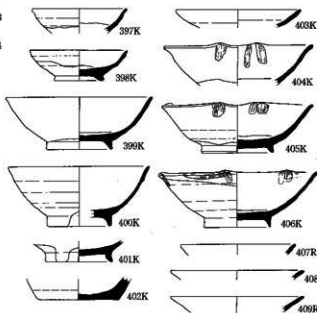
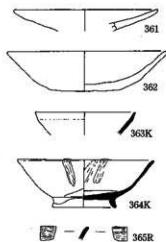
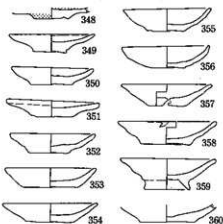
第256号住居址 (346~347)



第269号住居址 (366~413)



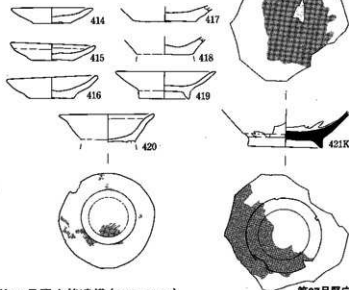
第268号住居址 (348~365)



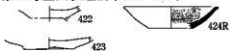
0 10cm

第32图 土器・陶磁器 (7)

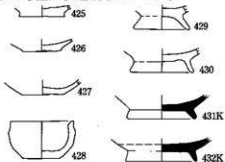
第271号住居址(414~421)



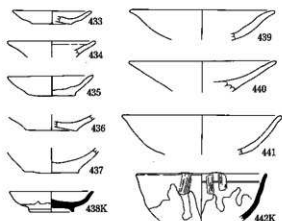
第16号竖穴状遺構(422~424)



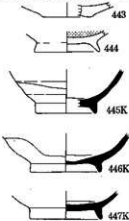
第19号竖穴状遺構(425~432)



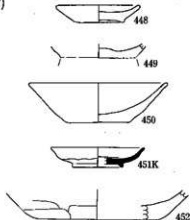
第22号竖穴状遺構(433~442)



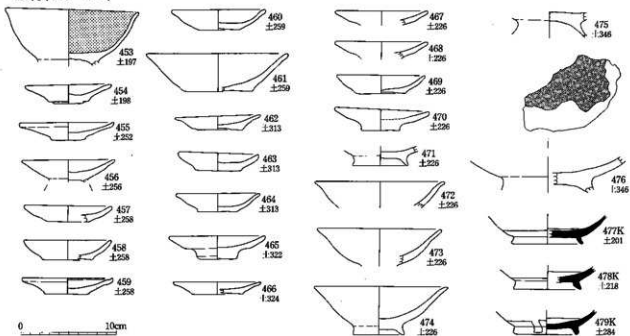
第37号竖穴状遺構(443~447)



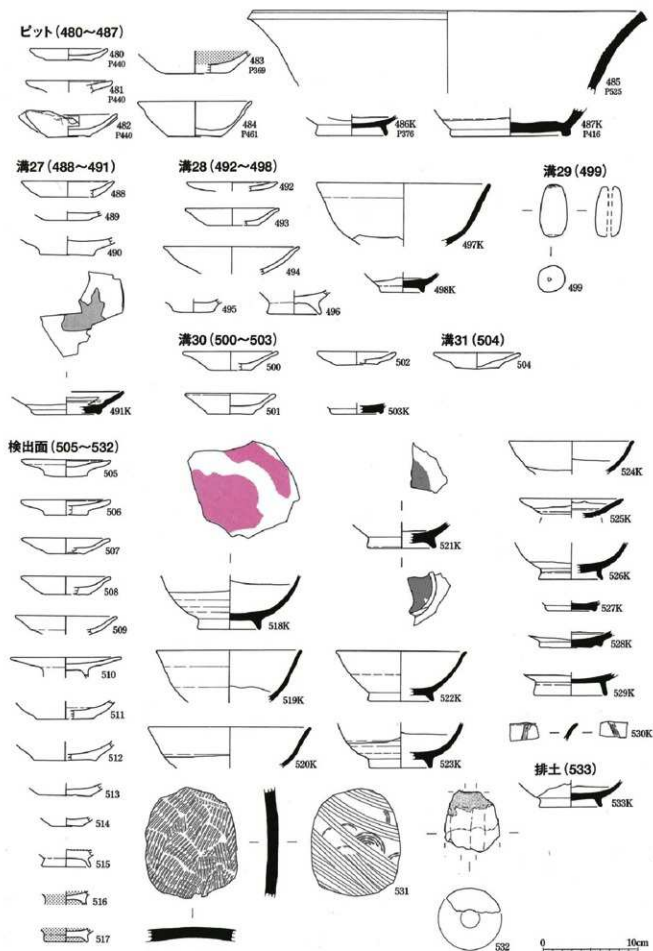
第44号竖穴状遺構(448~452)



土坑(453~479)



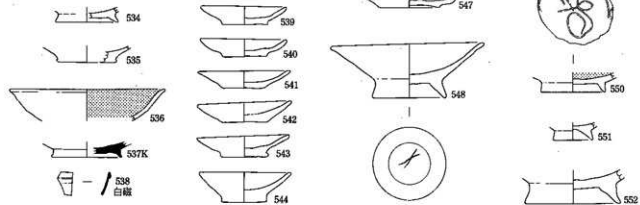
第33图 土器・陶磁器(8)



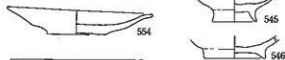
第34図 土器・陶磁器 (9)

E区

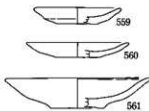
第272号住居址 (534~538) 第273号住居址 (539~553)



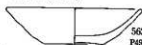
第39号竖穴状遺構 (554~558)



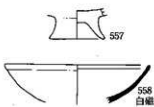
第40号竖穴状遺構 (559~561)



ピット (562)



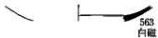
検出面 (564)



中世
B区 検出面 (566~567)



流路3 (563)



排土 (565)



0 10cm

2 金属器

平田本郷4・5次地点では基本層埋も遺構検出面とはつきりしないようであるが、古墳時代から奈良・平安時代に帰属すると考えられる遺構・遺物が多数検出され、193点の金属器が回収されている。しかし、遺構切り合い関係に難題をきたしているようであり、欠番とされた遺構の欠番理由も不明な点があるために総遺構数も判然とせず、また三次元座標記録による回収精度も低い状況にある。座標記録のある金属器は、すべて遺構層埋もに限り47点ほどである。接合した個体はすべて新しい被断面同士の場合であり、純粋な接合関係は示さなかった^(註1)。

本地点の金属器出土遺構総数は72遺構である。回収個体数の多かった遺構は、SB269の21点、次いでSB152の15点であり、他の遺構は10点以下に留まっている。製品率が100%の遺構数は37遺構で半数を占める。うち最も個体数が多い遺構は、SB250の5点である。製品率が最も低い遺構は25.0%のSB131とSB220である。製品率が0%の遺構は、滓のみが回収された16遺構で、回収個体数が2点以下の遺構に限られる。滓の個体数が多かった遺構は、SB269の7点、次いでSB152の6点であるが、遺構毎における製品率では、特別に高い数値は示さない。SB269については鍛冶関連遺構の可能性も示唆されているようであるが、三次元座標記録のある7点のうち、断面投影図によるとSD40に4点が帰属することとなる。ただし、ID122を除いた遺物の垂直分布がほぼ同一レベルで広がることを考慮すれば、SD40は平面的な広がりも不明な点があり、遺構の存在自体にも疑問が残る。SB269の焼腐個体は、ID122,123,124の3点以外は焼腐不明となる可能性がある^(註2)。

本地点においては、金属器の回収精度が低く金属器自体が遺構とは遊離し、援用すべき他の遺物でも調査精度・回収精度が低いために、遺構間接合・同一個体資料という共通態内における通時的関係の把握はほぼ不可能であるため、他の遺物とも金属器は遊離している。よって本遺跡においては、出土質土・遺構検出面・切り合い関係等の問題は残されたままで、三次元座標記録によって回収された遺物についても通時的・共時的関係は不明であり、位置情報のみ判明した個体を図示するにとどめるを得ない。

[補注]

註1 金属器の接合資料の報告事例が稀少な中で、大分県鞍馬遺跡で一例報告されている。接合した金属器は、鍛冶工所址から東へ約8mほどに位置した溝状構内のなか所ある遺物集積地点から出土している鉄製炊飯器のうち、北に位置した柳籠遺構で回収された遺物が接合している。接合した遺物について報告書中では、「…両者の折れ角が等しく、一側面になることが確認された。」とある。金属器の接合は稀であることを考えると、保存処置前の写真は参考にはなるが、現場・整理作業時の新しい折れの可能性も考えられるから、断面の近接写真等の記録は残すべきであると考えられる。

註2 注が出土したからといって、それは金属生産工程で生じる産業廃棄物のため移動・廃棄を考慮しなければならず、出土遺構が鍛冶関連遺構とは直接結びつかない考えられる。金属生産工程で指定されている鍛冶・精錬・鍛錬のうち、鍛冶関連の段階ではかなりの排出品が少ないことを考慮すれば尚更であろう。金属生産関連遺構の認定は出土金属自体の金属学的解析を行っても、はっきりとした回答は得られない現状である。また分析者は調査で「鍛冶址から出土した金属器」とされれば、金属自体の解析結果は出せても、実際は鍛冶址自体について肯定も否定もできない。遺構自体は、調査者の所見を偏しているし無いのである。しかし調査者は、その得られた分析結果を基に、鍛冶関連の遺構として裏付けられたし、鍛冶遺構としての認定に自信を置いているという思慮に陥っている場合が多いのではないかと。調査者は、免罪作業の段階での経験的感も必要な場合もあるが、思い込みの調査をした経験談の前に、鐵土や炭化物を多量に含んだ層を把握され鐵土面等が広がる場合で、鍛冶関連遺構を想定するならば、考古学的に裏証するため、鍛冶副片回収を目的とした土塊採取をし、さらに可能な場合には金属学的解析などの結果をも参考として鍛冶工所址としての遺構を認定すべきであろう。前述の炭塊遺構とは、鍛冶副片を回収し、鍛冶遺構として考古学的に認定されるものと考えられる。製品率について、遺構毎における製品率自体が鍛冶関連遺構を示すかどうかは不明であるが、遺跡内で金属製品器組成における占有率を検討していくよりは、遺跡内における縦向が把握されるものと考える。また、金属という材質の層面からすればサイクルされる確率が高いと考えられるから、古墳の副葬品等の特長も考慮すべきであり、出土遺構が直接的な所有形態はほとんど示さないと考えられる。材質に制約されたため、欠損した遺物の認定方法は難しい問題ではあるが基準を設定した上で、製品毎における欠損率も一つの要素として考慮した上で、所有・廃棄等を検討しなければならないと考える。

[参考文献]

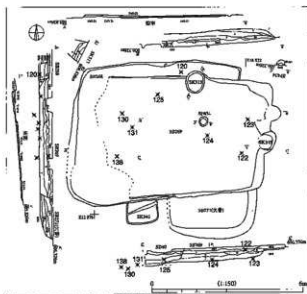
- 阿部芳郎 1998 『遺物のライフサイクルと廃棄プロセスの形成過程』
 『土上層遺跡第3次調査』 鍛冶部教育委員会 pp.127-141
 太田圭郎 2000 『石器』『平塚遺跡II』松本市教育委員会 pp.93-122
 2001 『石器』同『宮遺跡I』松本市教育委員会 pp.9-pp.14 pp.25-29
 大村 貞 1997 『鉄器の組成比と所有形態』
 『考古学研究』第44巻第2号 pp.108-124
 行時志朗 1995 『B地点の調査』『鞍馬遺跡』日田市教育委員会 pp.25-55

項目	1993年度発掘調査	1994年度発掘調査	1995年度発掘調査
発掘面積	100.0㎡	47.0㎡	176.0㎡
検出品数	100.0%	24.0%	90.3%

第5表 主要調査一覽

遺構1 5次層の埋もれ土層を調査し、欠番遺物を回収する。
 遺構2 5次層の埋もれ土層を調査し、欠番遺物を回収する。[P]は遺構内のPを示す。[N]は北、[S]は南、[E]は東、[W]は西を示す。方位は、遺構の中心を基準として示す。
 遺構3 5次層の埋もれ土層を調査し、欠番遺物を回収する。遺構1・2と同様に、欠番遺物を回収する。
 遺構4 5次層の埋もれ土層を調査し、欠番遺物を回収する。遺構1・2と同様に、欠番遺物を回収する。
 遺構5 5次層の埋もれ土層を調査し、欠番遺物を回収する。遺構1・2と同様に、欠番遺物を回収する。
 遺構6 5次層の埋もれ土層を調査し、欠番遺物を回収する。遺構1・2と同様に、欠番遺物を回収する。
 遺構7 5次層の埋もれ土層を調査し、欠番遺物を回収する。遺構1・2と同様に、欠番遺物を回収する。
 遺構8 5次層の埋もれ土層を調査し、欠番遺物を回収する。遺構1・2と同様に、欠番遺物を回収する。
 遺構9 5次層の埋もれ土層を調査し、欠番遺物を回収する。遺構1・2と同様に、欠番遺物を回収する。
 遺構10 5次層の埋もれ土層を調査し、欠番遺物を回収する。遺構1・2と同様に、欠番遺物を回収する。

第6表 属性項目一覽



第36図 SB269金属器出土状況図

通商手	通商名
S	通商手
SD	通商手
SK	通商手
ST	通商手
SP	通商手
SPD	通商手
SPH	通商手
SPW	通商手
SPY	通商手
SPZ	通商手

通商手	P	RP	UK	計	PR
S	100.0%				
SD	1	2	20.0%	2	100.0%
SK	1	1	10.0%	2	100.0%
ST	3	4	25.0%	7	100.0%
SP	1	1	0.0%	2	100.0%
SPD	1	1	0.0%	2	100.0%
SPH	1	1	100.0%	2	100.0%
SPW	1	1	100.0%	2	100.0%
SPY	2	1	100.0%	3	100.0%
SPZ	1	1	0.0%	2	100.0%

通商手	P	RP	UK	計	PR
S	100.0%				
SD	1	2	20.0%	2	100.0%
SK	1	1	10.0%	2	100.0%
ST	3	4	25.0%	7	100.0%
SP	1	1	0.0%	2	100.0%
SPD	1	1	0.0%	2	100.0%
SPH	1	1	100.0%	2	100.0%
SPW	1	1	100.0%	2	100.0%
SPY	2	1	100.0%	3	100.0%
SPZ	1	1	0.0%	2	100.0%

通商手	P	RP	UK	計	PR
S	100.0%				
SD	1	2	20.0%	2	100.0%
SK	1	1	10.0%	2	100.0%
ST	3	4	25.0%	7	100.0%
SP	1	1	0.0%	2	100.0%
SPD	1	1	0.0%	2	100.0%
SPH	1	1	100.0%	2	100.0%
SPW	1	1	100.0%	2	100.0%
SPY	2	1	100.0%	3	100.0%
SPZ	1	1	0.0%	2	100.0%

第九表 通商手一覧

通商手	通商名	通商手	P	RP	UK	計	PR
S	通商手	S	100.0%				
SD	通商手	S	1	2	20.0%	2	100.0%
SK	通商手	S	1	1	10.0%	2	100.0%
ST	通商手	S	3	4	25.0%	7	100.0%
SP	通商手	S	1	1	0.0%	2	100.0%
SPD	通商手	S	1	1	0.0%	2	100.0%
SPH	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
SPW	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
SPY	通商手	S	2	1	100.0%	3	100.0%
SPZ	通商手	S	1	1	0.0%	2	100.0%

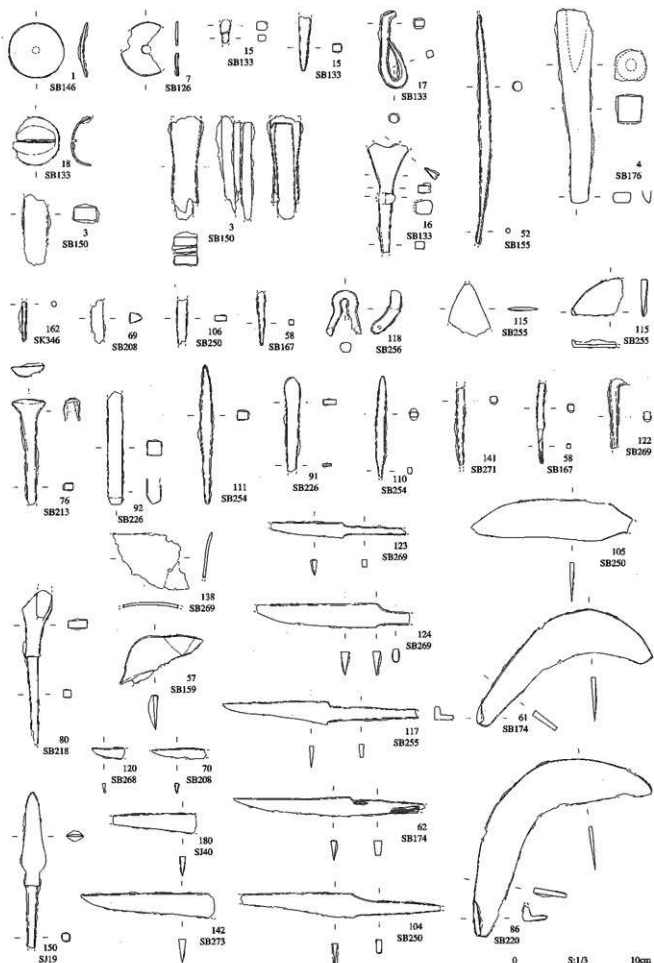
通商手	通商名	通商手	P	RP	UK	計	PR
S	通商手	S	100.0%				
SD	通商手	S	1	2	20.0%	2	100.0%
SK	通商手	S	1	1	10.0%	2	100.0%
ST	通商手	S	3	4	25.0%	7	100.0%
SP	通商手	S	1	1	0.0%	2	100.0%
SPD	通商手	S	1	1	0.0%	2	100.0%
SPH	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
SPW	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
SPY	通商手	S	2	1	100.0%	3	100.0%
SPZ	通商手	S	1	1	0.0%	2	100.0%

第九表 通商手一覧

ID	通商手	通商名	通商手	P	RP	UK	計	PR
10	S	通商手	S	100.0%				
11	S	通商手	S	1	2	20.0%	2	100.0%
12	S	通商手	S	1	1	10.0%	2	100.0%
13	S	通商手	S	3	4	25.0%	7	100.0%
14	S	通商手	S	1	1	0.0%	2	100.0%
15	S	通商手	S	1	1	0.0%	2	100.0%
16	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
17	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
18	S	通商手	S	2	1	100.0%	3	100.0%
19	S	通商手	S	1	1	0.0%	2	100.0%
20	S	通商手	S	1	1	0.0%	2	100.0%
21	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
22	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
23	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
24	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
25	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
26	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
27	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
28	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
29	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
30	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%

ID	通商手	通商名	通商手	P	RP	UK	計	PR
31	S	通商手	S	100.0%				
32	S	通商手	S	1	2	20.0%	2	100.0%
33	S	通商手	S	1	1	10.0%	2	100.0%
34	S	通商手	S	3	4	25.0%	7	100.0%
35	S	通商手	S	1	1	0.0%	2	100.0%
36	S	通商手	S	1	1	0.0%	2	100.0%
37	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
38	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
39	S	通商手	S	2	1	100.0%	3	100.0%
40	S	通商手	S	1	1	0.0%	2	100.0%
41	S	通商手	S	1	1	0.0%	2	100.0%
42	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
43	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
44	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
45	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
46	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
47	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
48	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
49	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%
50	S	通商手	S	1	1	100.0%	2	100.0%

第十表 全通商手一覧



第37图 金属器实测图

3 石器

1. 石器群の概要

平田本郷遺跡第4次調査及び第5次調査では住居址、竪穴状遺構、土坑、溝等の遺構が検出され、それらは伴出した石器の型式と考えられるものから、主として古代に帰属すると推定されている。しかしながら基盤層と遺構覆土の区別が困難な遺跡であったようであり、それに加え調査区の土層断面及び遺構切り合い部の土層断面が階級の制約からあまり記録されなかったようであることから、それら遺構及び遺物の取り扱いには注意が必要であるものと考えられる。石器はその多くが遺構より出土したものとされているが、住居址の欠番率が高いことや、その後の図面整理により欠番となった遺構に帰属していた遺構間接合資料構成個体も多いため、不明な点が多いといわざるを得ない(註1)。

平田本郷石器群は器種組成及び石材組成等から、竪構築材を主体として考えられる粗質石材素材分割剥落系石器群であると評価し得る。総点数799点の本石器群に対し40人日の母岩識別及び接合作業を実施したところ、接合資料85例202点(接合率25.3%)、母岩別資料90例214点を確認し得た(母岩構成率26.8%)。これら接合資料85例の内の20%に相当する17例が遺構間接合資料であり、その内の14例が直接的な切り合い関係を持たない遺構間に分布する接合資料であった。それら遺構間接合資料はすべてD区及びE区に分布することから、本項では以下D区及びE区を対象を限定した。

遺構間接合資料構成個体の帰属する遺構を対象に任意の断面図に断面投影を実施し、遺構間土層対比を実施したところ、かなり複雑な遺跡構造を呈することが明らかとなった。

2. 枠組の提示(註2)

遺構主要語元及び遺物主要語元

遺跡の構成要素である遺構と遺物について、それぞれの調査精度及びその質量の数値化を試みたものである。稀少な遺構や遺物の有無が決まりがちな遺跡の評価であるが、これらのデータを蓄積することにより、より客観的な評価が可能になるものと考えられる。

石器の認定

従来使用されてきた機能名称は用いず、なおかつそれぞれのタクソンについての分類基準、すなわちクライテリオンを明示するように努めた。広義の石器については「素材獲得技術痕跡の認められる個体」もしくは「出土状況等から人為的意図の想定し得る個体」と仮設した。狭義の石器については「素材獲得技術痕跡及び二次加工技術痕跡の複合体」と仮設した。そして、二次加工の有無という定性的クライテリオンにより分離し得る、素材獲得技術構造及び二次加工技術構造というレベルの異なる構造の関係、すなわち構造間構造を石器製作技術システムと仮設した。

単位石器群の設定

時空間的に限定された調査区内における遺構-遺物関係論としての遺跡構造論の把握を目的とし、資料操作の基本的単位を遺構より出土した個体群、すなわち遺構単位石器群とした。遺物出土状況図を提示し得た遺構単位石器群については遺物取り上げ時に記録した標高最高値及び標高最低値の中央値を算出して任意の断面図に投影し、原則として標高中央値で帰属層準を推定した。厳密には全石器群を層準単位で把握すべきであるが、本項では遺構間接合資料構成個体のみ帰属層準の推定を行った。

接合状況による個体分離順序の確定

接合資料は2個体が接合したのみでは同一の母岩がそれぞれの出土位置に分布したことの証明に過ぎないが、3個体以上が接合した場合、その分離順序が確定する場合がある。それは別々の加撃による分離面が2面以上接する場合で、単純化するとT字状に3個体以上が接合した場合の多くがそれにあたる。これをT接合と仮設しておきたい。それに対し、3個体以上が接合しても分離順序が確定し得ないか、もしくは3個体以上が同時に分離したことが確定する場合がある。それは同時に2面以上の接合面が生じている場合で、単純化するとY字状ないしはX字状に3個体以上が接合した場合の多くがそれにあたる。これをX接合と仮設しておきたい。TX接合は石器接合関係のみならず、土器接合関係においても成立するものと考えられる(註3)。

遺構間土層対比

分層発掘調査もしくは断面投影により遺物群を遺構内土層単位にまで細分し、遺構切り合い関係、すなわち土層堆積順序という通時的関係性において、共時的関係性としての遺物の接合関係及び、接合関係という共時的関係性内におけるさらにマイクロな通時的関係性として接合資料分離順序を位置付け、遺跡構造を把握する方法と仮設した。切り合い関係を持たない遺構同士の遺構間接合資料が得られた場合、切り合い関係を持たない遺構間の土層を対比し得る。さらに3個体以上がT接合した場合、遺物分離順序から切り合い関係を持たない遺構間の土層堆積順序を検討し得る。

3.対象遺構群概観

本項では遺構間接合資料構成個体が出土した遺構を対象遺構とした。本来的には間接的に切り合う遺構及び、単独資料のみが出土した遺構、さらには自然露のみが出土した遺構まで検討対象にすべきであるが、対象遺構と直接的に切り合うと推定される遺構までに限定して対象遺構群(Unit)と仮称した。すなわち、遺構間接合資料出土遺構とそれに直接的に切り合う遺構のすべてを任意のUnitとし、Unit内においては遺構間接合資料が出土していない遺構同士の切り合い関係までを検討対象とした(註4)。

すべての遺構切り合い関係について、切っている遺構の最新土器型式期より、切られている遺構の最新土器型式期を引いた差分を土器型式期差と仮設しておきたい。なお土器型式期がx期～とされている場合については最古土器型式期との差分として算出したが、本来は～x期までとすべきであろう。この数値が意味するものは切り合う遺構間における土器型式期の開きであり、遺構切り合い関係と土器型式期とに矛盾がなければ正の値となり、逆に矛盾が生じていれば負の値となるものと考えられる。

そして各Unit毎にすべての土器型式期差を加算した値を、そのUnit全体の土器型式期差と仮設しておきたい。加算方式では整合性も、逆に非整合性も上乘せされることとなる。今後は加算方式とは別に、平均や標準偏差等でも試行してみる必要があるものと考えられる。さらに、石器分離順序が確定した遺構間接合資料により結合される切り合いを持たない遺構間についても、石器分離順を遺構切り合い関係に次ぐものとして評価し得ることから土器型式期差を算出し得る。住居の切り合い関係等、地層崖重の法則から導かれる土層の前後関係から相対的に仮設されるべきものが土器型式であることから、土器型式期差を土器型式期危険値として仮設しておきたい(註5)。

第1号対象遺構群:Unit01

わずかに切り合うSB161及びSB162より構成される。Hsa207R207がそれぞれの竈と考えられる位置に分布する。断面投影での帰属層序は最上層となっているが、両個体共に竈構築材であった可能性がある。Hsa210M210はSB161では住居址覆土上、SB162では竈と考えられる位置に分布する。土器型式期差は±0である。

第2号対象遺構群:Unit02

SB171とそれに切られるSD3-1より構成される。SD3-1は遺構統合により別の溝に統合されている。Unit10SB269とのユニット間遺構間接合資料Hsa248R248構成個体である248はSB171住居址覆土下層に分布する。接合距離は44.378mを測る。土器型式期差は±0である。

第3号対象遺構群:Unit03

SB183、SB185、SJ22、SK222より構成される。切り合い関係を持つSB185及びSJ22より遺構間接合資料構成個体が出土している。Hsa283R283はそれぞれの遺構覆土中層に分布する。Hsa285R285はSB189、SJ22及びUnit10SB269に分布し、ユニット間遺構間接合関係を有する。最長接合距離は30.592mを測る。Hsa302R302はSJ22からはUnit04SB189とのユニット間遺構間接合資料構成個体が出土している。最大接合距離は16.146mを測る。ユニット全体での土器型式期差は±0である。

第4号対象遺構群:Unit04

SB189、SB198、SB200、SK244、SP324、SP325より構成される。SB189より遺構間接合資料構成個体が出土している。Hsa302R302はUnit03SJ22とのユニット間遺構間接合資料である。接合距離は16.146mを測る。302はSB189竈底部の構築材であった可能性がある。ユニット全体での土器型式期差は+4である。

第5号対象遺構群:Unit05

SB202、SB203、SB204、SB207、SK247、SK248より構成される。SB203とSB204には直接的切り合い関係は持たないが、それぞれUnit10SB269とのユニット間遺構間接合資料であるHsa312R312、Hsa316R316が分布する。312はSB203の竈と考えられる位置に分布する。接合距離は22.259mを測る。316はSB204遺構覆土中層に分布する。接合距離は23.169mを測る。ユニット全体での土器型式期差は+3である。

第6号対象遺構群:Unit06

SB218、SB233、SD28、SJ18、SJ23、SK280、SP402、SP435より構成される。SB218にはUnit07SB254とのユニット間遺構間接合資料Hsa353R353構成個体である353が遺構覆土上層に分布する。接合距離は10.999mを測る。SB233にはUnit10SB269とのユニット間遺構間接合資料Hsa396R396構成個体である396が遺構覆土中層に分布する。接合距離は26.485mを測る。SJ23にはUnit12SJ33とのユニット間遺構間接合資料であるCoSa645R645が分布する。接合距離は18.075mを測る。ユニット全体での土器型式期差は-2である。

第7号対象遺構群:Unit07

SB217、SB225、SB226、SB254、SB255、SJ19、SP383、SP404より構成される。SB254にはUnit06SB218とのユニット間遺構間接合資料HsA353R353構成個体である480が竈と考えられる位置に分布する。接合距離は10.999mを測る。SB255にはUnit08SB243とのユニット間遺構間接合資料であるHsA426R426構成個体である502が竈と考えられる位置に分布する。接合距離は17.688mを測る。ユニット全体での土器型式期差は-4である。

第8号対象遺構群:Unit08

SB243、SD34、SJ26、SJ27、SJ28、SK301より構成される。SD34及びSK301を除くすべての遺構が欠番となっている。SB243にはUnit07SB255とのユニット間遺構間接合資料HsA426R426構成個体である426が分布する。接合距離は17.688mを測る。SJ26にはUnit10SB269とのユニット間遺構間接合資料HsA546R546構成個体である646が分布する。接合距離は12.306mを測る。ユニット全体での土器型式期差は±0である。

第9号対象遺構群:Unit09

SB206、SB213、SB252、SB253、SB256、SB267、SK267、SK268、SK320より構成される。SB253にはUnit10SB269とのユニット間遺構間接合資料Gr472R472構成個体である472が遺構覆土上層に分布する。接合距離は9.988mを測る。SK267にはUnit10SB269とのユニット間遺構間接合資料CoSa562R562構成個体である665が遺構覆土上層に分布する。接合距離は16.479mを測る。ユニット全体での土器型式期差は-11である。

第10号対象遺構群:Unit10

SB244、SB251、SB268、SB269、SB271、SD38、SD40、SK313、SK297、SK298、SK300、SK345、SK346、SP427、SP434より構成される。SB268には切り合い関係を持つSB269との遺構間接合資料Gr472R472構成個体である516が遺構覆土中層に分布する。SB269にはUnit02SB171とのユニット間遺構間接合資料HsA248R248構成個体である584、Unit03SB185及びSJ22とのユニット間遺構間接合資料HsA285R285構成個体である556、Unit05SB203とのユニット間遺構間接合資料HsA312R312構成個体である549、Unit05SB203とのユニット間遺構間接合資料HsA316R316構成個体である551、Unit06SB233とのユニット間遺構間接合資料HsA396R396構成個体である594、Unit08SJ26とのユニット間遺構間接合資料HsA546R546構成個体である546、Unit09SB253とのユニット間遺構間接合資料Gr472R472構成個体である561及び601、Unit09SK267とのユニット間遺構間接合資料CoSa562R562構成個体である562、Unit11SB273とのユニット間遺構間接合資料HsA589R589構成個体である589が、561を除いては遺構覆土中層に集中的に分布する。561のみが最下層に分布するが、石器分離順序では最も新しく分離していることが確定している。さらに、SB269断面図にはSD40がかかっているもの、断面投影の結果石筈の集中分布域にSD40の立ち上がりがかかってしまう等の問題が残る。ユニット全体での土器型式期差は算出不能である。

第11号対象遺構群:Unit11

切り合い関係を持つSB273及び、独立柱建物址構成ビットであるSP500より構成される。SB273遺構覆土下層にはUnit10SB269とのユニット間遺構間接合資料構成個体である728が分布する。接合距離は本調査区最長である52.307mを測る。土器型式期差は不明である。

第12号対象遺構群:Unit12

本ユニットはすべての遺構が欠番となっている。SB241、SJ24、SJ25、SJ33より構成される。SJ33にはUnit06SJ23とのユニット間遺構間接合資料であるCoSa645R645構成個体である657が遺構覆土下層に分布する。接合距離は18.075mを測る。ユニット全体での土器型式期差は-2である。

4.小結

本項では、石器接合資料及びその分離順序と、遺構の切り合い関係を主軸とし、遺構切り合い関係/石器分離順序/土器型式編年の三者による交差検定を試みた。しかしながら最優先されるべき遺構切り合い関係に不明な点が多かった為、一部で遺構切り合い関係を優先すれば石器分離順序及び土器型式期と矛盾が生じ、土器型式期を優先すれば遺構切り合い関係が矛盾するという結果となった。このような複雑な遺跡構造が明らかになった原因として考え得ることは、まず第一に遺構検出面の設定が困難であった可能性がある。第二に、遺構切り合い関係及びそのプランを誤認した可能性がある。第三に、土器型式期という仮設そのものが検証されていないことから、土器型式期の設定に問題がある可能性も排除できず、逆に土器型式期の設定は正しかったが使用法に問題があった可能性もある。石器接合資料は同一母岩関係の証明であり、その分離順序は図示可能で信頼性が高いものといえるが、やはりすべての軸となるのは現場段階での土層の水平/垂直分布の把握であることを再確認する結果となった(註6)。

[補註]

註1

切り合い部分の断面図及び写真があまり残されていない為、平面図のレベルより推定した部分があり、一部では遺構切り合い関係が無限循環に陥っていると考えられる部分があることをお断りしておく。なお、本石器群整理作業においては作業効率を重視し、遺構図トレース及び断面投影等のOA化を試みた。遺構原因をスキミングし、ベクタライズを実施した為、遺構原因には忠実であるが本編での遺構図と若干食い違う部分もある。また、欠番とされた遺構についても一般的な住居址の平均的なプランを大きく凌駕する長距離接合資料が含まれる遺構が存在することから、可能な限り原因に忠実にそのまま掲載した。

註2

これまでに縄貫石材素材分割剥落系石器群を対象とした平瀬遺跡報告書等に重複する部分がある為、変更の無かった項目については割愛させて頂いた部分もある(太田 2000,2001,2002)。参照して頂きたい。

註3

石器での母岩とは石器での「個体」に、個体とは「破片」にそれぞれ相当するものと考えられる。しかしながら、所謂完形ではない分離した破片状態で出土する土器片に意味を見出そうとするならば、認識し得る最小単位として「破片」を個体的に扱うべきではなかろうか。

註4

竈構築土と住居址覆土の分離が現場段階であまりなされなかったようであることから、これまでに平瀬遺跡、岡の宮遺跡等で実施した土層の遺構埋没段階/床面施設埋没段階/遺構構築段階への抽象化は行わなかった。

註5

これらすべての土器型式期差は、「層位は型式に優先する」とするならば土器型式期危険値と評価し得る。逆にもし仮に、「型式は層位に優先する」とするならば、遺構切り合い関係危険値と評価することもできる。しかしながら、地層累重の法則及び、土器型式期が分層発掘調査の結果から仮設されたものばかりとはいえないというのが現状であると考えられることから、土器型式期危険値として仮設しておきたい。土器型式の設定方法及びその設定過程が明示されることはあまり多いとはいえないものと考えられ、さらに仮設としての土器型式が何の検証もなされぬまま適用されることもままあるように思われるからである。なお、地層累重の法則から仮設すべき土器型式で、遺構切り合い関係すなわち土層の堆積順序を決定して掘削するという行為は、方法的循環に陥っている可能性が極めて高いといわざるを得ない。むしろ単純に、すべての土器を個体識別番号で管理し、出土位置及びその所属層序を把握し、すべての接合関係及びその分離順序を把握し、個体識別番号及び接合情報を実測図に反映し、それらすべての情報から遺構間土層対比を実施するものも有益なではなかろうか。遺構内土層単位にまで遺物群を細分し、その接合関係及びその分離順序から遺構間の土層を対比した時、土器型式期という単位はやや大き過ぎるきらいがある。分層段階で機能が停止するものと考えられ、また破損状態での応用の可能性が低いと考えられる土器群に対して遺構間土層対比を適用し得た時、より厳密な共時的関係を追求し得るものと考えられる。またその作業過程において、土器型式論にも有用な情報が得られるように思われる。

註6

本項においては層位は型式に優先するとしたものの、本調査区においては遺構の欠番率が高く、遺構切り合い関係を検討し得る情報も少ないことから、不明な点が多いといわざるを得ない。しかしながらそれは制約の多い緊急発掘調査の精度に起因する部分も多いものと考えられ、方法的及び論理的には問題は少ないものと考えられる。

[主要引用・参考文献]

- 内堀 団 2002 「石器・金属器」『堀の内遺跡Ⅲ』松本市教育委員会 pp9～pp13
太田 圭郎 2000 「石器」『平瀬遺跡Ⅱ』松本市教育委員会 pp93～pp122
2001 「石器」『岡の宮遺跡Ⅰ』松本市教育委員会 pp9～pp14, pp25～29
2002 「石器」『堀の内遺跡Ⅲ』松本市教育委員会 pp8
加島泰祐 2001 「調査概要とまとめ」『平出北遺跡Ⅵ』松本市教育委員会 pp10
堀 久士 2002 「石器」『新村遺跡』松本市教育委員会 pp83～pp85

凡例

- ①本調査において回収された石器及び自然産はすべて個体識別番号により管理している。個体識別番号は3桁のアラビア数字で表記した。母岩識別及び接合作業により確認された接合資料及び同一母岩資料は、それぞれを構成する先頭の個体識別番号に石材略号を冠して母岩番号とし、接合関係によって成立するグループには「R」を、同一母岩関係によって成立するグループには「M」を冠して接合番号とした。
- ②本項における層序は第4～25図での呼称と異なるものがある。対応関係が不明なものについてはUKとした。
- ③グリッドの座標はNSOEWOを原点とし、南西交点で呼称している。すべてm単位でNSが南北、EWが東西方向を表す(真北)。
- ④遺構帰属時期は第2章第3節の土器型式編年によるものと考えられる推定時期を引用した。
- ⑤第39図においては遺構間接合資料構成個体が回収された遺構を対象遺構とし、対象遺構と直接的切り合い関係を持つ遺構群をユニット(UnitU)と仮称した。なお本図での全体図は現場段階において作成された1:200のものを用いている。
- ⑥第42～49図においては遺構間接合資料が回収された遺構を断面投影の対象とした。対象遺構と直接的切り合い関係を持つ表示した。間接的切り合い関係を持つ遺構についてはほとんどが割愛してある。断面投影は原則として遺構長軸断面に対し標高最大値と標高最低値の中央値で実施し、帰属層序の推定を行った。なお、第48図Unit10においては遺構間接合資料が集中することから遺構間接合関係等は割愛してある。
- ⑦第40～51図において用いた記号は右のとおりである。

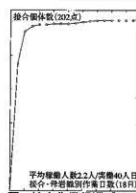


遺構略号	遺構名
SB	付土柱
SD	溝状遺構
SJ	穴状遺構
SK	土塊
SP	ピット
TK	輪出溝
TT	トレンチ
TY	溝土

調査区壁面長a	断面間取得調査区壁面長b	b/a	調査区壁面断面取得率	%
調査区壁積c	遺構壁面間の壁積測定数d	d/c	測定分布密度	x点/平米
		e/d	測定分布	x'平米/点
遺構数e	断面間取得遺構数f	f/e	遺構断面取得率	%
	断面写真撮影遺構数g	g/e	遺構断面写真取得率	%
遺構切り合い部分h	断面間取得切り合い部i	i/h	切り合い断面取得率	%
	断面写真撮影切り合い部j	j/h	切り合い断面写真取得率	%

第13表 遺構略号一覧

An: 回収個体数	799点	1 単独率	(100-接合率)	74.7%
Rn: 接合個体数	202点	接合率	(Rn/An)	25.3%
Sn: 同一母岩個体数	12点	同一母岩率	(Sn/An)	1.5%
Mn: 母岩別資料構成個体数	214点	母岩構成率	(Mn/An)	26.8%
Me: 母岩別(接合母岩)別	90(85)別	平均接合個体数	(Rn/R)	2.4
Xn: 二次元座標記録個体数	723点	二次元座標記録率	(Xn/An)	90.5%
Dn: 遺構帰属個体数	734点	遺構帰属率	(Dn/An)	96.9%



第11表 遺構主要諸元

第38図 接合作業経路グラフ

石材略号	石材名
As	火山岩
Cr	滑り礫灰岩
Di	閃緑岩
GrAp	半花崗岩
Gr	花崗岩
CoSa	凝灰砂岩
Sa	砂岩
HsA	凝灰岩
Sh	頁岩
MeTu	変質凝灰岩
Tu	凝灰岩
SI	粘板岩
Ch	チャート
Ph	千枚岩
CrSc	結晶片岩
MiSc	凝晶片岩
Ho	ホルンフェルス
Qu	石英
PC	凝石器母岩
WS	砥石状石

第12表 遺物(石器群)主要諸元

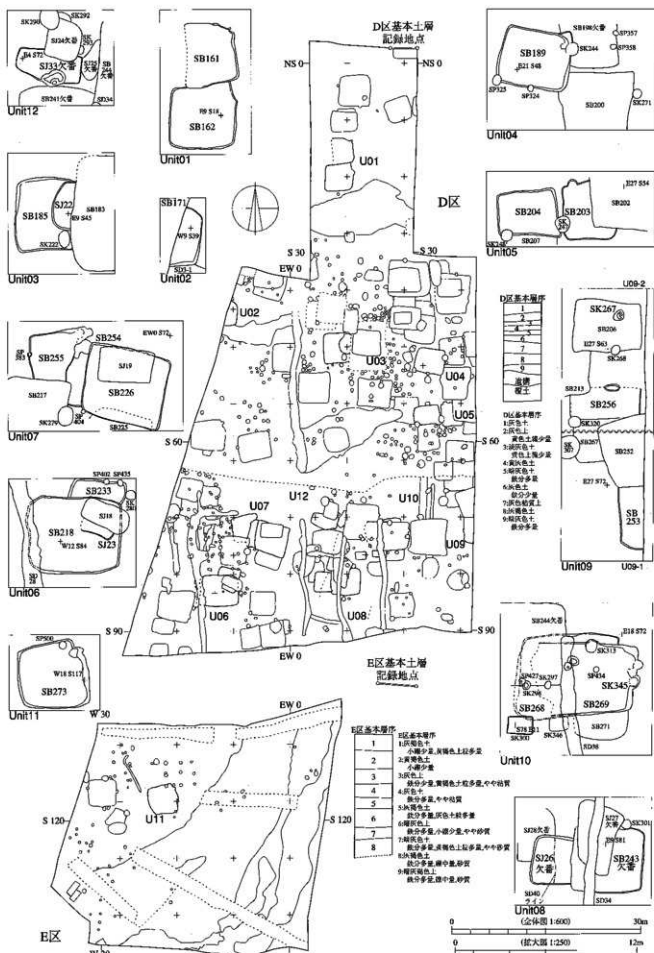
器種略号	器種名	仮定義
C	石核	刃割調整の痕跡としての刃割痕が認められる個体
F	剥片	刃割調整の痕跡としての刃割痕が認められる個体
RF	二次加工ある剥片	二次加工の施された剥片
P	鏃	刺刺、射鏃、研鏃、敲打、折れいずれの痕跡も認められない個体
PT	鏃片	自然凸による刃割の痕跡が認められる個体
PT1	鏃片1類	刃割及び折り取りもしくは折れの痕跡が認められる個体
PT2	鏃片2類	加熱による刃割の痕跡が認められる個体
PT3	鏃片3類	折り取りもしくは折れの痕跡及び刃割痕跡の両者が認められる個体
PTC	鏃片接合	PT1、PT2、PT3のいずれかを素材とし、刺刺、研鏃、敲打技術により凸面の形成された個体
P1	礫石器1類	礫を素材とし、凸面に敲打技術が施されたか、もしくは研磨技術により凸面の形成された個体
P2	礫石器2類	礫を素材とし、凸面に研磨技術が施されたか、もしくは研磨技術により凸面の形成された個体
P3	礫石器母岩	礫を素材とし、研磨、敲打、または研磨技術でもが假令して認められる個体
WS	砥石状石	平坦面に研磨技術が施されたか、もしくは研磨技術により平坦面の形成された個体

第14表 石材略号一覧

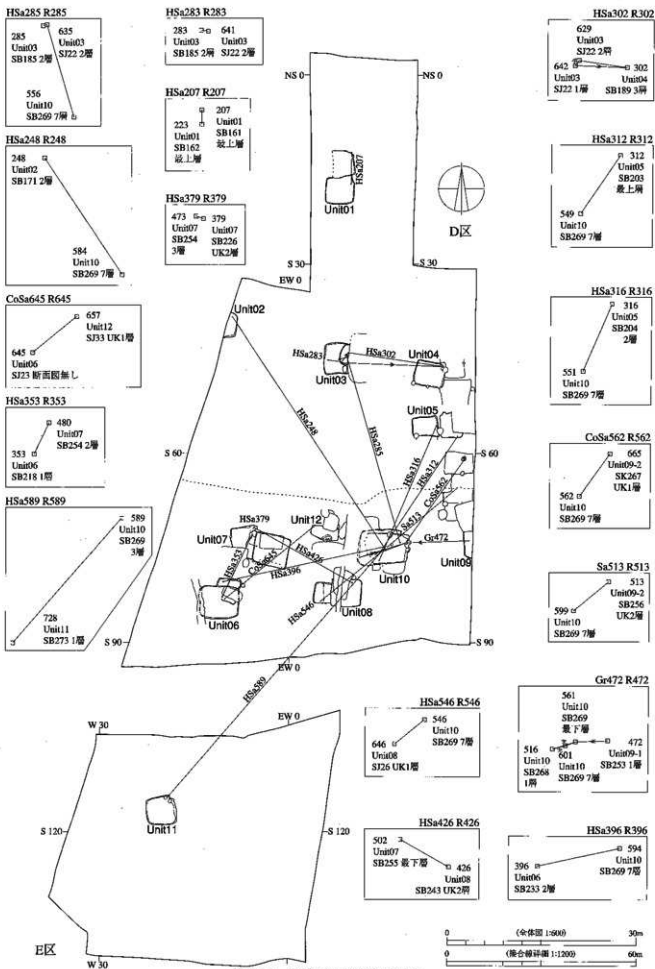
第15表 器種略号一覧

石材略号	C	F	RF	P	PT	PT1	PT2	PT3	PTC	P1	P2	PC	Ws	計	接合個体数	接合率	石材略号	
An						2		10	4					16	3	50.0%	An	
Cr							2		1					3			Cr	
Di									1	1				2			Di	
GrAp													1	2	4		GrAp	
Gr						11	2	17	5					35	6	17.1%	Gr	
CoSa				2	13	1	4	1						21	8	38.1%	CoSa	
Sa				2	13				1					6	22	4	18.2%	Sa
HsA	9			10	52	232	37	161	133	6				640	164	25.6%	HsA	
Sh					2	1								3	4		Sh	
MeTu	1				2									3	2	50.0%	MeTu	
Tu														1	1		Tu	
SI						3								5	8	7	87.5%	SI
Ch					1	4	2		1	1				9	1		Ch	
Ph														1	1		Ph	
CrSc					1									1	1		CrSc	
MiSc														1	1		MiSc	
Ho					2	3	9	3	2	4				21	3	14.3%	Ho	
Qu		2		2	1									5	5		Qu	
計	10	2	1	13	70	286	43	196	155	6	1	1	15	799	202	25.3%	計	
接合個体数	1				3	85	8	74	25					6	202			
接合率	10.0%				4.3%	29.7%	18.6%	37.8%	16.1%					40.0%	25.3%			
石材略号	C	F	RF	P	PT	PT1	PT2	PT3	PTC	P1	P2	PC	Ws	計				

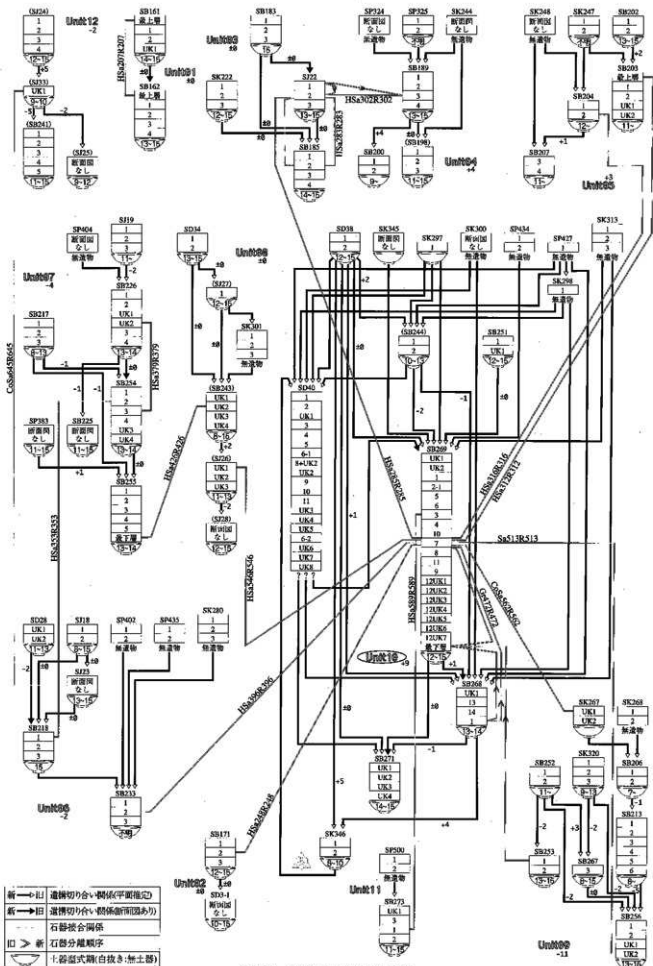
第16表 石材単位器種別



第39图 遺構間接合資料出土遺構分布图

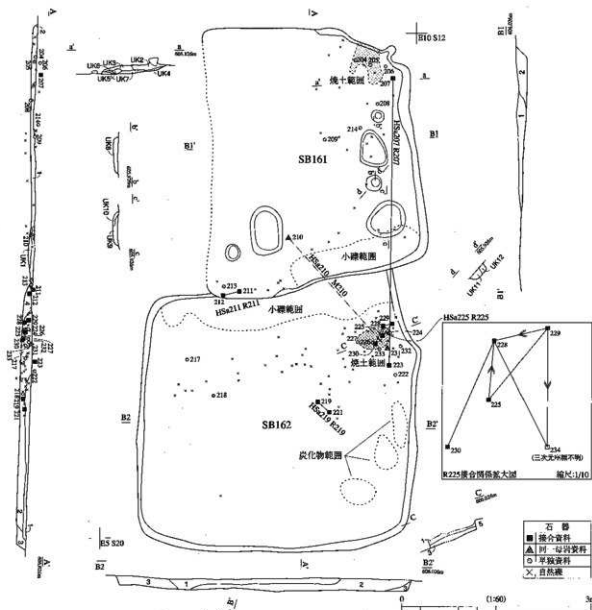


第40図 遺構間接合資料分布図

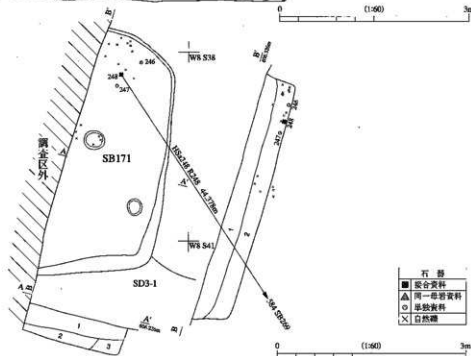


第41図 遺構間土層対比模式図

Unit01

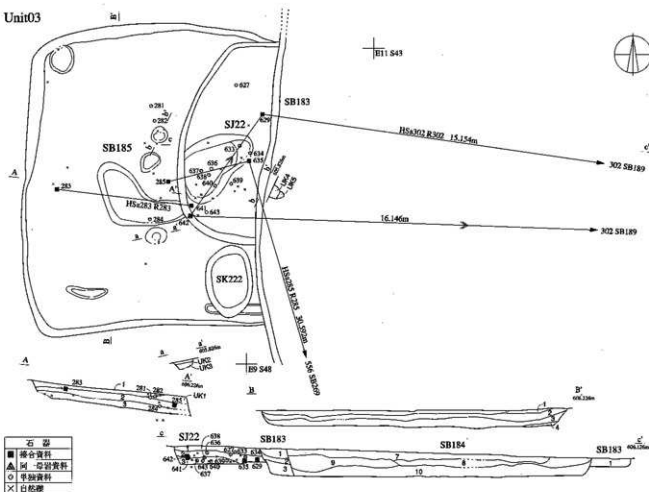


Unit02

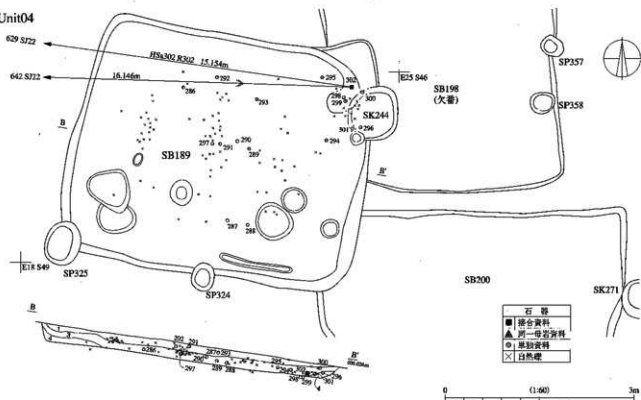


第42図 石器出土状況図1(Unit01,Unit02)

Unit03

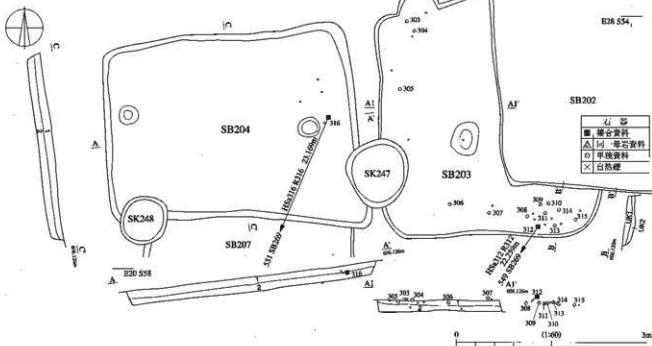


Unit04

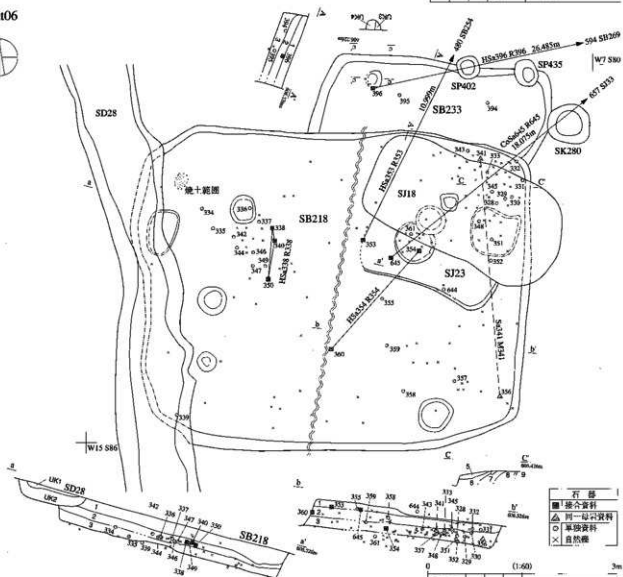


第43図 石器出土状況図2(Unit03,Unit04)

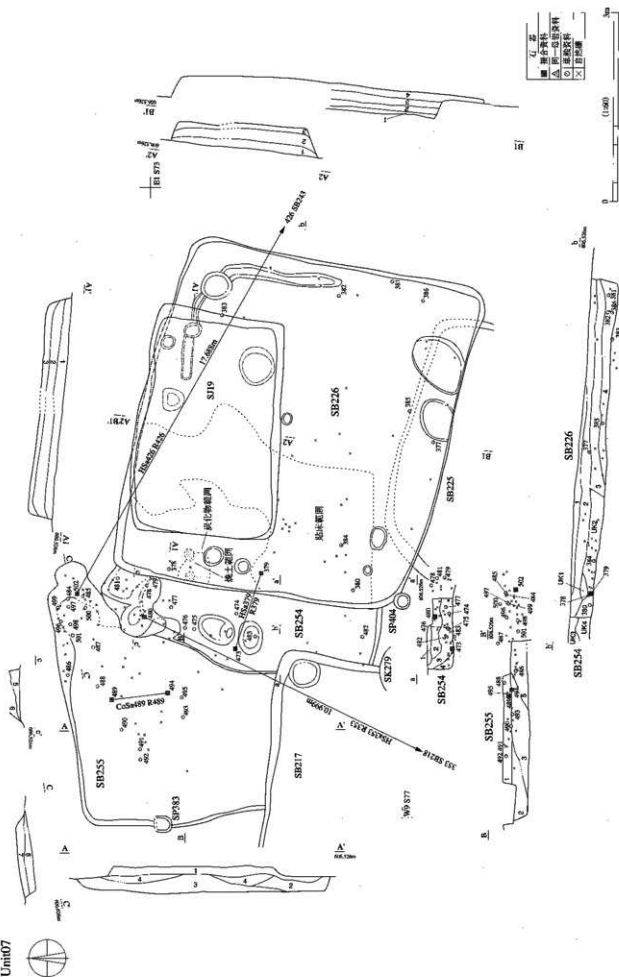
Unit05



Unit06

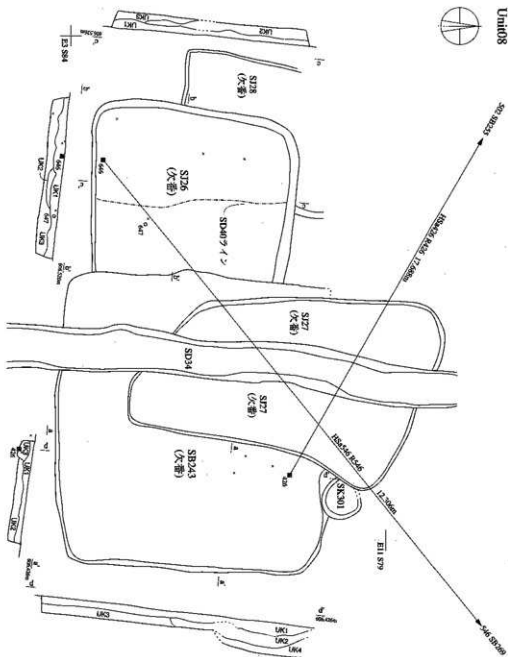


第44図 石器出土状況図3(Unit05,Unit06)

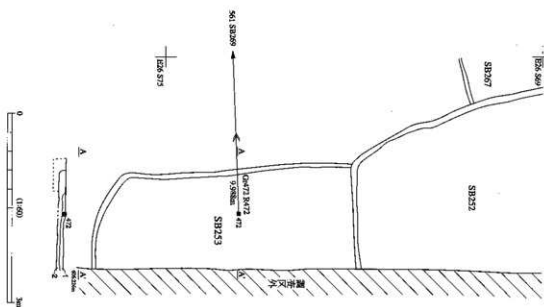


第45圖 石器出土狀況圖(Unit07)

Unit08



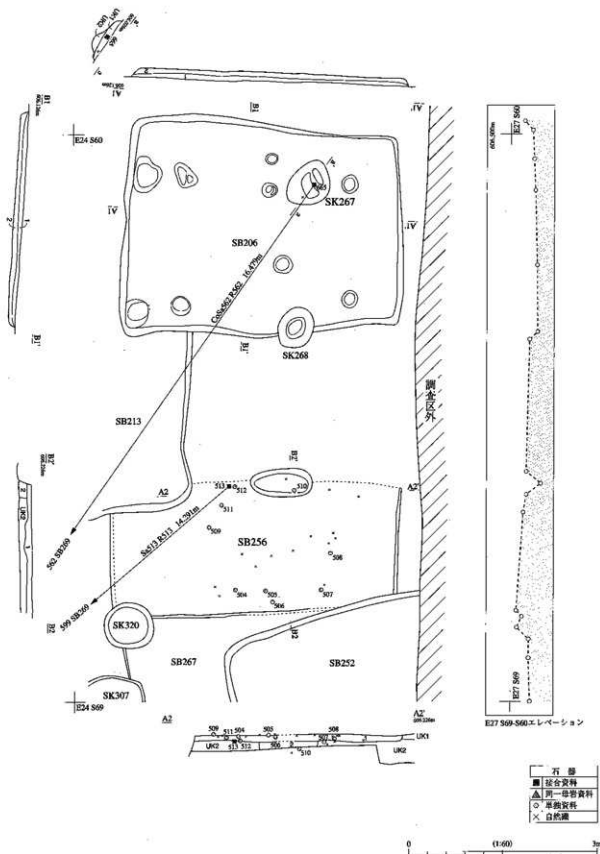
Unit09-1



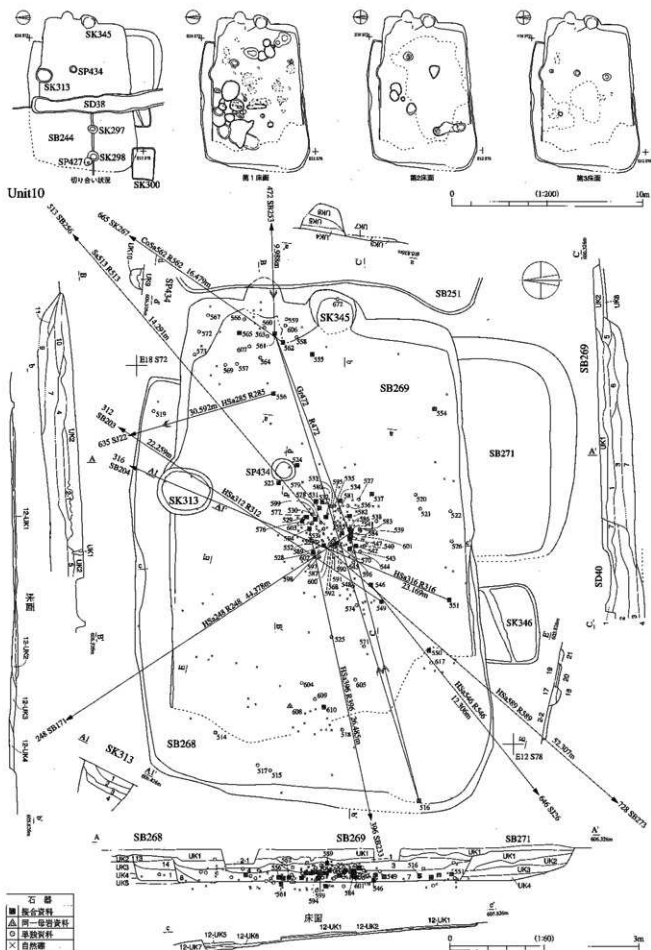
石室	
■	掘込基礎
▲	穴二層基礎
○	基礎石
×	石積

石室	
■	掘込基礎
▲	穴二層基礎
○	基礎石
×	石積

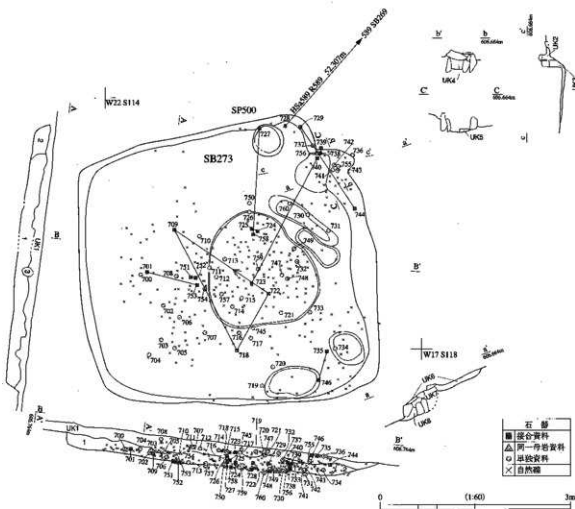
第46図 石器出土状況図5(Unit08, Unit09-1)



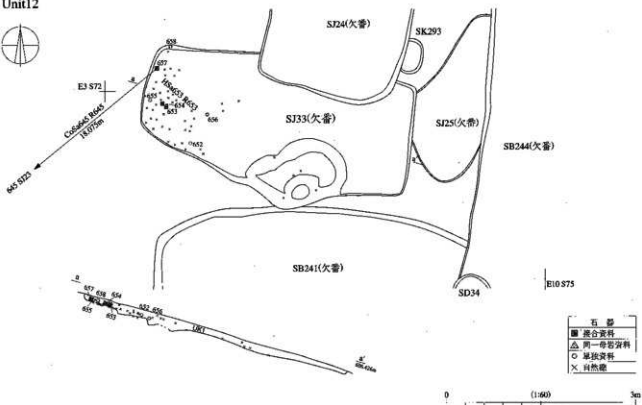
第47図 石器出土状況図6(Unit09-2)



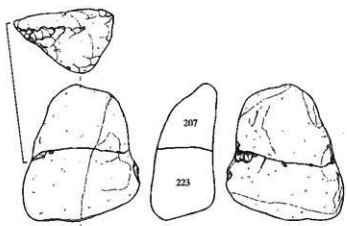
Unit11



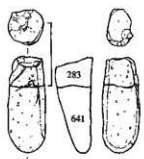
Unit12



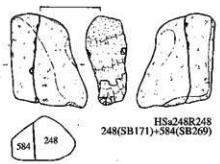
第49图 石器出土状況图8(Unit11,Unit12)



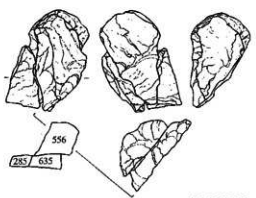
Hs207R207
207(SB161)+223(SB162)



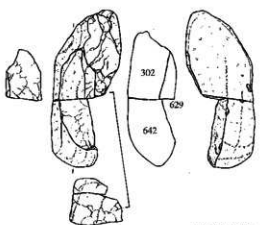
Hs283R283
283(SB185)+641(SJ22)



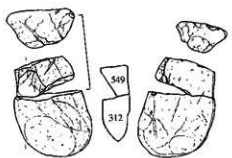
Hs248R248
248(SB171)+584(SB269)



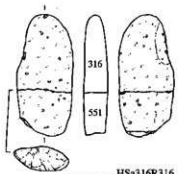
Hs285R285
285(SB185)+556(SB269)+635(SJ22)



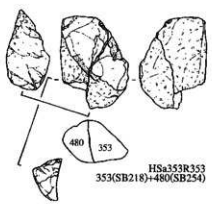
Hs302R302
642(SJ22)+(302(SB189)+629(SJ22))



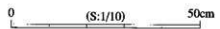
Hs312R312
312(SB203)+549(SB269)



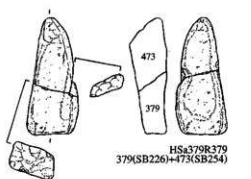
Hs316R316
316(SB204)+551(SB269)



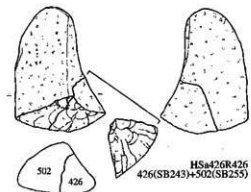
Hs353R353
353(SB218)+480(SB254)



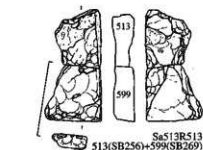
第50図 石器接合資料 (その1)



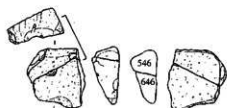
Hs379R379
379(SB226)+473(SB254)



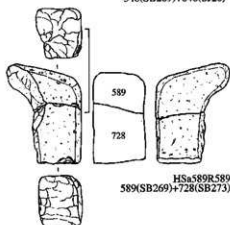
Hs426R426
426(SB243)+502(SB255)



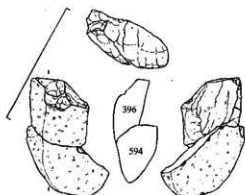
Sa513R513
513(SB256)+599(SB269)



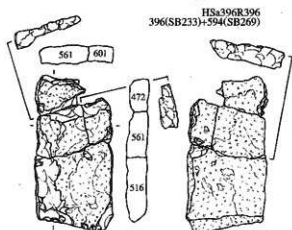
Hs546R546
546(SB269)+646(SJ26)



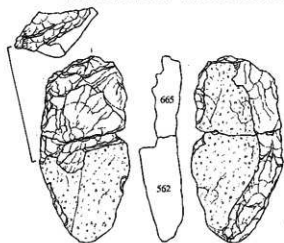
Hs589R589
589(SB269)+728(SB273)



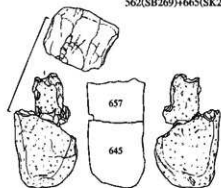
Hs396R396
396(SB233)+594(SB269)



Gr472R472
472(SB253)/516(SB268)→(561(SB269)+601(SB269))



CoSa562R562
562(SB269)+665(SK267)



CoSa645R645
645(SJ23)+657(SJ33)

0 50cm
(S:1/10)

第51圖 石器接合資料(その2)

第20表 石器属性一覧(藏品番単位)

ID	地区	遺跡1	遺跡2	房名	経緯	材質	心材	用途	重さ	備考
001 AF	SB145	掘土	未確定	W	13.8 S	SX001	R000	未確認		
002 AF	SB145	掘土	未確定	W	13.8 S	SX001	R000	未確認		
003 AF	SB145	掘土	未確定	W	6.3 S	SX001	R000	未確認		
004 AF	SB145	掘土	未確定	W	3.2 S	SX001	R000	未確認		
005 AF	SB146	掘土	未確定	PTC	13.2 34.6E			未確認		
006 AF	SB150	掘土	未確定	W	22.0 34.0E			未確認		
007 BF	SB124 No.4	未確定	PTC	32.90	H5A			未確認		
008 BF	SB124 No.5	未確定	PTC	12.50	H5A			未確認		
009 BF	SB124 No.6	未確定	PTC	29.8	H5A	HS009	R000	未確認		
010 BF	SB124 No.7	未確定	PTC	88.40	H5A	HS010	R010	未確認		
011 BF	SB124 No.8	未確定	PTC	71.80	H5A			未確認		
012 BF	SB124 No.9	未確定	PTC	71.00	H5A	HS009	R009	未確認		
013 BF	SB124 No.10	未確定	PTC	24.50	H5A			未確認		
014 BF	SB124 No.11	未確定	PTC	56.00	H5A			未確認		
015 BF	SB124 No.12	未確定	PTC	23.50	H5A	HS010	R010	未確認		
016 BF	SB124 No.13	未確定	PTC	28.15	H5A			未確認		
017 BF	SB126 No.1	未確定	PTC	12.65	H5A			未確認		
018 BF	SB126 No.2	未確定	PTC	64.00	CoSa			未確認		
019 BF	SB126 No.4	未確定	PTC	13.66	H5A			未確認		
020 BF	SB126 No.7	未確定	PTC	18.40	H5A			未確認		
021 BF	SB126 No.14	未確定	PTC	14.70	An			未確認		
022 BF	SB127 No.4	未確定	PTC	22.40	H5A			未確認		
023 BF	SB127 No.5	未確定	PTC	15.48	H5A			未確認		
024 BF	SB127 No.6	未確定	PTC	54.10	H5A			未確認		
025 BF	SB127 No.7	未確定	PTC	99.40	H5A			未確認		
026 BF	SB127 No.8	未確定	PTC	75.00	H5A			未確認		
027 BF	SB127 No.9	未確定	PTC	37.00	H5A	HS027	R027	未確認		
028 BF	SB127 No.10	未確定	PTC	10.00	H5A	HS027	R027	未確認		
029 BF	SB127 No.11	未確定	PTC	102.20	H5A			未確認		
030 BF	SB127 No.12	未確定	PTC	17.20	H5A			未確認		
031 BF	SB127 No.13	未確定	PTC	45.50	Gr			未確認		
032 BF	SB127 No.14	未確定	PTC	39.60	H5A			未確認		
033 BF	SB127 No.15	未確定	PTC	29.05	H5A			未確認		
034 BF	SB127 No.16	未確定	PTC	13.20	H5A			未確認		
035 BF	SB127 No.17	未確定	PTC	139.20	H5A			未確認		
036 BF	SB127 No.18	未確定	W	32.20	Si			未確認		
037 BF	SB127 No.19	未確定	PTC	60.00	H5A			未確認		
038 BF	SB129 No.1	未確定	PTC	60.00	H5A	HS038	R038	未確認		
039 BF	SB129 No.2	未確定	PTC	44.80	H5A	HS038	R038	未確認		
040 BF	SB129 No.3	未確定	PTC	35.20	H5A			未確認		
041 BF	SB132 No.5	未確定	PTC	67.80	H5A	HS041	R041	未確認		
042 BF	SB132 No.6	未確定	PTC	66.00	H5A	HS041	R041	未確認		
043 BF	SB132 No.7	未確定	PTC	87.00	H5A			未確認		
044 BF	SB132 No.8	未確定	PTC	12.70	H5A			未確認		
045 BF	SB132 No.9	未確定	PTC	11.50	H5A			未確認		
046 BF	SB132 No.10	未確定	PTC	37.20	H5A			未確認		
047 BF	SB132 No.11	未確定	PTC	136.50	H5A			未確認		
048 BF	SB132 No.12	未確定	PTC	30.50	H5A			未確認		
049 BF	SB133 No.1-1	未確定	PTC	29.80	H5A			未確認		
050 BF	SB133 No.1-2	未確定	PTC	83.60	H5A			未確認		
051 BF	SB133 No.2	未確定	PTC	75.20	H5A			未確認		
052 BF	SB133 No.3	未確定	PTC	341.50	H5A			未確認		
053 BF	SB133 No.6	未確定	PTC	89.40	H5A			未確認		
054 BF	SB133 No.7	未確定	PTC	13.60	Gr			未確認		
055 BF	SB133 No.8	未確定	PTC	96.00	H5A			未確認		
056 BF	SB133 No.9	未確定	PTC	31.20	H5A			未確認		
057 BF	SB133 No.10	未確定	PTC	18.52	H5A			未確認		
058 BF	SB133 No.11	未確定	PTC	12.80	H5A			未確認		
059 BF	SB133 No.12	未確定	PTC	31.60	H5A			未確認		
060 BF	SB133 No.13	未確定	PTC	30.00	H5A			未確認		
061 BF	SB133 No.14	未確定	PTC	43.70	H5A			未確認		
062 BF	SB133 No.15	未確定	PTC	34.40	H5A			未確認		
063 BF	SB133 No.16	未確定	PTC	14.50	H5A			未確認		
064 BF	SB133 No.17	未確定	PTC	68.00	H5A			未確認		
065 BF	SB133 No.20	未確定	PTC	87.40	H5A			未確認		
066 BF	SB138 No.8	未確定	PTC	200.00	H5A			未確認		
067 BF	SB138 No.9	未確定	PTC	94.60	H5A			未確認		
068 BF	SB138 No.10	未確定	PTC	31.50	H5A			未確認		
069 BF	SB138 No.11	未確定	PTC	77.80	H5A			未確認		
070 BF	SB138 No.12	未確定	PTC	239.40	H5A			未確認		
071 BF	SB140 No.15	未確定	PTC	29.20	H5A			未確認		
072 BF	SB140 No.16	未確定	PTC	36.60	H5A			未確認		
073 BF	SB140 No.17	未確定	PTC	167.00	H5A			未確認		
074 BF	SB140 No.18	未確定	PTC	83.60	H5A			未確認		
075 BF	SB140 No.19	未確定	PTC	327.60	H5A			未確認		
076 BF	SB140 No.20	未確定	PTC	35.50	H5A			未確認		
077 BF	SB140 No.21	未確定	PTC	30.00	H5A			未確認		
078 BF	SB140 No.22	未確定	PTC	69.00	H5A	HS078	R078	未確認		
079 BF	SB140 No.23	未確定	PTC	56.20	H5A			未確認		
080 BF	SB140 No.24	未確定	PTC	426.00	Gr			未確認		
081 BF	SB140 No.25	未確定	PTC	540.00	H5A			未確認		
082 BF	SB140 No.26	未確定	PTC	57.20	H5A	HS082	R082	未確認		
083 BF	SB140 No.27	未確定	PTC	229.00	H5A			未確認		
084 BF	SB140 No.28	未確定	PTC	479.00	H5A	HS084	R084	未確認		
085 BF	SB140 No.29	未確定	PTC	315.00	H5A	HS085	R085	未確認		
086 BF	SB140 No.38	未確定	PTC	530.00	H5A			未確認		
087 BF	SB140 No.40	未確定	PTC	157.80	H5A	HS085	R085	未確認		
088 BF	SB140 No.41	未確定	PTC	81.20	H5A			未確認		
089 BF	SB140 No.42	未確定	PTC	42.20	H5A			未確認		
090 BF	SB140 No.43	未確定	PTC	74.00	H5A	HS083	R083	未確認		
091 BF	SB140 No.45	未確定	PTC	1360.00	H5A			未確認		
092 BF	SB140 No.46	未確定	PTC	21.56	H5A	HS085	R085	未確認		
093 BF	SB140 No.47	未確定	PTC	30.00	H5A	HS084	R084	未確認		
094 BF	SB140 No.48	未確定	PTC	63.00	H5A	HS085	R085	未確認		
095 BF	SB140 No.49	未確定	PTC	11.720	H5A			未確認		
096 BF	SB140 No.50	未確定	PTC	233.00	H5A	HS078	R078	未確認		
097 BF	SB140 No.51	未確定	PTC	21.80	H5A			未確認		
098 BF	SB140 No.52	未確定	PTC	22.00	H5A			未確認		
099 BF	SB140 No.53	未確定	PTC	22.20	H5A			未確認		
100 BF	SB140 No.54	未確定	PTC	14.50	H5A	HS085	R085	未確認		

101 BF	SB140 No.55	未確定	PTC	233.00	H5A			未確認		
102 BF	SB144 No.1	未確定	PTC	63.40	H5A			未確認		
103 BF	SB144 No.2	未確定	PTC	480.00	Co			未確認		
104 BF	SB144 No.3	未確定	PTC	456.00	H5A			未確認		
105 BF	SB144 No.4	未確定	PTC	71.80	H5A	HS018	R105	未確認		
106 BF	SB144 No.5	未確定	PTC	79.00	H5A			未確認		
107 BF	SB144 No.6	未確定	PTC	135.20	H5A	HS018	R105	未確認		
108 BF	SB144 No.7	未確定	PTC	53.00	H5A			未確認		
109 BF	SB144 No.8	未確定	PTC	25.00	H5A			未確認		
110 BF	SB144 No.9	未確定	PTC	22.60	H5A	HS018	R105	未確認		
111 BF	SB144 No.10	未確定	PTC	18.60	H5A			未確認		
112 BF	SB144 No.11	未確定	PTC	409.00	H5A			未確認		
113 BF	SB144 No.12	未確定	PTC	11.00	H5A			未確認		
114 BF	SB144 No.13	未確定	PTC	37.50	H5A			未確認		
115 BF	TK	未確定	PTC	2.9	Si			未確認		
116 BF	TK	未確定	PTC	39.40	H5A			未確認		
117 CF	SB152 No.17	未確定	PTC	67.50	H5A			未確認		
118 CF	SB152 No.18	未確定	PTC	128.40	H5A			未確認		
119 CF	SB152 No.19	未確定	PTC	646.00	H5A			未確認		
120 CF	SB152 No.20	未確定	PTC	99.50	Pb			未確認		
121 CF	SB152 No.21	未確定	PTC	825.00	H5A	HS121	R121	未確認		
122 CF	SB152 No.22	未確定	PTC	108.40	H5A			未確認		
123 CF	SB152 No.23	未確定	PTC	144.40	H5A			未確認		
124 CF	SB152 No.24	未確定	PTC	1400.00	Gr			未確認		
125 CF	SB152 No.25	未確定	PTC	56.00	H5A			未確認		
126 CF	SB152 No.26	未確定	PTC	84.00	H5A			未確認		
127 CF	SB152 No.27	未確定	PTC	37.00	H5A			未確認		
128 CF										

ID	地区	番地	番種	用途	坪数	構造	完成	地目	用途	面積	坪数	用途	面積
201	DX	SB154	No.7	未確定PT	351	単独		R300	未確定PT	351	R300	単独	
202	DX	SB155	No.8	未確定PT	165.0	115a	単独		未確定PT	165.0	115a	単独	
203	DX	SB156	No.9	未確定PT	4.4	Sh	単独		未確定PT	4.4	Sh	単独	
204	DX	SB161	No.3	未確定PT	92.8	115a	単独		未確定PT	92.8	115a	単独	
205	DX	SB161	No.6	未確定PT	279.0	115a	単独		未確定PT	279.0	115a	単独	
206	DX	SB161	No.8	未確定PT	42.0	115a	単独		未確定PT	42.0	115a	単独	
207	DX	SB161	No.8	上層 PT	91.0	115a	115a207	R307	未確定PT	91.0	115a	115a207	
208	DX	SB161	No.9	未確定PT	343.0	115a	単独		未確定PT	343.0	115a	単独	
209	DX	SB161	No.10	未確定PT	104.0	115a	単独		未確定PT	104.0	115a	単独	
210	DX	SB161	No.13	未確定PT	84.0	115a	115a210	M210	未確定PT	84.0	115a	115a210	
211	DX	SB161	No.17	未確定PT	560.0	115a	115a211	R211	未確定PT	560.0	115a	115a211	
212	DX	SB161	No.13	未確定PT	221.0	115a	115a211	R211	未確定PT	221.0	115a	115a211	
213	DX	SB161	No.14	未確定PT	350.0	115a	単独		未確定PT	350.0	115a	単独	
214	DX	SB161	No.15	未確定PT	135.0	115a	単独		未確定PT	135.0	115a	単独	
215	DX	SB164	No.12	未確定PT	19.8	M25a	単独		未確定PT	19.8	M25a	単独	
216	DX	SB161	止	未確定PT	33.0	115a	単独		未確定PT	33.0	115a	単独	
217	DX	SB162	No.1	未確定PT	108.0	115a	単独		未確定PT	108.0	115a	単独	
218	DX	SB162	No.2	未確定PT	143.0	115a	単独		未確定PT	143.0	115a	単独	
219	DX	SB162	No.6	未確定PT	118.0	115a	115a219	R219	未確定PT	118.0	115a	115a219	
220								欠番					
221	DX	SB162	No.7	未確定PT	335.0	115a	115a219	R219	未確定PT	335.0	115a	115a219	
222	DX	SB162	No.8	未確定PT	116.0	115a	単独		未確定PT	116.0	115a	単独	
223	DX	SB162	No.8	上層 PTC	1490.0	115a	115a207	R207	未確定PT	1490.0	115a	115a207	
224	DX	SB162	No.10	未確定PT	397.0	Sh	単独		未確定PT	397.0	Sh	単独	
225	DX	SB162	No.13	未確定PT	62.0	115a	115a225	R225	未確定PT	62.0	115a	115a225	
226	DX	SB162	No.14	未確定PT	104.0	115a	単独		未確定PT	104.0	115a	単独	
227	DX	SB162	No.15	未確定PT	12.0	115a	115a225	R225	未確定PT	12.0	115a	115a225	
228	DX	SB162	No.16	未確定PT	1040.0	115a	115a225	R225	未確定PT	1040.0	115a	115a225	
229	DX	SB162	No.17	未確定PT	142.0	115a	115a225	R225	未確定PT	142.0	115a	115a225	
230	DX	SB162	No.20	未確定PT	23.0	115a	115a225	R225	未確定PT	23.0	115a	115a225	
231	DX	SB162	No.21	未確定PT	233.0	115a	115a210	M210	未確定PT	233.0	115a	115a210	
232	DX	SB162	No.18	未確定C	381.0	Gr	単独		未確定C	381.0	Gr	単独	
233	DX	SB162	No.19	未確定PT	81.0	Gr	単独		未確定PT	81.0	Gr	単独	
234	DX	SB162		未確定PT	88.5	115a	115a225	R225	未確定PT	88.5	115a	115a225	
235								欠番					
236								欠番					
237	DX	SB167	No.6	未確定PT	234.0	115a	単独		未確定PT	234.0	115a	単独	
238	DX	SB167	No.7	未確定PT	92.0	115a	単独		未確定PT	92.0	115a	単独	
239	DX	SB167	No.8	未確定PT	536.0	115a	単独		未確定PT	536.0	115a	単独	
240	DX	SB167	No.9	未確定PT	138.0	115a	単独		未確定PT	138.0	115a	単独	
241	DX	SB167	貫土	未確定P	5.3	115a	単独		未確定P	5.3	115a	単独	
242	DX	SB168	No.1	未確定PT	422.0	115a	115a242	R242	未確定PT	422.0	115a	115a242	
243	DX	SB168	No.2	未確定PT	346.0	115a	115a242	R242	未確定PT	346.0	115a	115a242	
244	DX	SB168	No.4	未確定PT	384.0	115a	単独		未確定PT	384.0	115a	単独	
245	DX	SB168	No.4	未確定PT	183.0	115a	単独		未確定PT	183.0	115a	単独	
246	DX	SB171	No.7	未確定PT	88.0	115a	単独		未確定PT	88.0	115a	単独	
247	DX	SB171	No.9	未確定PT	360.0	115a	単独		未確定PT	360.0	115a	単独	
248	DX	SB174	No.19	未確定PT	45.0	115a	115a248	R248	未確定PT	45.0	115a	115a248	
249	DX	SB174	No.26	未確定PT	35.0	115a	115a249	R249	未確定PT	35.0	115a	115a249	
250	DX	SB174	No.26	未確定PT	57.0	Sh	R250	R250	未確定PT	57.0	Sh	R250	
251	DX	SB174	No.26	未確定PT	126.0	115a	単独		未確定PT	126.0	115a	単独	
252	DX	SB174	No.17	未確定PT	27.0	115a	R250	R250	未確定PT	27.0	115a	R250	
253	DX	SB174	No.19	未確定PT	106.0	115a	単独		未確定PT	106.0	115a	単独	
254	DX	SB174	No.19	未確定PT	156.0	115a	115a249	R249	未確定PT	156.0	115a	115a249	
255	DX	SB174	No.20	未確定PT	27.0	115a	単独		未確定PT	27.0	115a	単独	
256	DX	SB174	No.21	未確定PT	73.0	Sh	R250	R250	未確定PT	73.0	Sh	R250	
257	DX	SB174	No.23	未確定PT	429.0	115a	115a249	R249	未確定PT	429.0	115a	115a249	
258	DX	SB174	No.23	未確定PT	94.0	115a	115a249	R249	未確定PT	94.0	115a	115a249	
259	DX	SB174	No.24	未確定PT	24.0	115a	115a249	R249	未確定PT	24.0	115a	115a249	
260	DX	SB174	No.25	未確定PT	115.0	115a	115a249	R249	未確定PT	115.0	115a	115a249	
261	DX	SB175	No.1	未確定PT	99.0	115a	単独		未確定PT	99.0	115a	単独	
262	DX	SB175	No.2	未確定PT	298.5	115a	単独		未確定PT	298.5	115a	単独	
263	DX	SB175	No.3	未確定PT	228.0	115a	単独		未確定PT	228.0	115a	単独	
264	DX	SB183	No.1	未確定PT	113.0	115a	単独		未確定PT	113.0	115a	単独	
265	DX	SB183	No.3	未確定PT	257.0	115a	単独		未確定PT	257.0	115a	単独	
266	DX	SB183	No.6	未確定PT	27.0	115a	115a266	R266	未確定PT	27.0	115a	115a266	
267	DX	SB183	No.7	未確定PT	156.0	115a	115a266	R266	未確定PT	156.0	115a	115a266	
268	DX	SB183	No.8	未確定PT	299.0	115a	単独		未確定PT	299.0	115a	単独	
269	DX	SB183	No.10	未確定PT	26.0	115a	単独		未確定PT	26.0	115a	単独	
270	DX	SB183	No.11	未確定PT	60.0	115a	単独		未確定PT	60.0	115a	単独	
271	DX	SB183	No.14	未確定PT	173.0	115a	単独		未確定PT	173.0	115a	単独	
272	DX	SB183	No.15	未確定PT	16.0	115a	単独		未確定PT	16.0	115a	単独	
273	DX	SB183	No.17	未確定PT	910.0	115a	単独		未確定PT	910.0	115a	単独	
274	DX	SB183	No.7	未確定PT	418.0	115a	115a274	R274	未確定PT	418.0	115a	115a274	
275	DX	SB183	No.19	未確定PT	119.0	115a	115a274	R274	未確定PT	119.0	115a	115a274	
276	DX	SB184	No.1	未確定PT	51.0	115a	単独		未確定PT	51.0	115a	単独	
277	DX	SB184	No.2	未確定PT	3220.0	Ch	単独		未確定PT	3220.0	Ch	単独	
278	DX	SB184	No.5	未確定PT	19.0	115a	単独		未確定PT	19.0	115a	単独	
279	DX	SB184	No.5	未確定PT	83.0	115a	単独		未確定PT	83.0	115a	単独	
280	DX	SB184	SW	未確定W	24.8	Gr	単独		未確定W	24.8	Gr	単独	
281	DX	SB185	No.1	未確定PT	391.0	115a	単独		未確定PT	391.0	115a	単独	
282	DX	SB185	No.4	止	10.0	115a	単独		未確定PT	10.0	115a	単独	
283	DX	SB185	No.5	未確定PT	369.0	115a	単独		未確定PT	369.0	115a	単独	
284	DX	SB185	No.7	止	63.0	115a	115a285	R285	未確定PT	63.0	115a	115a285	
285	DX	SB189	No.2	未確定PT	281.0	115a	単独		未確定PT	281.0	115a	単独	
286	DX	SB189	No.3	未確定PT	575.0	115a	単独		未確定PT	575.0	115a	単独	
287	DX	SB189	No.4	未確定PT	206.0	115a	単独		未確定PT	206.0	115a	単独	
288	DX	SB189	No.5	未確定PT	174.0	115a	単独		未確定PT	174.0	115a	単独	
289	DX	SB189	No.6	未確定PT	158.0	115a	単独		未確定PT	158.0	115a	単独	
290	DX	SB189	No.7	未確定PT	359.0	Ch	単独		未確定PT	359.0	Ch	単独	
291	DX	SB189	No.8	未確定PT	147.0	115a	単独		未確定PT	147.0	115a	単独	
292	DX	SB189	No.9	未確定C	294.0	115a	単独		未確定C	294.0	115a	単独	
293	DX	SB189	No.10	未確定PT	109.0	115a	単独		未確定PT	109.0	115a	単独	
294	DX	SB189	No.11	未確定PT	155.0	115a	単独		未確定PT	155.0	115a	単独	
295	DX	SB189	No.12	未確定PT	89.0	115a	単独		未確定PT	89.0	115a	単独	
296	DX	SB189	No.13	未確定PT	130.0	115a	単独		未確定PT	130.0	115a	単独	
297	DX	SB189	No.14	未確定PT	226.0	115a	単独		未確定PT	226.0	115a	単独	
298	DX	SB189	No.15	未確定PT	78.0	115a	単独		未確定PT	78.0	115a	単独	
299	DX	SB189	No.16	未確定PT	625.0	Gr	単独		未確定PT	625.0	Gr	単独	
300	DX	SB189	No.16	未確定PT	625.0	Gr	単独		未確定PT	625.0	Gr	単独	
301	DX	SB189	No.17	未確定PT	1270.0	115a	単独		未確定PT	1270.0	115a	単独	
302	DX	SB189	No.18	止	3	PT	3	PT	未確定PT	3	PT	3	
303	DX	SB201	No.1	未確定PT	247.0	115a	単独		未確定PT	247.0	115a	単独	
304	DX	SB201	No.2	未確定PT	634.0	115a	単独		未確定PT	634.0	115a	単独	
305	DX	SB201	No.3	未確定PT	1150.0	115a	単独		未確定PT	1150.0	115a	単独	
306	DX	SB201	No.4	未確定PT	660.0	115a	単独		未確定PT	660.0	115a	単独	
307	DX	SB201	No.5	未確定PT	632.0	Gr	単独		未確定PT	632.0	Gr	単独	
308	DX	SB201	No.6	未確定PT	340.0	115a	単独		未確定PT	340.0	115a	単独	
309	DX	SB201	No.7	未確定PT	750.0	115a	単独		未確定PT	750.0	115a	単独	
310	DX	SB201	No.8	未確定PT	2142.0	115a	単独		未確定PT	2142.0	115a	単独	
311	DX	SB201	No.8	未確定PT	1892.0	115a	単独		未確定PT	1892.0	115a	単独	
312	DX	SB201	No.10	上層 PT	5230.0	115a	115a312	R312	未確定PT	5230.0	115a	115a312	
313	DX	SB201	No.11	未確定PT	2476.0	115a	単独</						

ID	地区	道標1	道標2	府庄	石積	重量	石積	母岩	採合	備考
401	DC	SR236	No.8	赤塚	PTC	1572.0	Hs	片岩		
402	DC	SR236	No.8	赤塚	PTC	172.0	Gr	片岩		
403	DC	SR236	No.9	赤塚	PTC	438.0	Hs	片岩		
404	DC	SR236	No.10	赤塚	PTC	316.0	Gr	片岩	R04	
405	DC	SR236	No.11	赤塚	PTC	579.0	Gr	片岩	R04	
406	DC	SR236	No.12	赤塚	PTC	579.0	Hs	片岩		
407	DC	SR238	No.1	赤塚	Wa	1469.0	Se	片岩		
408	DC	SR238	No.2	赤塚	PTC	276.0	Hs	片岩		
409	DC	SR238	No.3	赤塚	PTC	146.0	Hs	片岩		
410	DC	SR238	No.4	赤塚	PTC	354.0	Hs	片岩		
411	DC	SR238	No.5	赤塚	PTC	311.0	Hs	片岩		
412	DC	SR238	No.6	赤塚	PTC	74.0	Hs	片岩		
413	DC	SR238	No.7	赤塚	PTC	135.0	Gr	片岩		
414	DC	SR238	No.8	赤塚	PTC	1464.0	Hs	片岩		
415	DC	SR238	No.9	赤塚	PTC	117.0	Hs	片岩		
416	DC	SR238	No.10	赤塚	PTC	1620.0	Hs	片岩		
417	DC	SR238	No.11	赤塚	PTC	1420.0	Hs	片岩		
418	DC	SR238	No.12	赤塚	PTC	316.0	Se	片岩		
419	DF	SR241	No.1	赤塚	PTC	244.0	Hs	片岩		
420	DC	SR241	No.2	赤塚	PTC	82.0	Hs	片岩		
421	DC	SR241	No.3	赤塚	PTC	24.0	Hs	片岩		
422	DC	SR241	No.4	赤塚	PTC	54.0	Hs	片岩		
423	DC	SR241	No.5	赤塚	PTC	172.0	Hs	片岩		
424	DC	SR241	No.6	赤塚	PTC	41.0	Hs	片岩		
425	DC	SR241	No.7	赤塚	PTC	119.0	Hs	片岩		
426	DC	SR243	No.1	赤塚	PTC	296.0	Hs	片岩	R26	
427	DC	SR244	No.1	赤塚	PTC	21.0	Ca	片岩		
428	DC	SR244	No.2	赤塚	PTC	43.4	Hs	片岩		
429	DC	SR244	No.3	赤塚	PTC	55.0	Hs	片岩		
430	DC	SR250	No.23	赤塚	PTC	1162.0	Hs	片岩	HsA431	R431
431	DC	SR250	No.24	赤塚	PTC	466.0	Hs	片岩	HsA432	R432
432	DC	SR250	No.25	赤塚	PTC	1110.0	Hs	片岩	HsA432	R432
434	DC	SR250	No.26	赤塚	PTC	1536.0	Hs	片岩		
435	DC	SR250	No.27	赤塚	PTC	136.0	Hs	片岩		
436	DC	SR250	No.28	赤塚	PTC	59.2	Hs	片岩		
437	DC	SR250	No.29	赤塚	PTC	1234.0	Hs	片岩		
438	DC	SR250	No.30	赤塚	PTC	456.0	Hs	片岩	HsA431	R431
439	DC	SR250	No.31	赤塚	PTC	176.0	Hs	片岩	HsA439	R439
440	DC	SR250	No.32	赤塚	PTC	295.0	Hs	片岩		
441	DC	SR250	No.33	赤塚	PTC	142.0	Hs	片岩		
442	DC	SR250	No.34	赤塚	PTC	105.0	Am	片岩	AmA42	R442
443	DC	SR250	No.35	赤塚	PTC	1078.0	Hs	片岩	HsA42	R442
444	DC	SR250	No.36	赤塚	PTC	394.0	Hs	片岩		
445	DC	SR250	No.37	赤塚	PTC	74.0	Hs	片岩		
446	DC	SR250	No.38	赤塚	PTC	37.0	Hs	片岩		
447	DC	SR250	No.39	赤塚	PTC	40.0	Hs	片岩		
448	DC	SR250	No.40	赤塚	PTC	157.0	Hs	片岩		
449	DC	SR250	No.41	赤塚	PTC	74.0	Hs	片岩	HsA449	R449
450	DC	SR250	No.42	赤塚	PTC	43.0	Hs	片岩	HsA449	R449
451	DC	SR250	No.43	赤塚	PTC	86.0	Hs	片岩		
452	DC	SR250	No.44	赤塚	PTC	94.0	Hs	片岩	HsA449	R449
453	DC	SR250	No.46-1	赤塚	PTC	264.0	Hs	片岩		
454	DC	SR250	No.46-2	赤塚	PTC	228.0	Am	片岩	AmA42	R442
455	DC	SR250	No.47-1	赤塚	PTC	119.0	Hs	片岩		
456	DC	SR250	No.47-2	赤塚	PTC	151.0	Hs	片岩	HsA431	R431
457	DC	SR250	No.48	赤塚	PTC	108.0	Hs	片岩		
458	DC	SR250	No.49	赤塚	PTC	117.0	Am	片岩	AmA42	R442
459	DC	SR250	No.50-1	赤塚	P	91.0	Hs	片岩		
460	DC	SR250	No.50-2	赤塚	PTC	32.0	Hs	片岩	HsA439	R439
461	DC	SR250	No.51-1	赤塚	P	1520.0	Ca	片岩		
462	DC	SR250	No.51-2	赤塚	PTC	218.0	Hs	片岩		
463	DC	SR250	No.52	赤塚	PTC	240.0	Hs	片岩		
464	DC	SR250	No.54	赤塚	PTC	202.0	Hs	片岩		
465	DC	SR251	No.1	赤塚	PTC	70.0	Hs	片岩		
466	DC	SR251	No.2	赤塚	PTC	214.0	Am	片岩		
467	DC	SR252	No.1	赤塚	C	276.0	Hs	片岩		
468	DC	SR252	No.2	赤塚	PTC	380.0	Hs	片岩	HsA468	R468
469	DC	SR252	No.3	赤塚	PTC	94.0	Hs	片岩		
470	DC	SR252	No.4	赤塚	PTC	450.0	Hs	片岩		
471	DC	SR252	No.5	赤塚	PTC	228.0	Hs	片岩	HsA468	R468
472	DC	SR253	No.1	赤塚	P	920.0	Gr	片岩	GrA72	R472
473	DC	SR254	No.1	赤塚	PTC	269.0	Hs	片岩	HsA479	R479
474	DC	SR254	No.9	赤塚	PTC	204.0	Hs	片岩		
475	DC	SR254	No.10	赤塚	P	51.0	Hs	片岩		
476	DC	SR254	No.11	赤塚	PTC	134.0	Hs	片岩		
477	DC	SR254	No.12	赤塚	PTC	669.0	Hs	片岩		
478	DC	SR254	No.13	赤塚	Wa	299.0	Ca	片岩		
479	DC	SR254	No.14	赤塚	PTC	2000.0	Gr	片岩		
480	DC	SR254	No.15	赤塚	PTC	27.0	Hs	片岩	HsA353	R353
481	DC	SR254	No.18	赤塚	PTC	411.0	Hs	片岩		
482	DC	SR254	No.19	赤塚	PTC	339.0	Ca	片岩		
483	DC	SR254	No.20	赤塚	PTC	166.0	Hs	片岩		
484	DC	SR255	No.1	赤塚	PTC	960.0	Gr	片岩		
485	DC	SR255	No.2	赤塚	PTC	49.0	Am	片岩		
486	DC	SR255	No.3	赤塚	PTC	348.0	Ca	片岩		
487	DC	SR255	No.4	赤塚	PTC	195.0	Hs	片岩		
488	DC	SR255	No.5	赤塚	PTC	331.0	Am	片岩		
489	DC	SR255	No.6	赤塚	PTC	209.0	Ca	片岩	CaA489	R489
490	DC	SR255	No.7	赤塚	PTC	132.0	Hs	片岩		
491	DC	SR255	No.8	赤塚	C	1584.0	Hs	片岩		
492	DC	SR255	No.9	赤塚	PTC	198.0	Hs	片岩		
493	DC	SR255	No.10	赤塚	PTC	168.0	Hs	片岩		
494	DC	SR255	No.11	赤塚	PTC	228.0	Ca	片岩	CaA489	R489
495	DC	SR255	No.12	赤塚	PTC	114.0	Ca	片岩		
496	DC	SR255	No.16	赤塚	C	301.0	Hs	片岩		
497	DC	SR255	No.20	赤塚	PTC	162.0	Hs	片岩		
498	DC	SR255	No.21	赤塚	PTC	278.0	Hs	片岩		
499	DC	SR255	No.22	赤塚	PTC	245.0	Hs	片岩		
500	DC	SR255	No.23	赤塚	PTC	191.0	Hs	片岩		
401	DC	SR255	No.24	赤塚	PTC	5300.0	Hs	片岩		
502	DC	SR255	No.25	下野	PTC	860.0	Hs	片岩	HsA426	R426
503	DC	SR255	No.26	赤塚	PTC	120.0	Tu	片岩		
504	DC	SR256	No.3	赤塚	PTC	131.0	Hs	片岩		
505	DC	SR256	No.4	赤塚	PTC	137.0	Hs	片岩		
506	DC	SR256	No.5	赤塚	PTC	190.0	Hs	片岩		
507	DC	SR256	No.6	赤塚	PTC	97.6	Hs	片岩		
508	DC	SR256	No.8	赤塚	PTC	1242.0	Hs	片岩		
509	DC	SR256	No.9	赤塚	PTC	117.0	Hs	片岩		
510	DC	SR256	No.10	赤塚	PTC	1514.0	Hs	片岩		
511	DC	SR256	No.11	赤塚	PTC	206.1	Hs	片岩		
512	DC	SR256	No.12	赤塚	PTC	352.0	Ho	片岩		
513	DC	SR256	No.13	赤塚	PTC	117.0	Hs	片岩	HsA513	R513
514	DC	SR256	No.5	赤塚	PTC	112.0	Hs	片岩		
515	DC	SR256	No.8	赤塚	PTC	272.0	Hs	片岩		
516	DC	SR256	No.9	赤塚	PTC	445.0	Gr	片岩	GrA72	R472
517	DC	SR256	No.11	赤塚	PTC	1490.0	GrA	片岩		
518	DC	SR256	No.12	赤塚	PTC	20.0	Hs	片岩		
519	DC	SR256	No.22	赤塚	PTC	327.0	Hs	片岩		
520	DC	SR259	No.17	赤塚	PTC	1628.0	Hs	片岩		
521	DC	SR259	No.18	赤塚	PTC	72.0	Hs	片岩		
522	DC	SR259	No.19	赤塚	PTC	69.0	Hs	片岩		
523	DC	SR259	No.22	赤塚	PTC	79.0	Hs	片岩	HsA523	R523
524	DC	SR259	No.23	赤塚	PTC	2116.0	Hs	片岩	HsA524	R524
525	DC	SR259	No.29	赤塚	PTC	99.0	Hs	片岩		
526	DC	SR259	No.30	赤塚	PTC	142.0	Hs	片岩		
527	DC	SR259	No.31	赤塚	PTC	128.0	Hs	片岩		
528	DC	SR259	No.34	赤塚	PTC	2845.0	Hs	片岩	HsA528	R528
529	DC	SR259	No.35	赤塚	PTC	117.0	Hs	片岩		
530	DC	SR259	No.36	赤塚	PTC	78.0	Hs	片岩		
531	DC	SR259	No.37	赤塚	PTC	112.0	Hs	片岩	HsA531	R531
532	DC	SR259	No.38	赤塚	PTC	80.0	Hs	片岩	HsA532	R532
533	DC	SR259	No.39	赤塚	PTC	89.0	Hs	片岩		
534	DC	SR259	No.40	赤塚	PTC	126.0	Hs	片岩	HsA534	R534
535	DC	SR259	No.41	赤塚	PTC	181.0	Hs	片岩		
536	DC	SR259	No.42	赤塚	PTC	45.0	Hs	片岩		
537	DC	SR259	No.43	赤塚	PTC	2640.0	Hs	片岩	HsA534	R534
538	DC	SR259	No.44	赤塚	PTC	401.0	Am	片岩		
539	DC	SR259	No.45	赤塚	PTC	75.0	Hs	片岩		
540	DC	SR259	No.46	赤塚	PTC	1652.0	Hs	片岩		
541	DC	SR259	No.47	赤塚	PTC	540.0	Gr	片岩		
542	DC	SR259	No.48	赤塚	PTC	1740.0	Hs	片岩	HsA542	R542
543	DC	SR259	No.49	赤塚	PTC	138.0	Hs	片岩		
544	DC	SR259	No.50	赤塚	PTC	3165.0	Ca	片岩		
545	DC	SR259	No.51	赤塚	PTC	1572.0	Hs	片岩		
546	DC	SR259	No.52-1	赤塚	PTC	598.0	Hs	片岩	HsA546	R546
547	DC	SR259	No.56	赤塚	PTC	468.0	Hs	片岩	HsA547	R547
548	DC	SR259	No.57	赤塚	PTC	1560.0	Hs	片岩		
549	DC	SR259	No.54	赤塚	PTC	1634				

ID	地区	道里1	重量2	期序	経緯	重量	方針	世計	組合	備考	ID	地区	道里1	重量2	期序	経緯	重量	方針	世計	組合	備考	
601	DE	SR269	No109	7	PT1	616.0	Gr	G472	R472		702	IE	SR273	No17	本場定PT	1036.0	H5A	本場				
602	DE	SR269	No110	7	本場定PT	808.0	H5A	本場			704	IE	SR273	No18	本場定PT	808.0	H5A	本場				
603	DE	SR269	No111	7	本場定PT	924.0	H5A	本場			705	IE	SR273	No19	本場定PT	420.0	H5A	本場				
604	DE	SR269	No112	7	本場定PT	249.0	H5A	本場			706	IE	SR273	No20	本場定PT	290.0	H5A	本場				
605	DE	SR269	No113	7	本場定PT	382.0	H5A	本場			707	IE	SR273	No21	本場定PT	978.0	H5A	本場				
606	DE	SR269	No114	7	本場定PT	7250.0	Gr	本場			708	IE	SR273	No22	本場定PT	306.0	H5A	本場				
607	DE	SR269	No115	7	本場定PT	2360.0	Gr	本場			709	IE	SR273	No23	本場定PT	1464.0	H5A	本場	HS679	R709		
608	DE	SR269	ソウ198b1	7	本場定PT	1023.0	Gr	Sa555	M608		710	IE	SR273	No24	本場定PT	108.0	H5A	本場				
609	DE	SR269	ソウ198b2	7	本場定PT	27.0	H5A	本場			711	IE	SR273	No25	本場定PT	414.0	H5A	本場				
610	DE	SR269	ソウ198b3	7	本場定PT	742.0	H5A	H5a554	R554		712	IE	SR273	No26	本場定PT	2158.0	H5A	本場				
611	DE	SR269	ソウ198b4	7	本場定PT	736.0	H5A	本場			713	IE	SR273	No27	本場定PT	960.0	H5A	本場				
612	DE	SR269	ソウ198b5	7	本場定PT	74.0	Gr	Sa611	M612		714	IE	SR273	No28	本場定PT	350.0	H5A	本場				
613	DE	SR269	ソウ198b6	7	本場定PT	1.0	Gr	Sa612	M613		715	IE	SR273	No29	本場定PT	1454.0	H5A	本場				
614	DE	SR269	ソウ198b7	7	本場定PT	26.0	H5A	本場			716	IE	SR273	No30	本場定PT	590.0	H5A	本場				
615	DE	SR269	ソウ198b8	7	本場定PT	1922.0	Gr	Sa555	R555		717	IE	SR273	No31	本場定PT	300.0	H5A	本場				
616	DE	SR269	ソウ198b9	7	本場定PT	458.0	H5A	本場			718	IE	SR273	No32	本場定PT	682.0	H5A	本場	HS679	R709		
617	DE	SR269	中央東石部	7	本場定PT	247.0	H5A	本場			719	IE	SR273	No33	本場定PT	1006.0	H5A	本場				
618	DE	SR269	中央東石部	7	本場定PT	390.0	H5A	HSa618	R618		720	IE	SR273	No34	本場定PT	912.0	H5A	本場				
619	DE	SR269	中央東石部	7	本場定PT	36.0	H5A	HSa618	R618		721	IE	SR273	No35	本場定PT	2915.0	H5A	本場				
620	DE	SR269	中央東石部	7	本場定PT	42.0	H5A	H5a647	R647		722	IE	SR273	No36	本場定PT	804.0	H5A	本場	HS679	R709		
621	DE	SR269	中央東石部	7	本場定PT	108.0	H5A	本場			723	IE	SR273	No37	本場定PT	772.0	H5A	本場	HS672	R723		
622	DE	SR269	中央東石部	7	本場定PT	1110.0	Ho	Ho531	R531		724	IE	SR273	No38	本場定PT	1950.0	H5A	本場	HS674	R724		
623	DE	SR269	中央東石部	7	本場定PT	140.0	Ho	Ho531	R531		725	IE	SR273	No39	本場定PT	2214.0	H5A	本場	HS674	R724		
624	DE	SR271	No6	7	本場定PT	1036.0	H5A	本場			726	IE	SR273	No40	本場定PT	4490.0	H5A	本場				
625	DE	SR271	No7	7	本場定PT	391.0	H5A	本場			727	IE	SR273	No41	本場定PT	200.0	H5A	本場				
626	DE	SR271	No8	7	本場定PT	3435.0	H5A	本場			728	IE	SR273	No42	1本場定PT	9250.0	H5A	本場	HS682	R589		
627	DE	SR271	No9	7	本場定PT	2080.0	H5A	本場			729	IE	SR273	No43	本場定PT	2505.0	CoSa	CoSa729	R729			
628	DE	SR271	No10	7	本場定PT	2933.0	H5A	本場			730	IE	SR273	No44	本場定PT	2780.0	H5A	本場				
629	DE	SR271	No11	7	2本場定PT	2933.0	H5A	HSa300	R300		731	IE	SR273	No45	本場定PT	4980.0	H5A	本場				
630	DE	SR271	No12	7	2本場定PT	214.0	H5A	本場			732	IE	SR273	No46	本場定PT	228.0	H5A	本場				
631	DE	SR271	No13	7	本場定PT	126.0	H5A	本場			733	IE	SR273	No47	本場定PT	1396.0	H5A	本場				
632	DE	SR271	No14	7	本場定PT	12750.0	CoSa	本場			734	IE	SR273	No48	本場定PT	1880.0	H5A	本場				
633	DE	SR271	No15	7	本場定PT	686.0	H5A	本場			735	IE	SR273	No49	本場定PT	654.0	H5A	本場	HS675	R735		
634	DE	SR271	No16	7	本場定PT	1016.0	H5A	本場			736	IE	SR273	No50	本場定PT	2950.0	H5A	本場				
635	DE	SR271	No17	7	2本場定PT	2258.0	H5A	HSa385	R385		737	IE	SR273	No51	本場定PT	2005.0	H5A	本場				
636	DE	SR271	No18	7	本場定PT	580.0	H5A	本場			738	IE	SR273	No52	本場定PT	1756.0	H5A	本場	HSa738	R738		
637	DE	SR271	No19	7	本場定PT	2046.0	H5A	本場			739	IE	SR273	No53	本場定PT	614.0	H5A	本場	HSa738	R738		
638	DE	SR271	No20	7	本場定PT	410.0	H5A	本場			740	IE	SR273	No54	本場定PT	264.0	H5A	本場	HSa738	R738		
639	DE	SR271	No21	7	本場定PT	590.0	H5A	本場			741	IE	SR273	No55	本場定PT	4370.0	H5A	本場				
640	DE	SR271	No22	7	本場定PT	1260.0	H5A	本場			742	IE	SR273	No56	本場定PT	3045.0	H5A	本場				
641	DE	SR271	No23	7	2本場定PT	2096.0	H5A	HSa283	R283		743	IE	SR273	No57	本場定PT	2485.0	H5A	本場				
642	DE	SR271	No24	7	1本場定PT	326.0	H5A	HSa302	R302		744	IE	SR273	No58	本場定PT	1614.0	CoSa	CoSa729	R729			
643	DE	SR271	No25	7	本場定PT	896.0	H5A	本場			745	IE	SR273	No59	本場定PT	3366.0	H5A	本場				
644	DE	SR271	No26	7	本場定PT	510.0	H5A	本場			746	IE	SR273	No60	本場定PT	832.0	H5A	本場	HSa735	R735		
645	DE	SR271	No27	7	本場定PT	7750.0	CoSa	CoSa646	R646		747	IE	SR273	No61	本場定PT	4950.0	H5A	本場				
646	DE	SR271	No28	7	本場定PT	1162.0	H5A	HSa646	R646		748	IE	SR273	No62	本場定PT	280.0	H5A	本場				
647	DE	SR271	No29	7	本場定PT	5740.0	H5A	本場			749	IE	SR273	No63	本場定PT	5256.0	H5A	本場				
648	DE	SR271	No30	7	本場定PT	5740.0	H5A	HSa648	R648		750	IE	SR273	No64	本場定PT	17070.0	H5A	本場				
649	DE	SR311	No3	本場定PT	1286.0	H5A	本場			751	IE	SR273	No65	本場定PT	2670.0	MeTr	MeTr731	R751				
650	DE	SR311	No4	本場定PT	756.0	H5A	本場			752	IE	SR273	No66	本場定PT	344.0	MeTr	MeTr751	R751				
651	DE	SR311	No5	本場定PT	654.0	H5A	本場			753	IE	SR273	No67	本場定PT	383.0	H5A	本場					
652	DE	SR311	No6	本場定PT	368.0	H5A	本場			754	IE	SR273	No68	本場定PT	322.0	H5A	本場					
653	DE	SR311	No7	本場定PT	1398.0	H5A	HSa653	R653		755	IE	SR273	No69	本場定PT	2580.0	H5A	本場					
654	DE	SR311	No8	本場定PT	620.0	H5A	HSa653	R653		756	IE	SR273	No70	本場定PT	3150.0	H5A	本場					
655	DE	SR311	No9	本場定PT	274.0	H5A	本場			757	IE	SR273	ソウ282	本場定PT	552.0	H5A	本場					
656	DE	SR311	No10	本場定PT	1702.0	H5A	本場			758	IE	SR273	ソウ283	本場定PT	2845.0	H5A	本場	HSa777	R777			
657	DE	SR311	No11	UK1	PT1	2665.0	CoSa	CoSa646	R646		759	IE	SR273	ソウ284	本場定PT	92.0	H5A	本場				
658	DE	SR311	No12	本場定PT	1462.0	H5A	本場			760	IE	SR273	ソウ285	本場定PT	256.0	H5A	本場					
659	DE	SR311	No13	本場定PT	27.0	H5A	本場			761	IE	SR273	ソウ286	本場定PT	134.0	H5A	本場					
660	DE	SR311	No14	本場定PT	776.0	Sa	本場			762	IE	SR39	N4	本場定PT	1154.0	H5A	本場					
661	DE	SR319	No2	本場定PT	522.0	H5A	本場			763	IE	SR39	No5	本場定PT	560.0	H5A	本場					
662	DE	SR319	No3	本場定PT	390.0	H5A	本場			764	IE	SR39	No6	本場定PT	168.0	H5A	本場					
663	DE	SR319	No4	本場定PT	464.0	H5A	本場			765	IE	SR39	No7	本場定PT	154.0	H5A	本場					
664	DE	SR319	No5	本場定PT	652.0	Dn	本場			766	IE	SR39	No8	本場定PT	724.0	H5A	本場					
665	DE	SR367	No1	UK1	PT1	4880.0	CoSa	CoSa662	R662		767	IE	SR39	No9	本場定PT	1442.0	H5A	本場				
666	DE	SR390	No1	本場定PT	1044.0	H5A	本場			768	IE	SR40	No6	本場定PT	72.0	H5A	HSa768	R768				
667	DE	SR390	No2	本場定PT	2410.0	H5A	本場			769	IE	SR40	No7	本場定PT	158.0	H5A	HSa768	R768				
668	DE	SR390	No3	1本場定PT	1964.0	CoSa	本場			770	IE	SR40	No8	本場定PT	4250.0	H5A	HSa770	R770				
669	DE	SR390	No4	本場定PT	2655.0	H5A	本場			771	IE	SR40	No9	本場定PT	802.0	H5A	本場					
670	DE	SR390	No5	本場定PT	1664.0	H5A	本場			772	IE	SR40	No10	本場定PT	278.0	H5A	HSa772	R772				
671	DE	SR390	No6	本場定PT	842.0	CoSa	本場			773	IE	SR40	No11	本場定PT	206.0	H5A	本場					
672	DE	SR390	No7	本場定PT	1027.0	H5A	本場			774	IE	SR40	No12	本場定PT	314.0	H5A	本場					
673	DE	SR390	No8	本場定PT	352.0	H5A	本場			775	IE	SR40	No13	本場定PT	140.0	H5A	HSa770	R770				
674	DE	SR390	No9	本場定PT	306.0	H5A	本場			776	IE	SR40	No14	本場定PT	3080.0	H5A	HSa770	R770				
675	DE	SR390	No10	本場定PT	162.0	H5A	本場			777	IE	SR40	No15	本場定PT	2995.0	H5A	HSa777	R777				
676	DE	SR390	No11	本場定PT	1380.0																	

III章 調査のまとめ

1 集落の様相

今回の調査では、古墳時代前期・平安時代後期・中世の遺構・遺物が発見された。これまでの3回の調査結果と周辺遺跡を含めた集落様相については、文献1に詳しくまとめられているので、これをもとに、今回の調査結果を概観してみたい。

今回の調査では、平安時代後半の住居址が78軒確認された。西側に隣接している第3次調査地でも、該期の住居址が22軒確認されており、総計100軒発見されたことになる。平安時代後期の集落としては、大規模なものとなる。発見された住居址のうち、269住は鍛冶址としての関連が考えられる。奈良～平安時代前半の集落が発見された第1次調査においても、鍛冶関連遺物および多量の鉄器が発見されており、平田本郷遺跡の特徴としてあげられる。

次に、時代別の遺構分布状況について概観する。今回の調査では、これまで本遺跡で発見されていなかった古墳時代前期と中世の遺構・遺物が確認された。この結果、平田本郷遺跡は、古墳時代前期・中期、奈良～平安時代前半・後半、中世に亘る複合遺跡であることが判明した。平田本郷遺跡は南北700mにのびる遺跡であるが、遺跡範囲内での時期別の分布状況は下記の通りである。

古墳時代：遺跡内の北半部にみられる。今回の調査では、最も北に位置するA区で古墳時代前期の住居址が3軒発見されている。これまでの調査では、遺跡北端部で古墳時代中期の遺物を得ているが、古墳時代前期にまで遡るものは初見である。今回調査のA区が、該期分布の南限にあたるものと考えられる。

奈良～平安時代前半：本遺跡北端の第1次調査地を中心とした箇所に分布の中心が見られる。この調査では、竪穴住居址94軒、掘立柱建物址6棟、土坑43基、溝10条、ピット328基が発見されている。また遺物では、「美濃国」刻印のある美濃須術産須器・瓦塔・鉄鉢を含む多量の鉄製品や鉄滓などの特殊品が出土し、集落内での鍛冶関連行為が推定された成果をあげた。

平安時代後期：遺跡南部に分布の中心がみられる。前回調査（3次）と今回の調査（4・5次）で発見された大半の遺構・遺物は、該期に帰属する。とりわけ269住は、鍛冶に関連した住居址で、遺物の出土量が多く、カマド構築石材の接合関係でも核となっている。該期の中心的な住居址と推定できよう。

中世：B区において、中世の遺構・遺物を得ている。これまでの本遺跡の調査では、中世の遺構・遺物は発見されておらず、今回が初めての発見である。しかし、発見された遺構・遺物は稀少で、集落の様相は判然としにくい。近隣遺跡で中世の遺構・遺物が確認されており、今後の調査での解明に期待したい。

2 まとめ

これまでの調査結果から、古代における松本市南部の開発史において、非常に大きな成果をあげた。遺跡以北においては、弥生時代中期後半から継続して開発が行なわれ、集落が形成されていた。これに対し、本遺跡以南では8世紀以降にならないと開発が及ばない。この要因としては、主として奈良井川の流路が安定するまで開発が不可能であったことが挙げられる。しかし、奈良井川などの流路が安定し、一旦集落が形成されると、吉田川西遺跡や小原遺跡などのように中世まで長期間継続する。

また今回の調査では、住居址に残されたカマド構築石材の接合作業を試み、Ⅱ章Ⅳ石器で報告したとおり、多くの接合関係が認められた。これによりカマド構築材は、かなり恒常的に再利用されていた可能性を指摘する興味深い結果を得た。カマドの構築や廃絶方法をめぐって、今後の研究の指針となろう。

最後になりましたが、本調査にあたり多大なご理解とご協力をいただいた平田土地区画整理組合、ならびに地元の平田町会の皆様へ感謝の意を表して本書の締めくくりとしたい。

文献1： 1999 松本市教育委員会 「平田本郷遺跡Ⅲ」

写真図版



平田公民館現地見学会



A区 147住 完掘状況



A区 148住 完掘状況



A区 149住 完掘状況



A区 150住 完掘状況



B区 124住 完掘状況



B区 124住 カマド出土状況



B区 126住 出土状況



B区 127住 出土状況

写真図版2



B区 127住 完掘状況



B区 127住 カマド出土状況



B区 129住 出土状況



B区 131住 完掘状況



B区 132住(下)・133住(上) 完掘状況



B区 137住 完掘状況



B区 138住 出土状況



B区 138住 カマド出土状況



B区 138住 カマド完掘状況



B区 140住 完掘状況



B区 140住 カマド出土状況



B区 141住 完掘状況



C区 152住 出土状況



C区 152住 完掘状況



C区 152住 カマド出土状況



C区 155住 出土状況

写真図版4



C区 155住 完掘状況



C区 155住 カマド出土状況



D区 158住 完掘状況



D区 158住 カマド出土状況



D区 159住 出土状況



D区 159住 カマド出土状況



D区 159住 カマド完掘状況



D区 161住 出土状況



D区 162住 完掘状況



D区 162住 カマド完掘状況



D区 163住 完掘状況



D区 167住 出土状況



D区 167住 カマド完掘状況



D区 171住 完掘状況



D区 173住 出土状況



D区 174住 完掘状況

写真図版6



D区 174住 カマド出土状況



D区 175住 完掘状況



D区 183住(上)・壱22(下) 出土状況



D区 183住 カマド出土状況



D区 189住 出土状況



D区 189住 完掘状況



D区 189住 カマド出土状況



D区 200住 完掘状況



D区 202住(左)・205住(右) 出土状況



D区 203住 出土状況



D区 206住 完掘状況



D区 207住 完掘状況



D区 206住 完掘状況



D区 214住 出土状況



D区 217住 出土状況



D区 218住 出土状況

写真図版8



D区 218住 カマド出土状況



D区 220住 出土状況



D区 225住 出土状況



D区 226住 出土状況



D区 233住 完掘状況



D区 236住 出土状況



D区 236住 カマド出土状況



D区 250住 出土状況